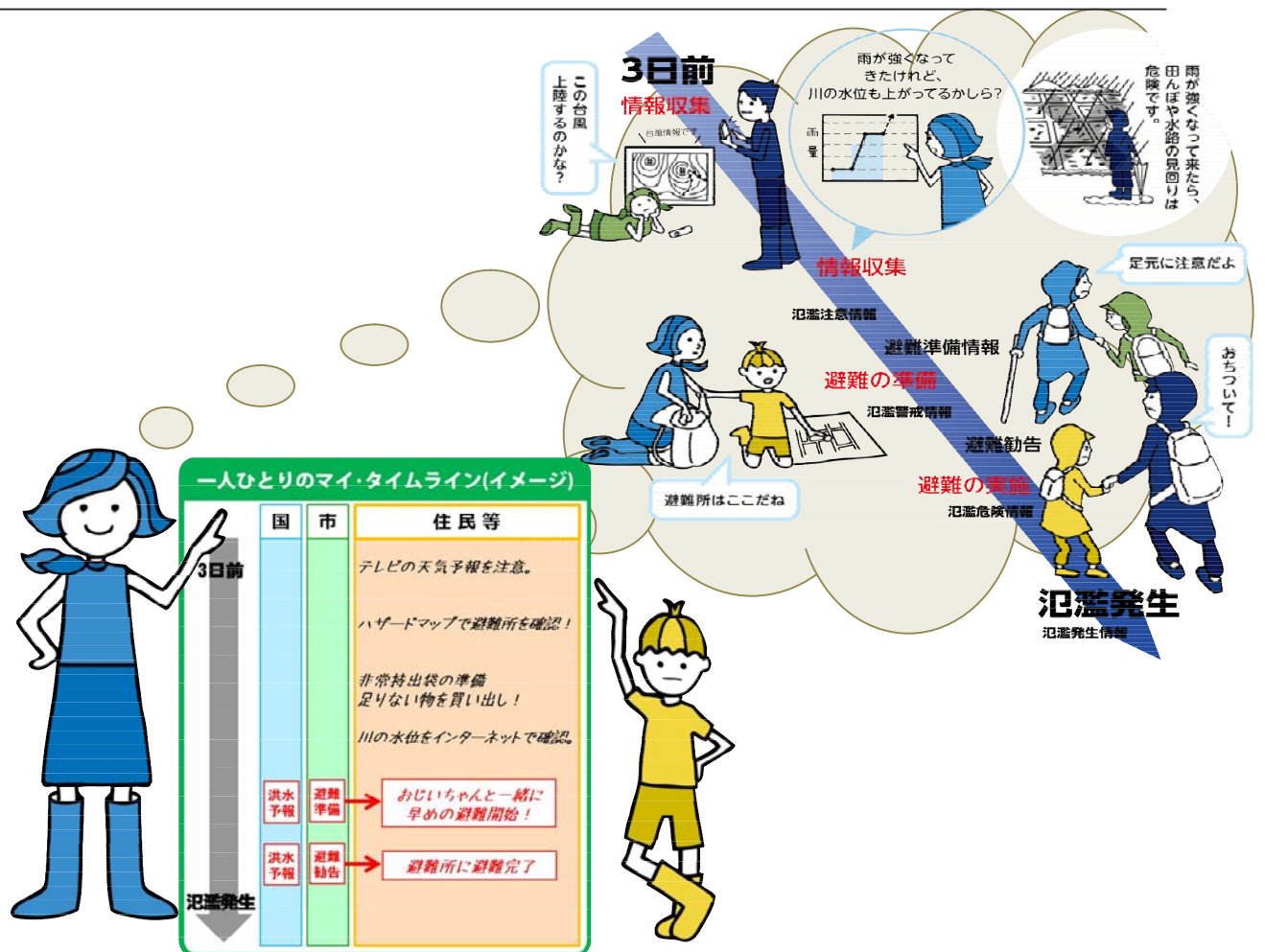


みんなでタイムラインプロジェクト 常総市モデル地区における検討の記録



平成29年3月

常総市マイ・タイムライン検討会

目次

発刊によせて.....	1
はじめに	2
1. 地区代表者への説明会の実施.....	4
1.1 自治区長説明会（平成28年10月23日）	4
1.2 若宮戸地区班長説明会（平成28年11月13日）	5
1.3 根新田地区班長説明会（平成28年11月3日）	6
2. 運営会議の実施.....	7
2.1 第1回運営会議（平成28年11月13日）	7
2.2 第2回運営会議（平成29年1月22日）	10
2.3 座談会-若宮戸地区-（平成29年3月12日）	13
2.4 座談会-根新田地区-（平成29年3月12日）	14
3. マイ・タイムライン検討会の実施（若宮戸地区）	15
3.1 第1回検討会（平成28年11月27日）	15
3.2 第2回検討会（平成29年2月5日）	21
4. マイ・タイムライン検討会の実施（根新田地区）	26
4.1 第1回検討会（平成28年11月20日）	26
4.2 第2回検討会（平成29年1月29日）	31
4.3 第3回検討会（平成29年2月19日）	36
5. マイ・タイムライン事例集	41
5.1 若宮戸地区.....	41
5.2 根新田地区.....	63
6. マイ・タイムライン検討会に参加した皆さんの声	98
6.1 検討会に参加された住民の皆さんからのアンケート結果	98
6.2 関係機関参加者からのアンケート結果	119
7. 関連名簿	123
7.1 検討会に参加された住民の皆様	123
7.2 運営会議委員	125
8. 参考情報 報道機関により取り上げられた情報等の紹介	127
おわりに	151

発刊によせて

平成27年9月10日 関東・東北地方を襲った記録的豪雨により鬼怒川が氾濫し、茨城県常総市は甚大な被害を受けました。平成28年に入っても、岩手県岩泉町において台風第10号による大雨に伴い高齢者グループホームが被害に遭うなど、このところ日本列島各地で大雨による災害が頻発しています。亡くなられた方々、被災された方々には衷心より、お悔やみとお見舞いを申し上げます。

このような水害に対しては、堤防などの施設整備といったハード対策を充実させることはもちろんですが、昨今の地球温暖化に伴う気候変動を踏まえると、「施設の能力には限界があり、施設では防ぎきれない大洪水は必ず発生するもの」へと意識を変革し、社会全体で水害に備える必要があるとの認識で、住民の皆様も一緒になって円滑な避難などのソフト対策を充実させていくことも必要だと考えています。

関東・東北豪雨を経験した常総市では、全国の皆様からの温かいご支援、ボランティアの皆様からのお力添えによりここまでくることができました。「起こった災害は最悪だったが出会った絆は最高でした」と話しをしていた被災者の声が耳に残っています。この感謝と絆を力に変えて、市の復興を成し遂げるとともに防災先進都市へと成長し、それを全国に向けて発信することが、市民の安心感と郷土の誇りを育むと同時に、支援をいただいた全国の皆様への恩返しにもつながると確信しています。

その先駆けとして、住民一人ひとりが自分の逃げ方を自ら検討する「みんなでタイムラインプロジェクト」を、常総市内の若宮戸地区と根新田地区の2地区をモデル地区として実施し、自治区長様をはじめモデル地区の住民の皆様のご協力のもと、住民一人ひとりの避難計画である「マイ・タイムライン」の作成を進めてまいりました。そしてこのたび、マイ・タイムラインが作成できましたので、少しでも皆様のお役に立てられればとの思いから、「みんなでタイムラインプロジェクト 常総市モデル地区における検討の記録」をとりまとめました。今後、この「みんなでタイムラインプロジェクト」が、地区から市全域に、更には全国へと広がり、地域の防災力向上に繋がることを願って、発刊に当たっての言葉とさせていただきます。

常総市長 神達 岳志

はじめに

平成27年9月 関東・東北豪雨においては、鬼怒川の決壊等により常総市の面積のおよそ三分の一に相当する約40㎢が浸水し、自衛隊、消防、警察、海上保安庁が合わせて約4,300名を救助するなど、避難の遅れや避難者の孤立が発生しました。

これを受け、平成27年12月4日、国土交通省関東地方整備局、茨城県、常総市など鬼怒川沿川の7市町が主体となって進める、ハード対策とソフト対策が一体となった緊急的な治水対策「鬼怒川緊急対策プロジェクト」を発表しました。また、続く12月10日には、社会資本整備審議会 河川分科会 大規模氾濫に対する減災のための治水対策検討小委員会が「大規模氾濫に対する減災のための治水対策のあり方について ～社会意識の変革による「水防災意識社会」の再構築に向けて～ 答申」をとりまとめ、鬼怒川緊急対策プロジェクトのようなハード・ソフトを一体的に進める取り組みを全国の国管理河川で進めることとなりました。そしてこれらの取り組みは、平成28年8月に北海道・東北地方を襲った一連の台風による被害を踏まえ、中小河川にも拡大されています。

鬼怒川においては、隣接する小貝川とあわせて、国・県・10市町で構成される「鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会」を設置し、犠牲者ゼロ等の目標に向けて、迅速かつ確かな避難行動のための取り組みを進めるなどとした取組方針を平成28年5月11日に決定しました。そして、その一つの具体的施策として、「みんなでタイムラインプロジェクト」を進めることとしました。

みんなでタイムラインプロジェクトは、円滑な避難のためには住民一人ひとりが自分自身に合った適確な避難行動をとることが重要との認識の下で、住民一人ひとりが自分自身に合った避難に必要な情報・判断・行動を把握し、いわば「自分の逃げ方」を手に入れることを目的として、市役所のサポートの下で住民が自らの環境に合ったマイ・タイムラインを自ら検討するプロジェクトです。全国でもはじめての取り組みであり、まずは、常総市内の若宮戸地区と根新田地区という2つのモデル地区において、図一1に示す流れで、半年間の検討を進めてきました。

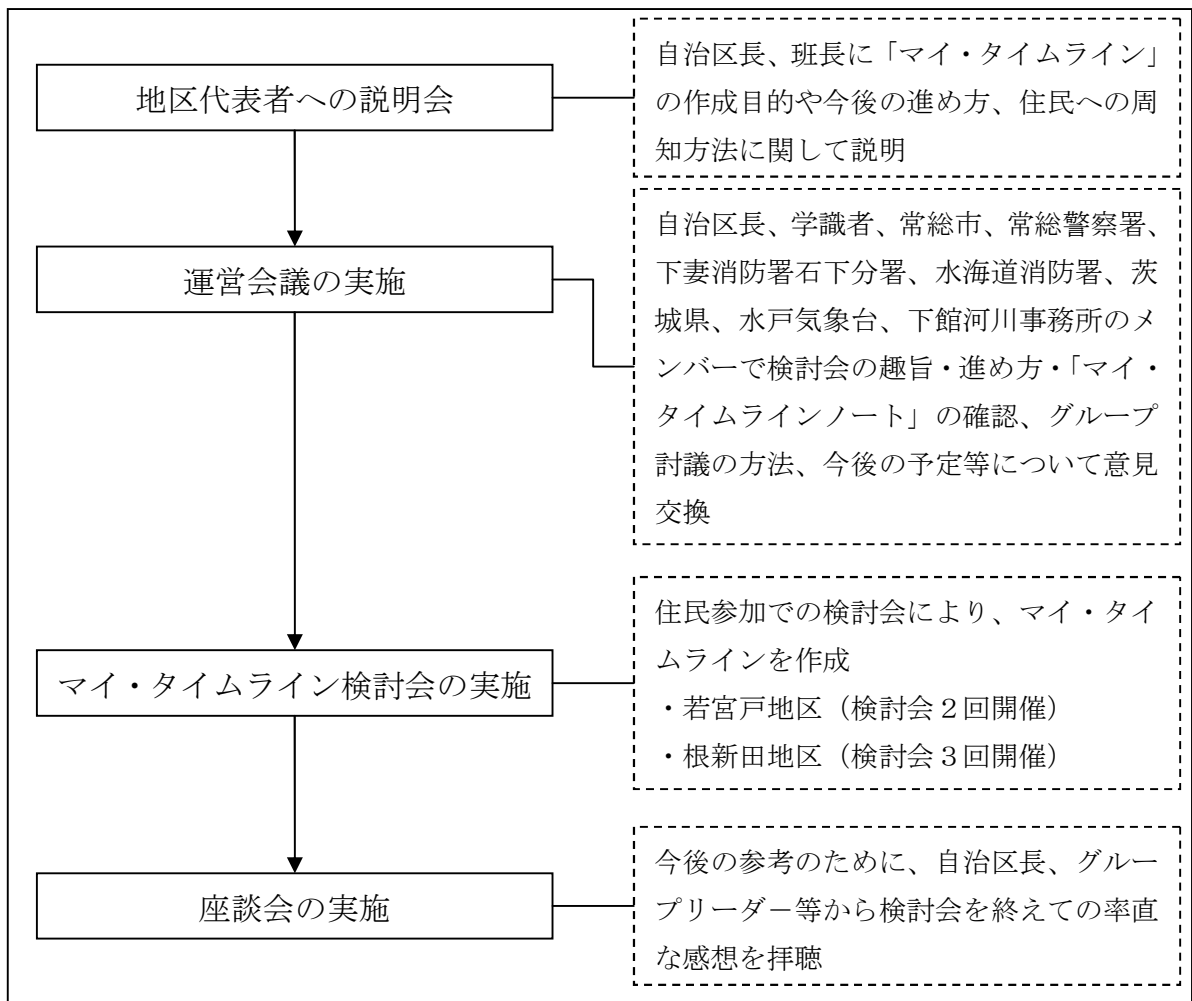


図-1 常総市モデル地区でのマイ・タイムライン作成までの流れ

この記録集は、モデル地区における検討の経緯を取りまとめたものであり、検討会の流れや参加された住民からいただいたご意見等をまとめた本編と、検討会で使用した資料等をまとめた参考資料編に分かれています。いずれも、事実関係としての記録を重視して取りまとめています。この記録集が、水防災意識社会の再構築に、また全国の地域防災力向上に、役立つことを願います。

1. 地区代表者への説明会の実施

1.1 自治区長説明会(平成28年10月23日)

■日時：平成28年10月23日(日) 10:00～12:00

■場所：常総市役所 石下庁舎 会議室

■概要：若宮戸地区・根新田地区の自治区長の皆様へ「マイ・タイムライン検討会の進め方」について説明し、調整を図った。

■議事概要：

項目	概要
マイ・タイムライン 検討会の進め方	<ul style="list-style-type: none">・若宮戸、根新田地区をモデル地区として取り組んでいくことについて了承・運営部会は、区長も合わせて出席することで、了承・今後の班長説明会及び検討会の日時と会場を決定・検討会への出席見込み者を確認・検討会の公開について、了承

■配布資料：

資料 NO	資料名称
資料 1	・議事次第
資料 2	・参加者一覧
資料 3	・配席図
資料 4	・学識者のプロフィール
資料 5	・常総市タイムライン (H28年6月版)
資料 6	・モデル地区位置図

■実施状況記録：



1.2 若宮戸地区班長説明会(平成28年11月13日)

■日時：平成28年11月13日(日) 9:00～9:30

■場所：常総市役所 石下庁舎 会議室

■概要：若宮戸地区の班長の皆様へ「マイ・タイムライン検討会の開催のお知らせとご協力のお願い」を行った。

■議事概要：

項目	概要
マイ・タイムライン検討会へ開催のお知らせとご協力のお願い	・マイ・タイムライン検討会の開催通知を班長さまから住民に配布していただくことを了承

■配布資料：

資料 NO	資料名称
資料1	・「みんなでタイムラインプロジェクト」第1回検討会の開催について
資料2	・参加者一覧
資料3	・配席図

■実施状況記録：

		
小林課長補佐から説明	溝上室長から説明	説明を聞く参加者

1.3 根新田地区班長説明会(平成28年11月3日)

■日時：平成28年11月3日(木) 10:00～10:30

■場所：根新田会館

■概要：根新田地区の班長の皆様へ「マイ・タイムライン検討会の開催のお知らせとご協力のお願い」を行った。

■議事概要：

項目	概要
マイ・タイムライン検討会へ開催のお知らせとご協力のお願い	・マイ・タイムライン検討会の開催通知を班長さまから住民に配布していただくことを了承

■配布資料：

資料 NO	資料名称
資料1	・「みんなでタイムラインプロジェクト」第1回検討会の開催について
—	・根新田自治区長からの協力要請(依頼)

■実施状況記録：

		
須藤部長の挨拶	自治区長から協力要請	説明を聞く参加者

2. 運営会議の実施

2.1 第1回運営会議(平成28年11月13日)

■日時：平成28年11月13日(日) 10:00～12:00

■場所：常総市役所 石下庁舎 会議室

■概要：若宮戸地区・根新田地区の両地区の自治区長、学識者、常総市、常総警察署、下妻消防署 石下分署、茨城県、水戸气象台、下館河川事務所のメンバーで検討会の趣旨、今後の予定、マイ・タイムラインノートについて、第1回検討会等について意見交換を実施した。

■議事概要：

時間	項目	概要
10:00	挨拶	—
10:03	参加者の紹介	—
10:15	配布資料の確認	—
10:20	マイ・タイムライン 検討会について	<ul style="list-style-type: none">・規約(案)について説明し、了承・運営会議の趣旨について説明し、了承・検討会の進め方について説明し、了承
10:40	マイ・タイムライン ノートについて (意見交換含む)	<ul style="list-style-type: none">・ノートの構成について説明・第1回検討会後に、ノートの記載部分を写真で撮影し、第2回検討会までに集計して報告する旨を了承・ノートに「家財に対する対策」についても記入すること。・ノートの地図が小さくて、自宅の場所がわからない・ノートに記載されている資料には出典を記載すること(興味があれば、自ら調べられることができるように)・タイムラインの電子データを用意する
11:20	第1回検討会につ いて (質問含む)	<ul style="list-style-type: none">・根新田地区の第1回検討会では、愛知県刈谷市のケーブルテレビの取材ビデオを放映したい・検討会当日に参加された方が分かるように記名式の受け付けをお願いしたい。参加されなかった方へのフォローを自治会としてしたいため
11:40	その他	<ul style="list-style-type: none">・記者発表資料の説明・検討会当日の名札について説明
12:00	閉会	—

■配布資料：

資料 NO	資料名称
資料 1	・議事次第
資料 2	・参加者一覧
資料 3	・配席図
資料 4	・記者発表資料
資料 5	・モデル地区位置図
資料 6	・学識者プロフィール
資料 7	・常総市マイ・タイムライン検討会規約（案）
資料 8	・傍聴にあつたての注意事項
資料 9	・今後の予定
資料 1 0	・マイ・タイムラインノート
資料 1 1	・第 1 回マイ・タイムライン検討会 議事次第
資料 1 2	・第 1 回検討会に使用するアンケート
資料 1 3	・関係機関への調整事項
資料 1 4	・記者発表資料

■実施状況記録：

		
塩畑副市長の挨拶	里村事務所長の進行	関係機関の出席者
		
溝上室長から説明	須藤副所長から説明	自治区長からご意見

		
<p>自治区長からご意見</p>	<p>小林課長補佐から説明</p>	<p>自治区長からご意見</p>
		
<p>茨城県 飛田副参事から 発言</p>	<p>参加者の様子</p>	<p>川島教授からアドバイス</p>

2.2 第2回運営会議(平成29年1月22日)

■日時：平成29年1月22日(日) 10:00～12:00

■場所：常総市役所 石下庁舎 会議室

■概要：若宮戸地区・根新田地区の両地区の自治区長、学識者、常総市、常総警察署、水海道消防署、茨城県、水戸気象台、下館河川事務所のメンバーで第1回検討会の振り返り、第2・3回検討会、今後の予定等について意見交換を実施した。

■議事概要：

時間	項目	概要
10:00	挨拶	—
10:03	配布資料の確認	—
10:10	第1回検討会の振り返りについて (質問含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・根新田地区の会場が少し狭かったので、次回の開催場所について検討願いたい ・根新田地区では、机を用意しなかったため、膝の上でノートを記載することが、高齢者には難しかったので、次回以降改善したい
10:35	第2、3回検討会について (意見交換含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・若宮戸地区は、第2回検討会で終了することを了承 ・根新田地区は、第2・3回検討会で終了することを了承 ・3月には、「マニュアルの作成に向けた調整」を行うことと了承 ・グループワークを根新田地区は6グループ、若宮戸地区は3グループで実施することと了承 ・グループで議論する際に名前がわかるように、名札を用意することと了承 ・議論の結果をまとめるために、グループごとにホワイトボードと記録係が必要 ・グループリーダーの役割とサポートメンバーの役割を説明し、了承
11:40	今後について	<ul style="list-style-type: none"> ・グループリーダーへの説明のために集まることはせず、個別に説明することと了承 ・マニュアルの作成のご協力をお願い
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・記者発表資料の説明
12:00	閉会	—

■配布資料：

資料 NO	資料名称
資料 1	・議事次第
資料 2	・参加者一覧
資料 3	・配席図
資料 4	・アンケート集計結果
資料 5	・川島教授による根新田居住区のアンケート集計結果
資料 6	・根新田地区第 2 回マイ・タイムライン検討会で配布予定の資料一式
資料 7	・根新田地区第 3 回マイ・タイムライン検討会で配布予定の資料一式
資料 8	・若宮戸地区第 2 回マイ・タイムライン検討会で配布予定の資料一式
資料 9	・グループリーダーの心得等
資料 1 0	・今後の予定
資料 1 1	・マイ・タイムラインノート
資料 1 2	・記者発表資料

■実施状況記録：

		
開会の様子	斉藤課長の挨拶	里村事務所長の進行
		
川島教授から説明	自治区長からご意見	小林課長補佐から説明

		
自治区長からご意見	自治区長からご意見	須藤副所長から説明
		
自治区長からご意見	参加者の様子	事務局からご意見
		
金内水害対策気象官から 発言	小林係長から発言	関係機関の出席者
		
白川准教授からアドバイス	伊藤教授からアドバイス	川島教授からアドバイス

2.3 座談会-若宮戸地区-(平成29年3月12日)

■日時：平成29年3月12日（日） 16:00～17:00

■場所：若宮戸公民館

■概要：若宮戸地区の自治区長、グループリーダー等、学識者、常総市、下館河川事務所のメンバーで、これまでの検討会等を振り返り、良かった点や苦勞した点等について率直な意見交換を実施した。

■議事概要：

時間	項目	概要
16:00	挨拶	—
16:02	趣旨説明	—
16:05	意見交換	<ul style="list-style-type: none"> ・検討会の会場や設備について ・検討会の進め方について ・グループリーダーとして困ったこと ・マイ・タイムラインを作成して思ったこと ・他の地域に検討会を広げるために必要なことについて
17:00	閉会	—

■実施状況記録：



座談会の様子



座談会の様子

2.4 座談会-根新田地区-(平成29年3月12日)

■日時：平成29年3月12日（日） 14:00～15:00

■場所：根新田会館

■概要：根新田地区の自治区長、グループリーダー等、学識者、常総市、下館河川事務所のメンバーで、これまでの検討会等を振り返り、良かった点や苦勞した点等について率直な意見交換を実施した

■議事概要：

時間	項目	概要
14:00	挨拶	—
14:02	趣旨説明	—
14:05	意見交換	<ul style="list-style-type: none"> ・検討会の会場や設備について ・検討会の進め方について ・グループリーダーとして困ったこと ・マイ・タイムラインを作成して思ったこと ・他の地域に検討会を広げるために必要なことについて
15:00	閉会	—

■実施状況記録：



座談会の様子



座談会の様子

3. マイ・タイムライン検討会の実施(若宮戸地区)

3.1 第1回検討会(平成28年11月27日)

■日時：平成28年11月27日(日) 10:00～12:00

■場所：常総市立玉小学校

■概要：若宮戸地区の住民の皆様(71世帯、80名)と学識者、常総市、常総警察署、下妻消防署石下分署、茨城県、水戸气象台、下館河川事務所のメンバーでマイ・タイムラインノートのSTEP1について検討し、意見交換を実施した。

■議事概要：

時間	項目	概要
10:00	開会	・第1回検討会開催の挨拶
10:05	各機関紹介	・今回の検討会に参加する関係機関の紹介
10:20	趣旨説明	・「みんなでタイムラインプロジェクト」の説明 ・若宮戸地区の検討会の進め方について説明
10:30	鬼怒川緊急対策プロジェクトについて	・鬼怒川緊急対策プロジェクトのパンフレットを使い説明
10:40	検討会の進め方について	・本日の検討会の進め方の説明。 ・マイ・タイムラインノートの借用のお願いとマニュアル・手引き書の作成の説明
10:50	休憩(10分)	
11:00	<STEP1> 自分たちの住んでいる地区について	・<STEP1>「自分たちの住んでいる地区について」についてマイ・タイムラインノートに添って説明
11:10	意見交換	・ここまででお気づきの点や昔から住んでいてこんなこと知っているといった点などについて意見交換を実施
11:20	<STEP1> 洪水のリスクについて	・<STEP1>「洪水のリスクについて」についてマイ・タイムラインノートに添って説明
11:35	意見交換	・ここまででお気づきの点などについて意見交換を実施
11:55	とりまとめ	・本日の振り返りととりまとめを実施
12:00	閉会	—

■配布資料：

資料 NO	資料名称
資料 1	・本日のスケジュール
資料 2	・参加者一覧
資料 3	・常総市マイ・タイムライン検討会規約（案）
資料 4	・学識者のプロフィール
資料 5	・取り組みの紹介（水戸地方気象台について）
資料 6	・アンケート
資料 7	・今後の予定
資料 8	・マイ・タイムラインノート

■実施状況記録：

		
受付の様子	開催前の様子	神達市長の挨拶
		
里村事務所長の進行	須藤部長から説明	須藤副所長から説明
		
溝上室長から説明	伊藤課長から説明	参加者の様子

		
参加者の様子		
		
参加者の様子	川島教授から講評	白川准教授から講評

■ 検討会において住民の皆様から出されたご意見：

NO.	内 容	回 答
1	・ 欠席している各戸に資料は配付されるのか？	・ 希望者には、市役所及び河川事務所にて資料を配付する。また、河川事務所のホームページでも入手可能とする。
2	・ 参加者は、水害に対する問題意識があるが、欠席者への対応が必要ではないか？	・ 欠席者にどう声をかけるかは大事なこと。地区の中で参加された皆様から「行ってきたけど良かったよ」とか「これもらっといたほうがいいよ」と声を掛けていただきたい。
3	・ 65歳以上を高齢者として区分しているが、この中で一人で動くのが難しいような、介助を受けないと移動できない方がどのくらいいるのか？	・ 現時点では、把握していない。

NO.	内 容	回 答
4	<ul style="list-style-type: none"> 昭和24年9月のキティ台風では、若宮戸で越水したという話を祖父から聞いている。そのようなことも知っておいたほうがよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ノートでは、関東・東北豪雨の上三坂のように堤防が無くなってしまった決壊だけをまとめている。それ以外に、このあたりでも水は溢れていたとの貴重な情報をいただいた。
5	<ul style="list-style-type: none"> ノートに記載されている治水地形分類図は、いつの時代を表した地図なのかを教えてください。 	<ul style="list-style-type: none"> 次回の検討会までに調べてお答えする。
6	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちの住んでいる所で、どこが高くどこが低いのかという細かい分布を知っていれば、いろんなことに活かされると思うが、そういった調査もしくは検査をしてもらえるのか？ また、千代川の方まで入った広域のものが欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ご自宅の高さを、1軒1軒調査するのは難しいが、標高図の色の違いで判断できる。千代川まで入った図面は、次回の検討会までに準備する。
7	<ul style="list-style-type: none"> 若宮戸地区で一番被害が起きる可能性が高い鬼怒川左岸26.7kから溢水した場合の浸水想定区域図の拡大した図面が欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 次回の検討会までに準備する。
8	<ul style="list-style-type: none"> 昨年の水害で被害が広がった一つの原因として、国土交通省と常総市役所との連携が非常に悪かった。市役所としっかり連携をとっていたら、もっとうまく逃げられたんじゃないかと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 河川事務所と市も情報伝達の練習等も行っている。 それに加え、情報を受け取った住民の方々も、体が動くように、そのような準備を一緒にすべく、このような機会を設けた。 また、普段から川について関心を持ってもらったりすることが大事だとおもっている。
9	<ul style="list-style-type: none"> 最新のハザードマップを早く欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 準備していこうと思っている。

NO.	住民からの意見	事務局の回答
10	・玉小学校も市の指定避難場所に指定されているが、水害時に実際避難できる状態ではなかった。こういう災害があったときに、どこに避難したらいいか知らせてほしい。	・第2回検討会では、指定避難場所の玉小以外にも可能性があるのではないかとのご自宅からの距離や家族構成で考えてもらう予定。一緒に検討していきたい。
11	・昭和13年に常総市高野、下妻の被害状況はどうだったか？	・次回の検討会までに調べてお答えする。
12	・小貝川と鬼怒川が同時に氾濫した場合のシミュレーションはあるのか？	・同時に氾濫した場合のシミュレーションはない。現在、小貝川のシミュレーションの準備をしている。

■住民の皆様がマイ・タイムラインノートに記載した主な内容：

【STEP1】 ・自分たちの住んでいる地区の洪水リスクを知る	
1. 地区の特性	
気づく	<ul style="list-style-type: none"> ・要介護の人を見捨てることはできないため、連帯システムを作る必要がある ・若宮戸地区に外国人居住者がいたこと ・若宮戸地区の1世帯あたりの人数が少なかったこと ・鬼怒川と小貝川に挟まれた標高の低い位置に我が家がある事が分かったので、今後は雨量に関心をもって対応したい ・自宅から鬼怒川までの距離が約200m位で、自宅周辺は田
2. 過去の洪水から学ぶ	
知る	<ul style="list-style-type: none"> ・溢水は記録にのこっていないようだ
気づく	<ul style="list-style-type: none"> ・川のそばの微高地は大丈夫だった ・鬼怒川の下流で水が氾濫すると若宮戸の自宅まで水が来ること ・水位の上昇は急なので早めの避難が重要である
3. 地形の特徴から学ぶ	
知る	<ul style="list-style-type: none"> ・災害の種類によって避難箇所を予め決めておくと同時にそれなりの避難所を策定しておくべきと思う ・自宅周辺は地盤が弱いことを常に認識しておく ・排水溝などは目前に掃除しておく ・自宅付近の旧河道がある ・常総市の地形は低い

気づく	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣の地形は理解できたが、避難を指示、勧告する際に、その様な内容を放送案内時に含めていれば被災額も変わっていたと思う ・東日本大震災時に液状化 ・我が土地は鬼怒川との間に自然堤防しかなく、水位が高くなると水害になりやすいことがわかったので、特に鬼怒川上流の降雨量に注視したい
4. 最近の雨の降り方と傾向	
知る	<ul style="list-style-type: none"> ・地元の降雨量だけでなく、常に上流に当たる地域の雨量にも配慮することを忘れぬことだ！
気づく	<ul style="list-style-type: none"> ・自宅周辺で降雨量が少ない時でも上流で豪雨が発生すれば必ず下流に影響する ・我が家は水害の危険が高いため、天気予報は注視して、早めの避難準備 ・集中豪雨の回数が増加傾向にある ・低い道路はすぐ水浸しになってしまう
5. 「想定最大規模の雨」で鬼怒川が氾濫したら	
知る	<ul style="list-style-type: none"> ・個人の判断も大切だが、まずは専門家の判断、指示が一刻も早く一般家庭に伝えられ、その内容を各自が実行することが安全に繋がることと思う ・早い時間に避難をしたので到達時は分からなかったが、水流の勢いで重いU字溝のフタが4枚重なっていた。水の勢いはすさまじい ・決壊後に自宅まで10分と早く、天気予報に注視 ・左岸26.7kmで破堤した時、10分から1時間で氾濫する
気づく	<ul style="list-style-type: none"> ・破堤直後10分後に到達することがわかる ・下流で決壊しても3時間後には到達する
考える	<ul style="list-style-type: none"> ・鬼怒川上流、特に日光・鬼怒川方面の雨量を把握すること ・1日前の避難場所の設定・避難準備、5時間前までに避難完了する ・情報を早く確認し、東、西地域に避難する

3.2 第2回検討会(平成29年2月5日)

■日時：平成29年2月5日(日) 9:00～12:30

■場所：常総市立玉小学校

■概要：若宮戸地区の住民の皆様(38世帯、41名)と学識者、常総市、常総警察署、下妻消防署石下分署、茨城県、水戸気象台、下館河川事務所のメンバーでマイ・タイムラインノートのSTEP2、STEP3を検討し、マイ・タイムラインの作成を実施した。

■議事概要：

時間	項目	概要
9:00	開会	・第2回検討会開催の挨拶
9:05	本日の進め方	・本日の検討会の進め方の説明 ・マイ・タイムラインノートの借用のお願いとマニュアル・手引き書の作成の説明
9:10	前回のおさらい	・第1回検討会の振り返り ・前回実施したアンケート結果の概要報告 ・ノートの修正箇所の説明 ・前回検討会で住民の皆様からいただいた質問の回答
9:15	<STEP2> 洪水時に得られる情報と読み解き方	・<STEP2>「洪水時に得られる情報と読み解き方」について、マイ・タイムラインノートに添って説明
9:25	<STEP2> タイムラインの考え方	・<STEP2>「タイムラインの考え方」について、マイ・タイムラインノートに添って説明
9:35	休憩(5分)	
9:40	<STEP2> 洪水時の自らの行動を想定	・<STEP2>「洪水時の自らの行動を想定」について、マイ・タイムラインノートに添って説明 ・関東・東北豪雨時の上三坂における氾濫の様子(動画)を視聴
10:00	意見交換	・ノートの30ページと34ページに関する意見交換
10:30	全体発表	・グループリーダーから発表
10:50	休憩(10分)	

11:00	<STEP3> マイ・タイムラインの 作成（意見交換含む）	・ <STEP3> 「マイ・タイムラインの作成」 について、 マイ・タイムラインノートに添って説明
11:50	意見交換	・ 各グループで意見交換を実施
12:00	全体発表	・ 各グループの中のマイ・タイムラインの一例を紹介 ・ グループリーダーから発表 ・ 学識者からの講評
12:25	とりまとめ	・ 本日の振り返りととりまとめを実施
12:30	閉会	—

■配布資料：

資料 NO	資料名称
資料 1	・ 本日のスケジュール
資料 2	・ 参加者一覧
資料 3	・ アンケート
資料 4	・ 避難準備情報等の名称変更に伴うノートの修正のお願い
資料 5	・ ノート差し替えページ（34ページ、40ページ）
資料 6	・ 記入用タイムライン
資料 7	・ 返信用封筒

■実施状況記録：

		
受付の様子	開催前の様子	須藤部長の挨拶
		
里村事務所長の進行	第1グループの参加者の様子	

		
<p>斉藤課長から説明</p>	<p>第2グループの参加者の様子</p>	
		
<p>伊藤課長から説明</p>	<p>第3グループの参加者の様子</p>	
		
<p>グループワークの様子</p>		
		
<p>グループワークの様子</p>		
		
<p>グループワークの様子</p>		



グループワークの様子



グループワークの様子



第1グループから事例紹介

第2グループから事例紹介

第3グループから事例紹介



第1グループリーダー
発表

第2グループリーダー
発表

第3グループリーダー
発表



白川准教授から講評

伊藤教授から講評

川島教授から講評

■住民の皆様がマイ・タイムラインノートに記載した主な内容：

【STEP2】 ・洪水時に得られる情報を知る／・タイムラインの考え方を知る	
6. 洪水時に得られる情報と読み解き方	
知る	・各種情報を知る手段に慣れておく（各所のデータ放送、ホームページ等）
気づく	・今まで各々の情報がこんなに色々な所から得られることを知らなかった。今後は十分に活用して、被害にあわない様にしたい
7. タイムラインの考え方	
気づく	<ul style="list-style-type: none"> ・避難した時のことを忘れない ・事前に防災グッズ等用意して直ぐに持出しできる場所に置いておく ・台風の向きにより、避難場所、手段、避難期間等を把握する ・情報を早く確認し、行動の明確化
8. 洪水時の自らの行動を想定	
知る	<ul style="list-style-type: none"> ・必需品：常用薬、眼鏡、飲料水、子供用ミルク、オムツ、当座食料、現金、通帳、印鑑 ・昼の居場所：自宅、勤務先（水戸、守谷） ・避難を受け入れてくれる場所の有無：豊岡、国生、下妻市 ・ペットの有無：犬3匹 ・情報の確認後、個人の判断をせずに、素直に従うことが大切 ・各種情報を知る手段に慣れておく（各所のデータ放送、ホームページ等） ・自宅の標高が低く水が早く来るので、できるだけ早く近くの高台（千代川の体育館、常総市総合体育館）に避難する ・自家用車移動の場合、道路状況の確認が必要
考える	<ul style="list-style-type: none"> ・避難準備情報の放送で、なんで若宮戸地区なのかと信じがたかった ・各種の情報により、早めの避難をして、できるだけ被害を少なくする ・ハザードマップを利用して高台へ避難する ・避難袋の中身を確認（薬10日分、乾パン、着替え、携帯の充電器、タオル、毛布、ラジオ、現金等）

【STEP3】 ・マイ・タイムラインの作成	
9. マイ・タイムラインの作成	
知る	・避難行動は常在災害でいること！
気づく	<ul style="list-style-type: none"> ・情報を正確に早く取り、動けるうちに早めの移動。又は早めの判断。 ・避難場所の設定（下妻市、千代川支所、常総市総合体育館、つくば市の娘の家）
考える	・落ち着いて動けるようになれば、避難場所は親族のところがいと思う

4. マイ・タイムライン検討会の実施(根新田地区)

4.1 第1回検討会(平成28年11月20日)

■日時：平成28年11月20日(日) 10:00～12:00

■場所：根新田会館

■概要：根新田地区の住民の皆様(73世帯、86名)と学識者、常総市、常総警察署、水海道消防署、茨城県、水戸气象台、下館河川事務所のメンバーでマイ・タイムラインノートのSTEP1について検討し、意見交換を実施した。

■議事概要：

時間	項目	概要
10:00	開会	・第1回検討会開催の挨拶
10:05	趣旨説明	・「みんなでタイムラインプロジェクト」の説明 ・根新田地区の検討会の進め方について説明
10:10	各機関の取り組み	・今回の検討会に参加する関係機関の紹介
10:45	鬼怒川緊急対策プロジェクトについて	・鬼怒川緊急対策プロジェクトのパンフレットを使い説明
10:50	休憩(10分)	
11:00	根新田地区の取り組み	・根新田地区がテレビ取材を受けたビデオの放映
11:10	検討会の進め方について	・本日の検討会の進め方の説明 ・マイ・タイムラインノートの借用のお願いとマニュアル・手引き書の作成の説明
11:15	<STEP1> 自分たちの住んでいる地区について	・<STEP1>「自分たちの住んでいる地区について」についてマイ・タイムラインノートに添って説明
11:25	意見交換	・ここまででお気づきの点や昔から住んでいてこんなこと知っているといった点などについて意見交換を実施
11:35	<STEP1> 洪水のリスクについて	・<STEP1>「洪水のリスクについて」についてマイ・タイムラインノートに添って説明
11:40	意見交換	・ここまででお気づきの点などについて意見交換を実施
11:55	とりまとめ	・本日の振り返りととりまとめを実施
12:00	閉会	—

■配布資料：

資料 NO	資料名称
資料 1	・本日のスケジュール
資料 2	・参加者一覧
資料 3	・常総市マイ・タイムライン検討会規約（案）
資料 4	・学識者のプロフィール
資料 5	・取り組みの紹介（水戸地方気象台について）
資料 6	・アンケート
資料 7	・根新田居住者の避難行動アンケート
資料 8	・今後の予定
資料 9	・マイ・タイムラインノート

■実施状況記録：

		
受付の様子	神達市長の挨拶	自治区長の挨拶
		
里村事務所長の進行	須藤部長から説明	関係機関の取り組み紹介
		
説明を聞く参加者	須藤副所長から説明	川島教授から説明

		
伊藤課長から説明	説明を聞く参加者	
		
白川准教授から講評	伊藤教授から講評	マスコミ取材の様子

■ 検討会において住民の皆様から出されたご意見：

NO.	内容	回答
1	・中妻地区の堤防計画について教えてほしい。	・平成32年までにJR水戸線までの全区間を整備する予定。
2	・「避難しましたか？」という質問に対して、家族の中で自宅に残った人もいる場合、どう記載すべきか？	・家族で何人が避難したのか、避難できなかった人がいたのかをできる限りわかるように記入していただきたい。
3	・避難というのは自宅からの避難だけのことでなのか？職場に残った場合は避難といえるか？	・ここでの「避難」は、自分の身を水害から守る行動として考えていただきたい。職場にとどまるという「避難」もある。
4	・家財は車も含まれるか？	・車も含んでいただいてよい。
5	・世帯数はアパートの人も含めているか？	・アパートの人も含めている。
6	・メモ欄に記入しましょうというのは、この時間帯に気づいたことだけを記入するのか、それとも帰宅してから記入してもいいということか？	・今説明をした中で、資料に書いていなくて、これ大事だなと思った所は書いていただきたい。また、ノートはお持ち帰りいただくため、帰宅後に、ご家族とお話していただくなどにより、さらに書き込んでいただきたい。

NO.	内 容	回 答
7	<ul style="list-style-type: none"> 根新田会館は家屋の倒壊しない場所になっているが、近傍で決壊した場合でもここは流されないということか？ 	<ul style="list-style-type: none"> 流されないという理解でよい。
8	<ul style="list-style-type: none"> 昭和13年に三坂の平畑地区が決壊したと聞いているが、ここに書いていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ここでは、完全に堤防が切れたところを、記載している。昭和13年は、溢水かもしれない。次回までに調べてみる。
9	<ul style="list-style-type: none"> 昔、床上まで水がきたと聞いている。自宅には、印がついていた。 	<ul style="list-style-type: none"> 皆さんのほうが地域のこれまでの水害についてよくご存じだと思う。皆様の祖父や祖母からお聞きになっている情報が大事だと思うため、メモ欄などに書いていただきたい。
10	<ul style="list-style-type: none"> 関東・東北豪雨の際にホットメールが活躍した。関係者の方々には、その点も理解してもらいたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ホットメールがあれば避難行動につながるというのは、非常に有効で、他の地域でも活用できると思う。

■住民の皆様がマイ・タイムラインノートに記載した主な内容：

【STEP1】 ・自分たちの住んでいる地区の洪水リスクを知る	
1. 地区の特性	
気づく	<ul style="list-style-type: none"> ・65歳以上人口が思っていたより多い ・年配者にも SNS 活用術をご指導いただきたい
2. 過去の洪水から学ぶ	
知る	<ul style="list-style-type: none"> ・常総市本豊田の決壊は自宅が避難所として親戚を受け入れたが避難先は大変なため、他の避難先へ移動しようと思う ・昭和13年白畑地区で水が溢れた
気づく	<ul style="list-style-type: none"> ・決壊ポイントから予想以上に広範囲で被害がでた ・洪水が多いのは元々知っていた
3. 地形の特徴から学ぶ	
知る	<ul style="list-style-type: none"> ・下流が決壊しても上流も浸水する
気づく	<ul style="list-style-type: none"> ・河川付近は地盤が弱いと認識していたが、改めて確認・認識できた ・自宅は扇状地なのか…
4. 最近の雨の降り方と傾向	
知る	<ul style="list-style-type: none"> ・上流の雨量をチェックする ・50mm以上は警戒して情報収集する
気づく	<ul style="list-style-type: none"> ・20年、50年に一度という雨が頻発している ・線状降水帯の増加傾向
5. 「想定最大規模の雨」で鬼怒川が氾濫したら	
知る	<ul style="list-style-type: none"> ・三坂の決壊ポイントだたおよそ10分で自宅に到達。早すぎる… ・下流で切れても水は流れてくる
気づく	<ul style="list-style-type: none"> ・決壊ポイントが3km違うだけで到達時間が1時間も違う ・下流で決壊しても水は到達する
考える	<ul style="list-style-type: none"> ・如何に早く逃げられるか ・如何に情報を入手できるか（SNS、TV） ・日頃の備え

4.2 第2回検討会(平成29年1月29日)

■日時：平成29年1月29日(日) 10:00～12:00

■場所：常総市役所

■概要：根新田地区の住民の皆様(51世帯、60名)と学識者、常総市、常総警察署、水海道消防署、茨城県、水戸气象台、下館河川事務所のメンバーでマイ・タイムラインノートのSTEP2を検討し、グループに分かれて意見交換を実施した。

■議事概要：

時間	項目	概要
10:00	開会	・第2回検討会開催の挨拶
10:05	本日の進め方	・本日の検討会の進め方の説明
10:10	前回のおさらい	・第1回検討会の振り返り ・前回実施したアンケート結果の概要報告 ・ノートの修正箇所の説明 ・前回検討会で住民の皆様から頂いた質問に対する回答 ・根新田居住者の避難行動アンケート結果の報告
10:20	<STEP2> 洪水時に得られる 情報と読み解き方	・<STEP2>「洪水時に得られる情報と読み解き方」について、マイ・タイムラインノートに添って説明
10:30	<STEP2> タイムラインの考 え方	・<STEP2>「タイムラインの考え方」について、マイ・タイムラインノートに添って説明
10:40	休憩(5分)	
10:45	<STEP2> 洪水時の自らの行 動を想定	・<STEP2>「洪水時の自らの行動を想定」について、マイ・タイムラインノートに添って説明 ・関東・東北豪雨の時の三坂での様子が撮影されたビデオを視聴
11:05	意見交換	・ノートの30ページと34ページに関する意見交換
11:35	全体発表	・グループリーダーから発表 ・学識者からの講評
11:55	とりまとめ	・本日の振り返りととりまとめを実施
12:00	閉会	—

■配布資料：

資料 NO	資料名称
資料 1	・本日のスケジュール
資料 2	・参加者一覧
資料 3	・アンケート
資料 4	・避難準備情報等の名称変更に伴うノートの修正のお願い
資料 5	・今後の予定
資料 6	・ノート差し替えページ（34ページ、40ページ）

■実施状況記録：

		
受付の様子	開催前の様子	須藤部長の挨拶
		
自治区長の挨拶	神達常総市長の挨拶	里村事務所長の進行
		
溝上室長から説明	川島教授から説明	伊藤課長から説明



説明を聞く参加者



グループワークの様子



グループワークの様子



グループワークの様子



グループワークの様子

		
第1 グループから事例紹介	第2 グループから事例紹介	第3 グループから事例紹介
		
第4 グループから事例紹介	第5 グループから事例紹介	第6 グループから事例紹介
		
川島教授から講評	伊藤教授から講評	白川准教授から講評

■ 検討会において住民の皆様から出されたご意見：

NO.	内容	回答
1	・タイムラインのゼロ時間は堤防が決壊した時だと思うが、この時間はどうやってわかるのか？	・ここでゼロ時間は氾濫発生時刻を想定している。このゼロ時間を知るの難しいが、河川事務所では、調査や計算で最初に氾濫がはじまる箇所を設定し、過去の洪水での水位の上がり方などから、氾濫がはじまる3時間前の水位観測所の水位として「氾濫危険水位」を設定している。実際には土のう積みなどによってもっと遅くなることも考えられるが、この氾濫危険水位をマイナス3時間の目安としてほしい。

NO.	内 容	回 答
2	・関東・東北豪雨の際に、車いすの家族と避難しようとしたとき、障害者が避難できる避難施設を市に問合せたが、明確な回答がなかった。	・現在、要介護者用の避難所の指定について検討中である。
3	・洪水時の歩行実験データで、50センチで歩行も困難になるとあるが、このように数字を出すと判断を誤る恐れがあるのでは？	・ここで知っていただきたいのは、浸水深50センチや、30センチでは移動が可能ということではなく、浸水する前に移動を始めることが重要であること。この点を理解してほしい。
4	・タイムラインを検討する際の前提条件について、夜間の方が条件が厳しくなると思うが、どのような条件で検討すればよいか？	・夜間の方が条件が厳しくなると思うが、まずは、わかりやすい条件で検討していただきたい。その後、条件を厳しくして検討していただきたい。タイムラインの検討は、1つの条件で行えば終わりではなく、いろんな条件で考えていただきたい。

■住民の皆様がマイ・タイムラインノートに記載した主な内容：

【STEP2】	
<ul style="list-style-type: none"> ・洪水時に得られる情報を知る ・タイムラインの考え方を知る 	
6. 洪水時に得られる情報と読み解き方	
知る	・避難に必要な情報は簡単なほうがいい！
7. タイムラインの考え方	
気づく	<ul style="list-style-type: none"> ・4時間前から移動を考えタイミングを早くする ・近所とのコミュニケーションは重要
8. 洪水時の自らの行動を想定	
知る	<ul style="list-style-type: none"> ・必需品：携帯電話 ・昼の居場所：市役所、自宅 ・避難を受け入れてくれる場所：つくばみらい市（長男宅）
気づく	・早めの避難、自宅のブレーカーを落とす
考える	・一番オーソドックスな考えで避難を考え、それにオプションをつけて行く（障害者、幼児、高齢者、夜等）

4.3 第3回検討会(平成29年2月19日)

■日時：平成29年2月19日(日) 10:00～12:00

■場所：常総市役所

■概要：根新田地区の住民の皆様(49世帯、59名)と学識者、常総市、常総警察署、水海道消防署、茨城県、水戸气象台、下館河川事務所のメンバーでマイ・タイムラインノートのSTEP3を検討し、マイ・タイムラインの作成を実施した。

■議事概要：

時間	項目	概要
10:00	開会	・第3回検討会開催の挨拶
10:05	本日の進め方	・本日の検討会の進め方の説明 ・マイ・タイムラインノートの借用のお願いとマニュアル・手引き書の作成の説明
10:10	これまでのおさらい	・第1・2回検討会の振り返り ・鬼怒川流域水位観測所・雨量観測所 位置図について説明
10:15	<STEP3> マイ・タイムライン の作成	・<STEP3>「マイ・タイムラインの作成」について、 マイ・タイムラインノートに添って説明
10:45	意見交換	・各グループで意見交換を実施
10:55	休憩(5分)	
11:00	意見交換	・各グループで意見交換を実施
11:20	全体発表	・各グループの中のマイ・タイムラインの一例を紹介 ・グループリーダーから発表 ・学識者からの講評
11:55	とりまとめ	・本日の振り返りととりまとめを実施
12:00	閉会	—

■配布資料：

資料 NO	資料名称
資料 1	・本日のスケジュール
資料 2	・参加者一覧
資料 3	・アンケート
資料 4	・鬼怒川流域水位観測所・雨量観測所 位置図
資料 5	・記入用タイムライン
資料 6	・返信用封筒

■実施状況記録：

		
受付の様子	開催前の様子	神達市長の挨拶
		
自治区長の挨拶	里村事務所長の進行	溝上室長から説明
		
伊藤課長から説明	説明を聞く参加者	



グループワークの様子



グループワークの様子



グループワークの様子



グループワークの様子



グループワークの様子

		
第 1 グループから事例紹介	第 2 グループから事例紹介	第 3 グループから事例紹介
		
第 4 グループから事例紹介	第 5 グループから事例紹介	第 6 グループから事例紹介
		
共助を盛り込んだ タイムラインの紹介	川島教授から講評	白川准教授から講評
		
山田副署長から講評	須藤部長から講評	神達市長の取材状況

■住民の皆様がマイ・タイムラインノートに記載した主な内容：

【STEP3】 ・マイ・タイムラインの作成	
9.マイ・タイムラインの作成	
気づく	<ul style="list-style-type: none"> ・避難後自宅に帰ると、1階のものが全てダメになるため、衣類などは2階に移動する
考える	<ul style="list-style-type: none"> ・マイタイムラインを習慣化、日常化（ガソリン、スマホ等の準備） ・シェアしていく（助け合い）、タイムラインの共有化 ・ペットも家族の一員であるため、指定避難所が決定したら「ペット可」との案内も必要 ・保存食、飲料水、電池等のチェック ・車両のガソリンも前月には確認しておく

5. マイ・タイムライン事例集

5.1 若宮戸地区

検討会参加者が作成されたマイ・タイムラインのうち、平成29年3月23日までに事務局にご提出いただいたものを次頁以降に順不同で添付する。(若宮戸地区：21事例)

※一部個人情報等に関する部分は、マスキング処理を実施しています。

	行政情報 (黒: 気象・水象情報音; 下館河川事務所 録: 常総市)	住民等(例)	作成のポイント
3日前	○台風予報 ○台風に関する橋木県、茨城県気象情報(随時)	○テレビの天気予報を注意 ○家族全員の今後の予定を確認 ○マイ・タイムラインを確認 ○防災グッズの準備(不足があれば買い出しへ) ○1週間分の菓を病院に受け取りに行く ○家の周りに風で飛ばされそうなものはないか確認	○通出をする予定がある場合は、今後の気象情報に注意しましょう。場合によっては、予定のキャンセルも視野にいれて行動しましょう。 ○事前に準備しておきましょう。 ○風でとばされそうな橋木県、自転車、農機具の片づけ、ビニールハウスの点検などはすべておきましょう。
2日前	◇大雨注意報・洪水注意報 ○台風に関する今後の見通し	○家族全員の今後の予定を再確認 ○携帯電話の充電	
1日前	◇大雨警報・洪水警報 上流域(日光等)での大雨特別警報	○ハザードマップで避難場所、避難手段を確認 ○隣の親戚の家に家族みんなで避難することを電話 ○携帯電話の充電 ○川の水位をインターネットで確認 ○通行止め情報がないかインターネットで確認 ○隣の避難の開始を判断	移動中に情報を収集できるようなように、携帯電話等の充電をしておきましょう。 避難を開始する前に、交通情報や渋滞情報、地域の浸水情報などを収集しましょう。 避難する場所が近い場合は、早めに避難行動を開始することも考えましょう。
半日前	水防団待機水位到達 はん濫注意水位到達 → 洪水予報(はん濫注意情報)発表 ○県支庁者施設に洪水予報(はん濫注意情報)を伝達 ○避難所の開放 ○避難準備・高齢者等避難開始を発令 ◇大雨特別警報(緊急速報メール) ○暴風警報	○隣の避難の開始を判断 ○市内の高台への避難の開始を判断	移動中も市からの情報を常に収集しましょう。防災行政無線や広報車などでも情報は提供されています。
-5h	避難判断水位到達 → 洪水予報(はん濫警報)発表 ○避難勧告又は避難指示(緊急)を発令	○隣の避難完了 ○市内の高台への避難の開始を判断	避難が完了しても、情報は収集するようにしましょう。
4h	○避難勧告又は避難指示(緊急)を発令	○市内の指定避難所への避難を判断	
-3h	はん濫危険水位到達 → 洪水予報(はん濫危険情報)発表 緊急速報メール(河川氾濫のおそれがある情報)	○川の水位をインターネットで確認 ○市内の高台への避難を完了 ○市内の指定避難所への避難を完了 ○テレビで洪水予報の確認 ○携帯電話で緊急速報メールを受信 ○自宅内の浸水が想定されない場所で身の安全を確保	必要なものを確認しましょう。また、最初に戻って作成したマイ・タイムラインを確認しましょう。
2h	○緊急速報メール(河川氾濫のおそれがある情報)		
1h			
0h	氾濫が発生 → 洪水予報(はん濫発生情報) 緊急速報メール(氾濫が発生した情報)	○テレビで洪水予報の確認 ○携帯電話で緊急速報メールを受信	

雨風が強くなる前に行うべき事項をすべておさめよう

水位等の状況を把握して避難行動を開始する時期

身の安全を確保すべき時期

○テレビの天気予報を注意

○薬の量の確認

○携帯電話の充電

○非常持出し品の確認

○親戚の移動(地区の意向へ)

○飯米の移動(蔵2階へ)

○親の避難(隣の家の)

○自家用車の移動(1台終了)

○不揃い、非常持出し品の確認
薬者皆 携帯電話貴重品等

○近隣の親戚へ避難開始

○近隣の親戚へ避難完了

	行政情報	住民等(例)	作成のポイント
3日前	(県:気象・水害情報 青;下館河川事務所 緑;常総市) ○台風予報 ○台風に関する栃木県、茨城県気象情報(随時)	○テレビの天気予報を注意 ○家族全員の今後の予定を確認 ○マイ・タイムラインを確認 ○防災グッズの準備(不足があれば買い出しへ) ○1週間分の薬を病院に受け取りに行く ○家の周りに風で飛ばされないようなものはないか確認	① 運出する予定がある場合は、今後の気象情報に注意しましょう。場合によっては、予定のキャンセルも視野にいれて行動しましょう。 ② 事前に準備しておきましょう。
2日前	○大雨注意報・洪水注意報 ○台風に関する今後の見通し	○テレビ、インターネット、携帯メール等で雨や川の様子に注意 ○家族全員の今後の予定を再確認	③ 風でとばされそうな植木鉢、自転車、農機具の片づけ、ビニールハウスの支柱などはすませておきましょう。
1日前	○大雨警報・洪水警報 上流域(日光等)での大雨特別警報	○携帯電話の充電	
半日前	水防団待機水位到達 はん濫注意水位到達 洪水予報(はん濫注意情報)発表 ○要支援者施設に洪水予報(はん濫注意情報)を伝達 ○避難所の開設 ○避難準備・高齢者等避難開始を発令 ○大雨特別警報(緊急速報メール) ○暴風警報	○ハザードマップで避難場所、避難手段を確認 ○隣町の親戚の家に家族みんなで避難することを電話 ○携帯電話の充電 ○川の水位をインターネットで確認 ○通行止め情報がないかインターネットで確認 ○隣町への避難の開始を判断 ○携帯メール等で避難準備・高齢者等避難開始の受信 ○移動に時間のかかる人は、市内の指定避難所への避難の開始を判断 ○隣町への避難完了 ○市内の高台への避難の開始を判断	④ 移動中に情報を収集できるように、携帯電話等の充電をしておきましょう。 ⑤ 避難を開始する前に、交通情報や渋滞情報、地域の浸水情報などを収集しましょう。 ⑥ 避難する場所が遠い場合は、早めに避難行動を開始することも考えましょう。 ⑦ 移動中も市からの情報を常に収集しましょう。防災行政無線や広報車などでも情報は提供されています。
-5h	避難判断水位到達 洪水予報(はん濫警戒情報)発表 ○避難勧告又は避難指示(緊急)を発令	○川の水位をインターネットで確認 ○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで避難勧告、避難指示(緊急)を受信 ○市内の指定避難所への避難を判断	⑧ 避難が完了しても、情報は収集するようにしましょう。
-3h	はん濫危険水位到達 洪水予報(はん濫危険情報)発表 緊急速報メール(河川氾濫のおそれがある情報)	○川の水位をインターネットで確認 ○市内の高台への避難を完了 ○市内の指定避難所への避難を完了 ○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで緊急速報メールを受信 ○自宅内の浸水が想定されない場所で身の安全を確保	⑨ 必要なものを確認しましょう。また、最初に乗って作成したマイ・タイムラインを確認しましょう。
0h	氾濫が発生 洪水予報(はん濫発生情報) 緊急速報メール(氾濫が発生した情報)	○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで緊急速報メールを受信	

両風が強くなる前に行うべき事項をすませておきましょう
 水位等の状況を把握して避難行動を開始する時期
 身の安全を確保する時期

◎ 台風情報

今後の予定の確認(家族全員)

家の周りに風で飛ばされたい物の確認

◎ 天気予報の確認(台風情報)

会社への連絡

携帯電話の充電

自家用車の燃料の確認

◎ 台風情報

親戚の家に避難することと連絡

会社へ連絡する

家の中にある物など、大甲は物のまとめ

ぬいぐるみ(犬・猫)はどうするか?

戸棚裏、持ち出し品の確認

近くの新居に避難(11月代)/玉小へ避難

避難完了

会社への連絡

※ 天気予報、台風情報はこまめに確認ね

※ 避難に急行したとき、携帯電話は充電できるの?

	行政情報	住民等(例)	作成のポイント
3日前	○台風予報 ○台風に関する栃木県、茨城県気象情報(随時)	○テレビの天気予報を注意 ○家族全員の今後の予定を確認 ○マイ・タイムラインを確認 ○防災グッズの準備(不足があれば買い出しへ) ○1週間分の菓を病院に受け取りに行く ○家の周りに風で飛ばされないようなものはないか確認	① 遠出を予定がある場合は、今後の気象情報に注意しましょう。場合によっては、予定のキャンセルも視野にいれて行動しましょう。 ② 事前に準備しておきましょう。
2日前	◇大雨注意報・洪水注意報 ○台風に関する今後の見通し	○テレビ、インターネット、携帯メール等で雨や川の様子に注意 ○家族全員の今後の予定を再確認 ○携帯電話の充電	③ 風で飛ばされそうな植木鉢、自転車、農機具の片づけ、ビニールハウスの点検などは早めておきましょう。
1日前	◇大雨警報・洪水警報 上流域(日光等)での大雨特別警報	○ハザードマップで避難場所、避難手段を確認 ○隣町の親戚の家に家族みんなで避難することを電話 ○携帯電話の充電 ○川の水位をインターネットで確認 ○通行止め情報がないかインターネットで確認	④ 移動中に情報を収集できるように、携帯電話等の充電をしておきましょう。 ⑤ 避難を開始する前に、交通情報や渋滞情報、地元の浸水情報などを収集しましょう。
半日前	水防団待機水位到達 はん監注意水位到達 洪水予報(はん監注意情報)発表 ○要支援者施設に洪水予報(はん監注意情報)を伝達 ○避難所の開設 ○避難準備情報を発令 ◇大雨特別警報(緊急速報メール) ◇暴風警報	○隣町への避難の開始を判断 ○携帯メール等で避難準備情報の受信 ○移動に時間のかかる人は、市内の指定避難所への避難の開始を判断 ○隣町への避難完了 ○市内の高台への避難の開始を判断	⑥ 避難する場所が遠い場合は、早めに避難行動を開始することも考えましょう。 ⑦ 移動中も市からの情報を常に収集しましょう。防災行政無線や広報車などでも情報は提供されています。
-5h	避難判断水位到達 洪水予報(はん監警報情報)発表 ○避難勧告又は避難指示を発令	○川の水位をインターネットで確認 ○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで避難勧告、避難指示を受信 ○市内の指定避難所への避難を判断	⑧ 避難が完了しても、情報に収集するようにしましょう。
-3h	はん監危険水位到達 洪水予報(はん監危険情報)発表 緊急速報メール(河川氾濫のおそれがある情報)	○川の水位をインターネットで確認 ○市内の高台への避難を完了 ○市内の指定避難所への避難を完了 ○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで緊急速報メールを受信 ○自宅内の浸水が想定されない場所で身の安全を確保	⑨ 必要なものを確認しましょう。また、最初に戻って作成したマイ・タイムラインを確認しましょう。
0h	氾濫が発生 洪水予報(はん監発生情報) 緊急速報メール(氾濫が発生した情報)	○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで緊急速報メールを受信	

台風が強くなる前に行うべき事項を早めておく時期

水位等の状況を把握しつつ避難に関する時間に応じて避難行動を開始する時期

身の安全を確保すべき時期

台風の向き、風力、位置の確認

予報の場所の注視する
注意報の場所の確認する

警報の出てくる場所か
どこか(キヌ川の氾濫か)

避難場所を決定する
ビニール、本金、電話
車、カギ等々を準備する

避難所へ到着
(避難完了)

	行政情報 (県:気象・水災情報 青:下総河川事務所 緑:常総市)	住民等(例)	作風のポイント	常総市 鬼怒川マイ・タイムライン
3日前	○台風予報 ○台風に関する栃木県、茨城県気象情報(随時)	○テレビの天気予報を注意 ○家族全員の今後の予定を確認 ○マイ・タイムラインを確認 ○防災グッズの準備(不足があれば買い出しへ) ○1週間分の薬を病院に受け取りに行く ○家の周りに風で飛ばされないようなものはないか確認	遠出をする予定がある場合は、今後の気象情報に注意しましょう。遅くによっては、予定のキャンセルも視野にいれて行動しましょう。 事前に準備しておきましょう。	・テレビの天気予報を注意 ・マイ・タイムラインを確認 ・持ち出し品の計画、準備実施 ・雨や川の様子に注意(テレビ等)
2日前	◇大雨注意報・洪水注意報 ○台風に関する今後の見通し	○テレビ、インターネット、携帯メール等で雨や川の様子に注意 ○家族全員の今後の予定を再確認 ○携帯電話の充電	風ではとられそうな通水鉢、自転車、農機具の片づけ、ビニールハウスの点検などはすべておきましょう。	・家の周りの点検 ・常用薬と病院に受け取りに行く ・車のガソリン給油、使用しない車の高圧洗浄 ・家族行動予定確認 ・外出、重たいとりのやめ(家族全員) ・携帯電話の充電 ・天気予報を確認する ・持ち出し品の車の積み込み
1日前	◇大雨警報・洪水警報 上流域(日光等)での大雨特別警報	○ハザードマップで避難場所、避難手段を確認 ○隣町の親戚の家に家族みんなで避難することを電話 ○携帯電話の充電 ○川の水位をインターネットで確認 ○通行止め情報がないかインターネットで確認	移動中に情報を収集できるように、携帯電話等の充電をしておきましょう。 避難を開始する前に、交通情報や渋滞情報、地域の浸水情報などを収集しましょう。	・避難場所、経路(破損点)の確認と確認 ・川の水位の確認と確認 ・家族間で状況連絡をとりあう
半日前	水防団待機水位到達 はん濫注意水位到達 洪水予報(はん濫注意情報)発表 ○要支援者施設に洪水予報(はん濫注意情報)を伝達 ○避難所の開設 ○避難準備・高齢者等避難開始を発令	○隣町への避難の開始を判断 ○携帯メール等で避難準備・高齢者等避難開始の受信 ○移動に時間のかかる人は、市内の指定避難所への避難の開始を判断 ○隣町への避難完了 ○市内の高台への避難の開始を判断	避難する場所が違い場合は、早めに避難行動を開始することも考えましょう。 移動中も市からの情報を常に収集しましょう。防災行政無線や広報車などでも情報は提供されています。	・避難先(親戚)可否の確認 ・可能な場合 否の場合 ・道路状況の確認 近隣の避難所 ・家族全員に連絡 家族全員に連絡 ・携帯電話の充電
-5h	◇大雨特別警報(緊急速報メール) ◇暴風警報 避難判断水位到達 洪水予報(はん濫警戒情報)発表 ○避難勧告又は避難指示(緊急)を発令	○川の水位をインターネットで確認 ○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで避難勧告、避難指示(緊急)を受信 ○市内の指定避難所への避難を判断	避難が完了しても、情報は収集するようにしましょう。	・親戚、隣近所に連絡(避難場所) ・洪水予報の確認 ・戸締まり、ブレーカー遮断 ・避難場所へ移動を開始(車2台1台分) ・避難準備完了
-3h	はん濫危険水位到達 洪水予報(はん濫危険情報)発表 緊急速報メール(河川氾濫のおそれがある情報)	○川の水位をインターネットで確認 ○市内の高台への避難を完了 ○市内の指定避難所への避難を完了 ○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで緊急速報メールを受信 ○自宅内の浸水が想定されない場所で身の安全を確保	必要なものを確認し戻しましょう。また、最初に戻って作成したマイ・タイムラインを確認しましょう。	・親戚に避難完了
0h	氾濫が発生 洪水予報(はん濫発生情報) 緊急速報メール(氾濫が発生した情報)	○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで緊急速報メールを受信		

	行政情報 (県:気象・水気情報 青:下館河川事務所 緑:常総市)	住民等(例)	作業のポイント
3日前	○台風予報 ○台風に関する洪水発、茨城県気象情報(随時)	○テレビの天気予報を注意 ○家族全員の今後の予定を確認 ○マイ・タイムラインを確認 ○防災グッズの準備(不足があれば買い出しへ) ○1週間分の薬を病院に受け取りに行く ○家の周りに風で飛ばされないようなものはないか確認	○運出する予定がある場合は、今後の気象情報に注意しましょう。場合によっては、予定のキャンセルも視野にいれて行動しましょう。 ○事前に準備しておきましょう。
2日前	◇大雨注意報・洪水注意報 ○台風に関する今後の見通し	○テレビ、インターネット、携帯メール等で雨や川の様子に注意 ○家族全員の今後の予定を再確認	○風で飛ばされそうな物、鉢、自転車、農機具の片づけ、ビニールハウスの片付けなどはしておきましょう。
1日前	◇大雨警報・洪水警報 上流域(日光等)での大雨特別警報	○携帯電話の充電	
半日前	水防団待機水位到達 はん濫注意水位到達 洪水予報(はん濫注意情報)発表 ○要支障者施設に洪水予報(はん濫注意情報)を伝達 ○避難所の開設 ○避難準備・高齢者等避難開始を発令 ◇大雨特別警報(緊急連絡メール) ◇暴風警報	○ハザードマップで避難場所、避難手段を確認 ○隣の親戚の家に家族みんなで避難することを電話 ○携帯電話の充電 ○川の水位をインターネットで確認 ○通行止め情報がないかインターネットで確認 ○隣の避難の開始を判断 ○携帯メール等で避難準備・高齢者等避難開始の受信 ○移動に時間のかかる人は、市内の指定避難所への避難の開始を判断 ○隣の避難完了 ○市内の高台への避難の開始を判断	○移動中に情報を収集できるように、携帯電話の充電をしておきましょう。 ○避難を開始する前に、交通情報や渋滞情報、地域の浸水情報などを収集しましょう。 ○避難する場所が違い場合は、早めに避難行動を開始することも考えましょう。 ○移動中も市からの情報を常に収集しましょう。防災行政無線や広報車などでも情報は提供されています。
-5h	避難判断水位到達 洪水予報(はん濫危険情報)発表 ○避難勧告又は避難指示(緊急)を発令	○川の水位をインターネットで確認 ○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで避難勧告、避難指示(緊急)を受信 ○市内の指定避難所への避難を判断	○避難が完了しても、情報は収集するようにしましょう。
-3h	はん濫危険水位到達 洪水予報(はん濫危険情報)発表 緊急連絡メール(常川氾濫のおそれがある情報)	○川の水位をインターネットで確認 ○市内の高台への避難を完了 ○市内の指定避難所への避難を完了 ○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで緊急連絡メールを受信 ○自宅内の浸水が想定されない場所での身の安全を確保	○必要なものを確認しましょう。また、最初に良くて作成したマイ・タイムラインを確認しましょう。
0h	氾濫が発生 洪水予報(はん濫発生情報) 緊急連絡メール(氾濫が発生した情報)	○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで緊急連絡メールを受信	

両風が吹くような雨に行うべき事項を予定しておく時期
 水位等の状況を把握し、避難に要する時間に応じて避難行動を開始する時期
 身の安全を確保すべき時期

任意に訂正可
石川市に電話 9207

避難の経路(仮)

常総市役所
常総市立図書館
常総市立公民館
常総市立体育館
常総市立図書館
常総市立公民館
常総市立体育館

避難先を予定

避難先(仮) 9427
避難先(仮) 9427

3時間以内の避難先(仮)
避難先(仮) 9427
避難先(仮) 9427

注
避難先(仮) 9427
避難先(仮) 9427

	行政情報 (黒: 気象・水害情報 青: 下館河川事務所 緑: 常総市)	住民等(例)	作成のポイント
3日前	○台風予報 ○台風に関する風水害、茨城県気象情報(随時)	○テレビの天気予報を注意 ○家族全員の今後の予定を確認 ○マイ・タイムラインを確認 ○防災グッズの準備(不足があれば買い出しへ) ○1週間分の薬を病院に受け取りに行く ○家の周りに風で飛ばされないようなものはないか確認	○進出する予定がある場合は、今後の気象情報に注意しましょう。進出によっては、予定のキャンセルも視野にいれて行動しましょう。 ○事前に準備しておきましょう。
2日前	◇大雨注意報・洪水注意報 ○台風に関する今後の見通し	○テレビ、インターネット、携帯メール等で雨や川のの様子に注意 ○家族全員の今後の予定を再確認	○風で飛ばされそうな植木鉢、自転車、農機具の片づけ、ビニールハウスの点検などはすませておきましょう。
1日前	◇大雨警報・洪水警報 上流域(日光等)での大雨特別警報	○携帯電話の充電	
半日前	水防団時機水位到達 はん濫注意水位到達 洪水予報(はん濫注意情報)発表	○ハザードマップで避難場所、避難手段を確認 ○隣町の親戚の家に家族みんなで避難することを電話 ○携帯電話の充電 ○川の水位をインターネットで確認 ○通行止め情報がないかインターネットで確認	○移動中に情報を収集できるように、携帯電話等の充電をしておきましょう。 ○避難を開始する前に、交通情報や渋滞情報、地域の浸水情報などを収集しましょう。
	○要支援者施設に洪水予報(はん濫注意情報)を伝達 ○避難所の開設 ○避難準備・高齢者等避難開始を発令	○隣町への避難の開始を判断 ○携帯メール等で避難準備・高齢者等避難開始の受信 ○移動に時間のかかる人は、市内の指定避難所への避難の開始を判断	○避難する場所が遠い場合は、早めに避難行動を開始することも考えましょう。 ○移動中も市からの情報を常に収集しましょう。防災行政無線や広域車などでも情報は提供されています。
	◇大雨特別警報(緊急速報メール) ◇暴風警報	○隣町への避難完了 ○市内の高台への避難の開始を判断	
-5h	避難判断水位到達 洪水予報(はん濫警戒情報)発表 ○避難勧告又は避難指示(緊急)を発令	○川の水位をインターネットで確認 ○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで避難勧告、避難指示(緊急)を受信 ○市内の指定避難所への避難を判断	○避難が完了しても、情報は収集するようにしましょう。
-3h	はん濫危険水位到達 洪水予報(はん濫危険情報)発表 緊急速報メール(河川氾濫のおそれがある情報)	○川の水位をインターネットで確認 ○市内の高台への避難を完了 ○市内の指定避難所への避難を完了 ○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで緊急速報メールを受信	○必要なものを確認しましょう。また、最初に戻って作成したマイ・タイムラインを確認しましょう。
0h	氾濫が発生 洪水予報(はん濫発生情報) 緊急速報メール(氾濫が発生した情報)	○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで緊急速報メールを受信	

雨量が増える可能性がある場合は、避難行動を予定して早く避難

水位等の状況を把握して避難に要する時間に応じて避難行動を開始する時期

身の安全を確保し入る時期

マイタイムラインの確認する
排水溝・流水を確認する
カーテンをはずして高所に移動する
玄関、バルコニーは固定する
テレビ、不動産の書類等を
高い場所へ移動する

毎日飲んでいる薬を1週間分
用意する
タンスの下敷類を高い場所へ移動する

車庫の中を整理して入る水のせり
は持ち出しも他は処分する

携帯電話の充電
車のバッテリー有無を確認し
不足時は補充する
パソコン中の財産画像、カード
印鑑の有無を確認する

雨戸の閉鎖の確認する
ブレーキを落とす

3時間前には出発
1時間前には下館川
中津校に避難完了

	行政情報 (黒:気象・水害情報青:下館河川事務所 緑:常総市)	住民等(例)	作成のポイント
3日前	○台風予報 ○台風に関する栃木県、茨城県気象情報(随時)	○テレビの天気予報を注意 ○家族全員の今後の予定を確認 ○マイ・タイムラインを確認 ○防災グッズの準備(不足があれば買い出しへ) ○1週間分の薬を病院に受け取りに行く ○家の周りに風で飛ばされないようなものはないか確認	○進出をする予定がある場合は、今後の気象情報に注意しましょう。場合によっては、予定のキャンセルも視野に入れて行動しましょう。 ○事前に準備しておきましょう。
2日前	◇大雨注意報・洪水注意報 ○台風に関する今後の見通し	○テレビ、インターネット、携帯メール等で雨や川の様子に注意 ○家族全員の今後の予定を再確認	○風で飛ばされそうな植木鉢、自転車、園芸具の片づけ、ビニールハウスの点検などは早めておきましょう。
1日前	◇大雨警報・洪水警報	○携帯電話の充電	
半日前	上流域(日光等)での大雨特別警報 水防団待機水位到達 はん濫注意水位到達 洪水予報(はん濫注意情報)発表 ○県支庁等施設に洪水予報(はん濫注意情報)を伝達 ○避難所の開設 ○避難準備・高齢者等避難開始を命令 ◇大雨特別警報(緊急速報メール) ◇暴風警報	○ハザードマップで避難場所、避難手段を確認 ○隣町の親戚の家に家族みんなで避難することを電話 ○携帯電話の充電 ○川の水位をインターネットで確認 ○通行止め情報がないかインターネットで確認 ○隣町への避難の開始を判断 ○携帯メール等で避難準備・高齢者等避難開始の受信 ○移動に時間のかかる人は、市内の指定避難所への避難の開始を判断 ○隣町への避難完了 ○市内の高台への避難の開始を判断	○移動中に情報を収集できるように、携帯電話等の充電をしておきましょう。 ○避難を開始する前に、交通情報や渋滞情報、地域の浸水情報などを収集しましょう。 ○避難する場所が近い場合は、早めに避難行動を開始することをお考えましょう。 ○移動中も市からの情報を常に収集しましょう。防災行政無線や広報車などでも情報は提供されています。
-5h	避難判断水位到達 洪水予報(はん濫警戒情報)発表 ○避難勧告又は避難指示(緊急)を命令	○川の水位をインターネットで確認 ○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで避難勧告、避難指示(緊急)を受信 ○市内の指定避難所への避難を判断	○避難が完了しても、情報は収集するようにしましょう。
-3h	はん濫危険水位到達 洪水予報(はん濫危険情報)発表 緊急速報メール(河川氾濫のおそれがある情報)	○川の水位をインターネットで確認 ○市内の高台への避難を完了 ○市内の指定避難所への避難を完了 ○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで緊急速報メールを受信 ○自宅内の浸水が想定されない場所で身の安全を確保	○必要なものを確認しましょう。また、避難に戻って作成したマイ・タイムラインを確認しましょう。
0h	氾濫が発生 洪水予報(はん濫発生情報) 緊急速報メール(氾濫が発生した情報)	○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで緊急速報メールを受信	

雨風が強くなる前に行うべき事項を早急におこなう時期

水位等の状況把握による避難に関する時間に応じて避難行動を開始する時期

身の安全を確保するべき時期

※天気予報確認

避難場所の選択変更を考えた
※声かけで連絡(自治会)

お重宝
※指定避難所を「高台所」より「近所」に変更し、準備・確認
※持出品の用意

○家へ避難開始

○家へ避難完了

	行政情報	住民等(例)	作成のポイント
3日前	<p>行政情報 (黒:気象・水害情報 青:下館河川事務所 緑:常総市)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○台風予報 ○台風に関する新情報、茨城県気象情報(随時) 	<ul style="list-style-type: none"> ○テレビの天気予報を注意 ○家族全員の今後の予定を確認 ○マイ・タイムラインを確認 ○防災グッズの準備(不足があれば買い出しへ) ○1週間分の薬を病院に受け取りに行く ○家の周りに風で飛ばされないようなものはなにか確認 	<ul style="list-style-type: none"> 運出する予定がある場合は、今後の気象情報に注意しましょう。場合によっては、予定のキャンセルも視野にいれて行動しましょう。 事前に準備しておきましょう。
2日前	<ul style="list-style-type: none"> ◇大雨注意報・洪水注意報 ○台風に関する今後の見通し 	<ul style="list-style-type: none"> ○テレビ、インターネット、携帯メール等で雨や川の様子に注意 ○家族全員の今後の予定を再確認 ○携帯電話の充電 	<ul style="list-style-type: none"> 風ではとれそうな植木鉢、自転車、農機具の片づけ、ビニールハウスの前後などはすべておきましょう。
1日前	<ul style="list-style-type: none"> ◇大雨警報・洪水警報 上流域(日光等)での大雨特別警報 	<ul style="list-style-type: none"> ○ハザードマップで避難場所、避難手段を確認 ○隣町の親戚の家に家族みんなで避難することを電話 ○携帯電話の充電 ○川の水位をインターネットで確認 ○通行止め情報がなく、インターネットで確認 ○隣町への避難の開始を判断 	<ul style="list-style-type: none"> 移動中に情報を収集できるように、携帯電話等の充電をしておきましょう。 避難を開始する前に、交通情報や渋滞情報、地域の浸水情報などを収集しましょう。 避難する場所が遠い場合は、早めに避難行動を開始することも考えましょう。
半日前	<ul style="list-style-type: none"> 水防団待機水位到達 はん濫注意水位到達 洪水予報(はん濫注意情報)発表 ○空室業者施設に洪水予報(はん濫注意情報)を伝達 ○避難所の開設 ○避難準備・高齢者等避難開始を発令 ◇大雨特別警報(緊急通報メール) ◇暴風警報 	<ul style="list-style-type: none"> ○携帯メール等で避難準備・高齢者等避難開始の受信 ○移動に時間のかかる人は、市内の指定避難所への避難の開始を判断 ○隣町への避難完了 ○市内の高台への避難の開始を判断 	<ul style="list-style-type: none"> 移動中に情報収集できるように、携帯電話等の充電をしておきましょう。 移動中もこれらの情報を常に収集しましょう。防災行政無線や広報車などでも情報は提供されています。
-5h	<ul style="list-style-type: none"> 避難判断水位到達 洪水予報(はん濫警戒情報)発表 ○避難勧告又は避難指示(緊急)を発令 	<ul style="list-style-type: none"> ○川の水位をインターネットで確認 ○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで避難勧告、避難指示(緊急)を受信 ○市内の指定避難所への避難を判断 	<ul style="list-style-type: none"> 避難が完了しても、情報は収集するようにしましょう。
-3h	<ul style="list-style-type: none"> はん濫危険水位到達 洪水予報(はん濫発生情報)発表 緊急通報メール(河川氾濫のおそれがある情報) 	<ul style="list-style-type: none"> ○川の水位をインターネットで確認 ○市内の高台への避難を完了 ○市内の指定避難所への避難を完了 ○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで緊急通報メールを受信 ○自宅内の浸水が想定されない場所で身の安全を確保 	<ul style="list-style-type: none"> 必要なものを確認しましょう。また、最初に戻って作成したマイ・タイムラインを確認しましょう。
0h	<ul style="list-style-type: none"> 氾濫が発生 洪水予報(はん濫発生情報) 緊急通報メール(氾濫が発生した情報) 	<ul style="list-style-type: none"> ○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで緊急通報メールを受信 	

両風が吹くようになる前に行うべき事項をすべておさめ

水位等の状況を活用して避難行動を開始する時期

身の安全を確保すべき時期

・台風の情報が出たテレビの天気予報などに注意する。(栃木県、茨城県特に)
 ・マイ・タイムラインをリビングの目につくところに置く
 ・常用薬がどこにあるか確認

・家族が避難の可能性のあることを話題に出し、意欲が持てる

・各機関の雨・川・台風の情報が携帯で確実に受け取れているかの確認
 ・雨量情報等の災害の大きさを予想し(1+対策)
 ・家族の(全員の)予定の確認
 (避難する候補地を口頭で伝えること)

・1Fの家財を2Fに移す(重要な物の確認)
 ・自家用車の移動

・携帯電話の充電
 ・その他の持ち物の準備
 ・親戚の家へ受け入れ可能なかの確認・予定
 (不可の場合は他の候補地へ) ←判断
 ・別荘の祖父母、叔父に避難場所の候補場所を伝える

・優先順の低い物を手早く片づける

・1Fの家財を2Fへ、持ち物の確認
 ・予備の確認

・道路の状況を確認する

つくば市(親戚の家)へ避難開始
 (手荷物の確認)

つくば市(親戚の家)へ避難完了

(小学校へ避難開始)

(小学校へ避難完了)

	行政情報 (黒: 気象・水象情報 青: 下総河川事 務所 緑: 常総市)	住民等(例)	作業者のポイント
3日前	○台風予報 ○台風に関する栃木県、茨城県気象情報(随時)	○テレビの天気予報を注意 ○家族全員の今後の予定を確認 ○マイ・タイムラインを確認 ○防災グッズの準備(不足があれば買い出しへ) ○1週間分の薬を病院に受け取りに行く	○外出をする予定がある場合は、今後の気象情報に注意しましょう。場合によっては、予定のキャンセルも視野にいれて行動しましょう。 ○事前に準備しておきましょう。
2日前	○大雨注意報・洪水注意報 ○台風に関する今後の見通し	○家の周りに風で飛ばされないようなものはないか確認 ○テレビ、インターネット、携帯メール等で雨や川の様子に注意 ○家族全員の今後の予定を再確認	○高で飛ばされそうな植木鉢、自転車、農機具の片づけ、ビニールハウスの点検などは早めておきましょう。
1日前	○大雨警報・洪水警報 上流域(日光等)での大雨特別警報	○携帯電話の充電	
半日前	水防団待機水位到達 はん濫注意水位到達 洪水予報(はん濫注意情報)発表 要支援者施設に洪水予報(はん濫注意情報)を伝達 避難所の開設 避難準備情報を発令 大雨特別警報(緊急速報メール) 暴風警報	○ハザードマップで避難場所、避難手段を確認 ○隣町の親戚の家に家族みんなで避難することを電話 ○携帯電話の充電 ○川の水位をインターネットで確認 ○通行止め情報がないかインターネットで確認 ○隣町への避難の開始を判断 ○携帯メール等で避難準備情報の受信 ○移動に時間のかかる人は、市内の指定避難所への避難の開始を判断 ○隣町への避難完了 ○市内の高台への避難の開始を判断	○移動中に情報を収集できるように、携帯電話等の充電をしておきましょう。 ○避難を開始する前に、交通情報や渋滞情報、地域の浸水情報などを収集しましょう。 ○避難する場所が遠い場合は、早めに避難行動を開始することも考えましょう。 ○移動中も市からの情報を常に収集しましょう。防災行政無線や広報車などでも情報は提供されています。
-5h	避難判断水位到達 洪水予報(はん濫警戒情報)発表 避難勧告又は避難指示を発令	○川の水位をインターネットで確認 ○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで避難勧告、避難指示を受信 ○市内の指定避難所への避難を判断	○避難が完了しても、情報は収集するようにしましょう。
-3h	はん濫危険水位到達 洪水予報(はん濫危険情報)発表 緊急速報メール(河川氾濫のおそれがある情報)	○川の水位をインターネットで確認 ○市内の高台への避難を完了 ○市内の指定避難所への避難を完了 ○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで緊急速報メールを受信 ○自宅内の浸水が想定されない場所で身の安全を確保	○必要なものを確認しましょう。また、最初に戻って作成したマイ・タイムラインを確認しましょう。
0h	氾濫が発生 洪水予報(はん濫発生情報) 緊急速報メール(氾濫が発生した情報)	○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで緊急速報メールを受信	

両風が強くなる間に行うべき準備をすませておく時期
 水位等の状況を確認し、避難に要する時間に応じて避難行動を開始する時期
 身の安全を確保すべき最末期

天気予報
車の給油、充電

NHKのニュース

絶対的物と
しなからず。
防災無線の音に
反応して避難
して
必ずしも
必ずしも
必ずしも

	行政情報 (黒: 気象・水害情報 青: 下館河川事務所 黄: 常総市)	住民等(例)	作成のポイント
3日前	<ul style="list-style-type: none"> ○台風予報 ○台風に関する栃木県、茨城県気象情報(随時) 	<ul style="list-style-type: none"> ○テレビの天気予報を注意 ○家族全員の今後の予定を確認 ○マイ・タイムラインを確認 ○防災グッズの準備(不足があれば買い出しへ) ○1週間分の薬を病院に受け取りに行く ○家の周りに風で飛ばされないようなものはないか確認 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 遇出をする予定がある場合は、今後の気象情報に注意しましょう。都合によっては、予定のキャンセルも視野にいれて行動しましょう。 ○ 事前に準備しておきましょう。
2日前	<ul style="list-style-type: none"> ○大雨注意報・洪水注意報 ○台風に関する今後の見通し 	<ul style="list-style-type: none"> ○テレビ、インターネット、携帯メール等で雨や川の様子に注意 ○家族全員の今後の予定を再確認 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 風で飛ばされそうな植木鉢、自転車、農機具の片づけ、ビニールハウスの点検などは早めておきましょう。
1日前	<ul style="list-style-type: none"> ○大雨警報・洪水警報 上流域(日光等)での大雨特別警報 	<ul style="list-style-type: none"> ○携帯電話の充電 	
半日前	<ul style="list-style-type: none"> 水防団特機水位到達 はん濫注意水位到達 洪水予報(はん濫注意情報)発表 緊要速報(緊急)を伝達 ○緊要速報(緊急)に洪水予報(はん濫注意情報)を伝達 ○避難所の開設 ○避難準備・高齢者等避難開始を発令 ○大雨特別警報(緊急速報メール) ○暴風警報 	<ul style="list-style-type: none"> ○ハザードマップで避難場所、避難手段を確認 ○隣町の親戚の家に家族みんなで避難することを電話 ○携帯電話の充電 ○川の水位をインターネットで確認 ○通行止め情報がないかインターネットで確認 ○隣町への避難の開始を判断 ○携帯メール等で避難準備・高齢者等避難開始の受信 ○移動に時間がかかる人は、市内の指定避難所への避難の開始を判断 ○隣町への避難完了 ○市内の高台への避難の開始を判断 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 移動中に情報を収集できるように、携帯電話等の充電をしておきましょう。 ○ 避難を開始する前に、交通情報や渋滞情報、地域の浸水情報などを収集しましょう。 ○ 避難する場所が遠い場合は、早めに避難行動を開始することも考えましょう。 ○ 移動中も市からの情報を常に収集しましょう。防災行政無線や広報車などでも情報は提供されています。
-5h	<ul style="list-style-type: none"> 避難判断水位到達 洪水予報(はん濫警報)発表 ○避難勧告又は避難指示(緊急)を発令 	<ul style="list-style-type: none"> ○川の水位をインターネットで確認 ○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで避難勧告、避難指示(緊急)を受信 ○市内の指定避難所への避難を判断 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 避難が完了しても、情報は収集するようにしましょう。
-3h	<ul style="list-style-type: none"> はん濫危険水位到達 洪水予報(はん濫危険情報)発表 緊急速報メール(河川氾濫のおそれがある情報) 	<ul style="list-style-type: none"> ○川の水位をインターネットで確認 ○市内の高台への避難を完了 ○市内の指定避難所への避難を完了 ○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで緊急速報メールを受信 ○自宅内の浸水が想定されない場所で身の安全を確保 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 必要なを確認しましょう。また、最初に戻って作成したマイ・タイムラインを確認しましょう。
0h	<ul style="list-style-type: none"> 氾濫が発生 洪水予報(はん濫発生情報) 緊急速報メール(氾濫が発生した情報) 	<ul style="list-style-type: none"> ○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで緊急速報メールを受信 	

雨風が強くなる前に行うべき事項を早めておく時期

水位等の状況を把握し、避難を要する時間に応じて避難行動を開始する時期

身の安全を確保すべき時期

テレビ・ラジオの天気予報を注意

家族全員の今後の予定を確認

マイタイムラインの確認

米の入っている袋を高い所に物にあく

必需品の用意 石屋 認

サイフ、メガネ、ケータイ、充電器

常用薬の用意 石屋 認

知人宅への避難先をあらかじめ確認

家財道具等 高い所へ移動出来る物は動かしておく

車の中に必需品を入れる

戸締りの確認(フレカお母)

知人宅への避難開始

知人宅への避難完了

戸締りの確認(フレカお母)

下妻市・代川体育館の避難開始

下妻市・代川体育館の避難完了

常総市 若宮戸 地区 家 鬼怒川マイ・タイムライン

作成年月日 H29年 2月 9日

行政情報	住民等(例)	作成のポイント
行政情報 (県:気象・水害情報 青:下館河川事務所 緑:常総市) 3日前 ○台風予報 ○台風に関する栃木県、茨城県気象情報(随時)	○テレビの天気予報を注意 ○家族全員の今後の予定を確認 ○マイ・タイムラインを確認 ○防災グッズの準備(不足があれば買い出しへ) ○1週間分の薬を病院に受け取りに行く ○家の周りに風で飛ばされないようなものはないか確認	作成のポイント 運出する予定がある場合は、今後の気象情報に注意しましょう。緊急によっては、予定のキャンセルも視野に行動しましょう。 事前に準備しておきましょう。
2日前 ◇大雨注意報・洪水注意報 ○台風に関する今後の見通し	○テレビ、インターネット、携帯メール等で雨や川の様子に注意 ○家族全員の今後の予定を再確認	風ではとられそうな植木鉢、自転車、農機具の片づけ、ビニールハウスの点検などは早めておきましょう。
1日前 ◇大雨警報・洪水警報	○携帯電話の充電	
半日前 上流域(日光等)での大雨特別警報 水防団砂機水位到達 はん蓋注意水位到達 洪水予報(はん蓋注意情報)発表	○ハザードマップで避難場所、避難手段を確認 ○隣町の親戚の家に家族みんなで避難することを電話 ○携帯電話の充電 ○川の水位をインターネットで確認 ○通行止め情報がないかインターネットで確認	移動中に情報を収集できるように、携帯電話等の充電をしておきましょう。 避難を開始する前に、交通情報や渋滞情報、地域の浸水情報などを収集しましょう。
○要支援者施設に洪水予報(はん蓋注意情報)を伝達 避難準備(避難指示)の開始 ○避難所の開設	○携帯メール等で避難準備・高齢者等避難開始の受信 ○移動に時間がかかる人は、市内の指定避難所への避難の開始を判断 ○隣町への避難の開始を判断	避難する場所が遠い場合は、早めに避難行動を開始することも考えましょう。 移動中も市からの情報を常に収集しましょう。防災行政無線や広報車などでも情報は提供されています。
6h ◇大雨特別警報(緊急速報メール) ◇暴風警報	○市内の高台への避難の開始を判断	
5h 避難判断水位到達 洪水予報(はん蓋警戒情報)発表	○川の水位をインターネットで確認 ○テレビで洪水予報の確認	
4h 避難勧告又は避難指示(緊急)を発令	○携帯メールで避難勧告、避難指示(緊急)を受信 ○市内の指定避難所への避難を判断	避難が完了しても、情報は収集するようにしましょう。
3h はん蓋危険水位到達 洪水予報(はん蓋危険情報)発表 緊急速報メール(周川氾濫のおそれがある情報)	○川の水位をインターネットで確認 ○市内の高台への避難を完了 ○市内の指定避難所への避難を完了 ○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで緊急速報メールを受信	必要なものを確認しましょう。また、最初に作成したマイ・タイムラインを確認しましょう。
0h 氾濫が発生 洪水予報(はん蓋発生情報) 緊急速報メール(氾濫が発生した情報)	○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで緊急速報メールを受信	

至小學校・石下総合体育館

・身が重い時は、早めの避難を
要請して、クルマ(数)を
おいておく

・自転車・40ある物も風で
飛ばされたいおくれがある

・車のガリリンを入れる
・車は土砂で動かさず、
避難する時に1台ずつ集めて行く

家族の手配確認
家族へ連絡、学校からの連絡も
身の回り品の準備
靴下、居間準備
準備確認、家電製品の高い所に
(カメラ)

至小學校・石下総合体育館 避難準備
開始

至小學校・石下総合体育館 避難完了

常総市 若宮中郷 地区 家 鬼怒川マイ・タイムライン

作成年月日 2017年12月05日

時間	行政情報	住民等(朝)	作成のポイント
3日前	(黒:気象・水害情報 青:下館河川事務所 緑:常総市) ○台風予報 ○台風に関する栃木県、茨城県気象情報(随時)	○テレビの天気予報を注意 ○家族全員の今後の予定を確認 ○マイ・タイムラインを確認 ○防災グッズの準備(不足があれば買い出しへ) ○1週間分の薬を病院に受け取りに行く ○家の周りに風で飛ばされないようなものはないか確認	遠出をする予定がある場合は、今後の気象情報に注意しましょう。都合によっては、予定のキャンセルも視野にいれて行動しましょう。 事前に準備しておきましょう。
2日前	◇大雨注意報・洪水注意報 ○台風に関する今後の見通し	○テレビ、インターネット、携帯メール等で雨や川の様子に注意 ○家族全員の今後の予定を再確認	風でとばされそうな植木鉢、自転車、農機具の戸づけ、ビニールハウスの支柱などははずしておきましょう。
1日前	◇大雨警報・洪水警報 上流域(日光等)での大雨特別警報	○携帯電話の充電	
半日前	水防団待機水位到達 はん蓋注意水位到達 洪水予報(はん蓋注意情報)発表	○ハザードマップで避難場所、避難手段を確認 ○隣町の親戚の家に家族みんなで避難することを電話 ○携帯電話の充電 ○川の水位をインターネットで確認 ○通行止め情報がないかインターネットで確認	移動中に情報を収集できるように、携帯電話等の充電をしておきましょう。 避難を開始する前に、交通情報や渋滞情報、地域の浸水情報などを収集しましょう。 避難する場所が近い場合は、早めに避難行動を開始することも考えましょう。
	○緊急速報施設に洪水予報(はん蓋注意情報)を伝達 ○避難所の開設 ○避難準備・高齢者等避難開始を発令	○隣町への避難の開始を判断 ○携帯メール等で避難準備・高齢者等避難開始の受信 ○移動に時間のかかる人は、市内の指定避難所への避難の開始を判断 ○隣町への避難完了 ○市内の高台への避難の開始を判断	移動中も市からの情報を常に収集しましょう。防災行政無線や伝言車などで情報も提供されています。 避難が完了しても、情報は収集するようにしましょう。
	◇大雨特別警報(緊急速報メール) ◇暴風警報 (河川水位)		
-5h	避難判断水位到達 洪水予報(はん蓋危険情報)発表 ○避難勧告又は避難指示(緊急)を発令	○川の水位をインターネットで確認 ○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで避難勧告、避難指示(緊急)を受信 ○市内の指定避難所への避難を判断	避難が完了しても、情報は収集するようにしましょう。
-3h	はん蓋危険水位到達 洪水予報(はん蓋危険情報)発表 緊急速報メール(河川氾濫のおそれがある情報)	○川の水位をインターネットで確認 ○市内の高台への避難を完了 ○市内の指定避難所への避難を完了 ○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで緊急速報メールを受信	必要なものを確認し直しましょう。また、最初につくったマイ・タイムラインを確認しましょう。
0h	氾濫が発生 洪水予報(はん蓋発生情報) 緊急速報メール(氾濫が発生した情報)	○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで緊急速報メールを受信	

雨風が強くなる前に行うべき事項をすませておく時期

水位等の状況を確認し、避難を開始する時間に応じて避難行動を開始する時期

身の安全を確保すべき時期

Web上(息怒り、小具り)の水氾情報確認

車ハザード送信

水氾情報に応じて家族へ連絡し情報共有。(Line family)

避難場所探し不能
→家族への情報共有

家電・お皿、食器・お風呂敷
薬・避難用用品、cell phone、充電器
財布現金の準備

*全の車は避難(車庫前・高台へ移動)
石段台体育館へ避難開始
*避難勧告に素直に判断
*常総へ避難場所変更

石段台体育館へ避難完了

避難判断水位到達 ⇒ 避難勧告
水氾危険情報 ⇒ 避難指示
はん

常総市 常総地区 家 鬼怒川マイ・タイムライン

作成年月日 2019年 7月 5日

時間	行政情報	住民等(例)	作成のポイント
3日前	○台風予報 ○台風に関する栃木県、茨城県気象情報(随時)	○テレビの天気予報を注意 ○家族全員の今後の予定を確認 ○マイ・タイムラインを確認 ○防災グッズの準備(不足があれば買い出しへ) ○1週間分の薬を病院に受け取りに行く ○家の周りに風で飛ばされやすいものはないか確認	運出を予定がある場合は、今後の気象情報に注意しましょう。場合によっては、予定のキャンセルも視野に行動しましょう。 事前に準備しておきましょう。
2日前	◇大雨注意報・洪水注意報 ○台風に関する今後の見通し	○テレビ、インターネット、携帯メール等で雨や川のの様子に注意 ○家族全員の今後の予定を再確認 ○携帯電話の充電	風ではぶかれそうな植木鉢、自転車、農機具の片づき、ビニールハウスの高接などはずまっておきましょう。
1日前	◇大雨警報・洪水警報 上流域(日光等)での大雨特別警報		
半日前	水防団待機水位到達 はん濫注意水位到達 洪水予報(はん濫注意情報)発表	○ハザードマップで避難場所、避難手段を確認 ○隣町の親戚の家に家族みんなで避難することを電話 ○携帯電話の充電 ○川の水位をインターネットで確認 ○通行止め情報がないかインターネットで確認	移動中に情報を収集できるように、携帯電話等の充電をしておきましょう。 避難を開始する前に、交通情報や渋滞情報、地域の浸水情報などを収集しましょう。
	○避難所の開設 ○避難準備・高齢者等避難開始を発令 ◇大雨特別警報(緊急速報メール) ◇暴風警報	○隣町への避難の開始を判断 ○携帯メール等で避難準備・高齢者等避難開始の受信 ○移動に時間のかかる人は、市内の指定避難所への避難の開始を判断 ○隣町への避難完了 ○市内の高台への避難の開始を判断	避難する場所が遠い場合は、早めに避難行動を開始することも考えましょう。 移動中も市からの情報を常に収集しましょう。防災行政無線や広報車などでも情報は提供されています。
-5h	避難半断水水位到達 洪水予報(はん濫注意情報)発表 ○避難勧告又は避難指示(緊急)を発令	○川の水位をインターネットで確認 ○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで避難勧告、避難指示(緊急)を受信 ○市内の指定避難所への避難を判断	避難が完了したら、情報は収集するようにしましょう。
-3h	はん濫危険水位到達 洪水予報(はん濫危険情報)発表 緊急速報メール(河川氾濫のおそれがある情報)	○川の水位をインターネットで確認 ○市内の高台への避難を完了 ○市内の指定避難所への避難を完了 ○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで緊急速報メールを受信 ○自宅内の浸水が想定されない場所で身の安全を確保	必要なものを確認し、ましよう。また、原則に因って作成したマイ・タイムラインを確認しましょう。
0h	氾濫が発生 洪水予報(はん濫発生情報) 緊急速報メール(氾濫が発生した情報)	○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで緊急速報メールを受信	

雨風が強くなる前に行動に移す準備をすまておく時期

水位等の状況を確認して避難場所へ避難行動を開始する時期

身の安全を確保すべき時期

避難するための準備(持ち出し品)

家電は高台へ移動(汗拭き巾着)

如地は多量に高台へ移動

避難開始

止 30分(早)

石手総合体育館

	行政情報	住民等(例)	作業のポイント
3日前	(黒) 気象・水害情報(青) 下館河川事務所 録:常総市 ○台風予報 ○台風に関する栃木県、茨城県気象情報(随時)	○テレビの天気予報を注意 ○家族全員の今後の予定を確認 ○マイ・タイムラインを確認 ○防災グッズの準備(不足があれば買い出しへ) ○1週間分の薬を病院に受け取りに行く ○家の周りに風で飛ばされないようなものはないか確認	① 進出する予定がある場合は、今後の気象情報に注意しましょう。場合によっては、予定のキャンセルも視野にいれて行動しましょう。 ② 事前に準備しておきましょう。
2日前	◇大雨注意報・洪水注意報 ○台風に関する今後の見通し	○テレビ、インターネット、携帯メール等で雨や川の様子に注意 ○家族全員の今後の予定を再確認 ○携帯電話の充電	③ 風で飛ばされそうな植木鉢、自転車、農機具の片づつ、ビニールハウスの点検などはすませておきましょう。
1日前	◇大雨警報・洪水警報 上流域(日光等)での大雨特別警報		
半日前	水防団待機水位到達 はん蓋注意水位到達 洪水予報(はん蓋注意情報)発表 ○要支援者施設に洪水予報(はん蓋注意情報)を伝達 ○避難所の開設 ○避難準備・高齢者等避難開始を発令 ◇大雨特別警報(緊急速報メール) ◇暴風警報	○ハザードマップで避難場所、避難手段を確認 ○隣町の親戚の家に家族みんなで避難することを電話 ○携帯電話の充電 ○川の水位をインターネットで確認 ○通行止め情報がないかインターネットで確認 ○隣町への避難の開始を判断 ○携帯メール等で避難準備・高齢者等避難開始の受信 ○移動に時間のかかる人は、市内の指定避難所への避難の開始を判断 ○隣町への避難完了 ○市内の高台への避難の開始を判断	④ 移動中に情報を収集できるように、携帯電話等の充電しておきましょう。 ⑤ 避難を開始する前に、交通情報や被害情報、地域の浸水情報などを収集しましょう。 ⑥ 避難する場所が遠い場合は、早めに避難行動を開始することも考えましょう。 ⑦ 移動中も市からの情報を常に収集しましょう。防災行政無線や広報車などでも情報は提供されています。
-5h	避難判断水位到達 洪水予報(はん蓋警戒情報)発表 ○避難勧告又は避難指示(緊急)を発令	○川の水位をインターネットで確認 ○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで避難勧告、避難指示(緊急)を受信 ○市内の指定避難所への避難を判断	⑧ 避難が完了しても、情報は収集するようにしましょう。
-3h	はん蓋危険水位到達 洪水予報(はん蓋発生情報)発表 緊急速報メール(河川氾濫のおそれがある情報)	○川の水位をインターネットで確認 ○市内の高台への避難を完了 ○市内の指定避難所への避難を完了 ○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで緊急速報メールを受信 ○自宅内の浸水が想定されない場所で身の安全を確保	⑨ 必要なものを確認しましょう。また、最初に民で作成したマイ・タイムラインを確認しましょう。
0h	氾濫が発生 洪水予報(はん蓋発生情報) 緊急速報メール(氾濫が発生した情報)	○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで緊急速報メールを受信	

台風が遠くなる前に行うべき事項をすませておく時期

水位等の状況を確認しつつ避難に要する時間に応じて避難行動を開始する時期

身の安全を確保すべき時期

要介護の高齢者の避難準備

持ち出し品の準備
戸締りの開始

石下総合体育館へ避難開始

石下総合体育館避難完了

	行政情報	住民等(例)	作成のポイント
3日前	○台風予報 ○台風に関する湧水観、茨城県気象情報(随時)	○テレビの天気予報を注意 ○家族全員の今後の予定を確認 ○マイ・タイムラインを確認 ○防災グッズの準備(不足があれば買い出しへ) ○1週間分の薬を病院に受け取りに行く ○家の周りに風で飛ばされないようなものはないか確認	逃出する予定がある場合は、今後の気象情報に注意しましょう。場合によっては、予定のキャンセルも視野にいれて行動しましょう。 事前に準備しておきましょう。
2日前	○大雨注意報・洪水注意報 ○台風に関する今後の見通し	○テレビ、インターネット、携帯電話等で雨や川の様子に注意 ○家族全員の今後の予定を再確認 ○携帯電話の充電	風で飛ばされそうな植木鉢、自転車、農機具の片づけ、ビニールハウスの点検などはすべておきましょう。
1日前	○大雨警報・洪水警報 上流堤(日光等)での大雨特別警報	○ハイードマップで避難場所、避難手段を確認 ○隣町の親戚の家に家族みんなで避難することを電話 ○携帯電話の充電 ○川の水位をインターネットで確認 ○通行止め情報がないかインターネットで確認	移動中に情報を収集できるように、携帯電話等の充電をしておきましょう。 避難を開始する前に、交通情報や渋滞情報、地域の浸水情報などを収集しましょう。 避難する場所が近い場合は、早めに避難行動を開始することも考えましょう。
半日前	水防士待機水位到達 はん濫注意水位到達 洪水予報(はん濫注意情報)発表 ○茨城県市町村ごとの洪水予報(はん濫注意情報)を伝達 C避難所の開設 C避難準備・高齢者等避難開始を発令 ◇大雨特別警報(緊急速報メール) ◇暴風警報	○隣町への避難の開始を判断 ○携帯メール等で避難準備・高齢者等避難開始の受信 ○移動に時間のかかる人は、市内の指定避難所への避難の開始を判断 ○隣町への避難完了 ○市内の高台への避難の開始を判断	避難所の中も市からの情報次第に収集しましょう。防災行政無線や広報車などでも情報は提供されています。 避難が完了しても、情報は収集するようにしましょう。
-5h	避難判断水位到達 洪水予報(はん濫警報)発表 ○避難勧告又は避難指示(緊急)発令	○川の水位をインターネットで確認 ○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで避難勧告、避難指示(緊急)を受信 ○市内の指定避難所への避難を判断	必要なものを確認しましょう。また、随時につくられたマイ・タイムラインを確認しましょう。
-3h	はん濫危険水位到達 洪水予報(はん濫危険情報)発表 緊急速報メール(河川氾濫のおそれがある情報)	○川の水位をインターネットで確認 ○市内の高台への避難を完了 ○市内の指定避難所への避難を完了 ○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで緊急速報メールを受信 ○自宅内の浸水が想定されない場所で身の安全を確保	必要なものを確認しましょう。また、随時につくられたマイ・タイムラインを確認しましょう。
0h	氾濫が発生 洪水予報(はん濫発生情報) 緊急速報メール(氾濫が発生した情報)	○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで緊急速報メールを受信	

両風が強くなる前に行うべき事項をすべておく時期

水位等の状況を手探しの避難行動を判断する時期

身の安全を確保すべき時期

持て出しの準備(傘など)
 大雨、枕を引出しを置いておく
 ラジオ、高圧鍋鍋を高所に移動

避難開始、予定あり
 ↓30分
 避難完了
 石下総合体育館

	行政情報	住民等(例)	作風のポイント
3日前	<p>行政情報 (県・気象・水気情報 育:下館河川事務所 報:常総市)</p> <p>○台風予報</p> <p>○台風に関する洪水県、茨城県気象情報(随時)</p>	<p>○テレビの天気予報を注意</p> <p>○家族全員の今後の予定を確認</p> <p>○マイ・タイムラインを確認</p> <p>○防災グッズの準備(不足があれば買い出しへ)</p> <p>○1週間分の薬を病院に受け取りに行く</p> <p>○家の周りに風で飛ばされないようなものはないか確認</p>	<p>運出する予定がある場合は、今後の気象情報に注意しましょう。運出によっては、予定のキャンセルも視野にいれて行動しましょう。</p> <p>事前に準備しておきましょう。</p>
2日前	<p>◇大雨注意報・洪水注意報</p> <p>○台風に関する今後の見通し</p>	<p>○テレビ、インターネット、携帯メール等で雨や川の様子に注意</p> <p>○家族全員の今後の予定を再確認</p> <p>○携帯電話の充電</p>	<p>風で飛ばされそうな睡木鉢、自転車、農機具の片づけ、ビニールハウスの点検などはすませておきましょう。</p>
1日前	<p>◇大雨警報・洪水警報</p> <p>上流域(日光等)での大雨特別警報</p>	<p>○ハザードマップで避難場所、避難手段を確認</p> <p>○隣の親戚の家に家族みんなで避難することを電話</p> <p>○携帯電話の充電</p> <p>○川の水位をインターネットで確認</p> <p>○通行止め情報がないかインターネットで確認</p> <p>○隣町への避難の開始を判断</p> <p>○携帯メール等で避難準備・高齢者等避難開始の受信</p> <p>○移動に時間のかかる人は、市内の指定避難所への避難の開始を判断</p> <p>○隣町への避難完了</p> <p>○市内の高台への避難の開始を判断</p>	<p>移動中に情報を収集できるように、携帯電話等の充電をしておきましょう。</p> <p>避難を開始する前に、交通情報や渋滞情報、地域の浸水情報などを収集しましょう。</p> <p>避難する場所が違い場合は、早めに避難行動を開始することも考えましょう。</p> <p>移動中も市からの情報を常に収集しましょう。防災行政無線や広報車などでも情報は提供されています。</p>
半日前	<p>水防団待機水位到達</p> <p>はん蓋注意水位到達</p> <p>洪水予報(はん蓋注意情報)発表</p> <p>○専任業者施設に洪水予報(はん蓋注意情報)を伝達</p> <p>○避難所の開設</p> <p>○避難準備・高齢者等避難開始を命令</p> <p>◇大雨特別警報(緊急速報メール)</p> <p>◇暴風警報</p>	<p>○川の水位をインターネットで確認</p> <p>○テレビで洪水予報の確認</p> <p>○携帯メールで避難勧告、避難指示(緊急)を受信</p> <p>○市内の指定避難所への避難を判断</p>	<p>避難が完了しても、情報は収集するようにしましょう。</p>
-5h	<p>避難判断水位到達</p> <p>洪水予報(はん蓋警戒情報)発表</p> <p>○避難勧告又は避難指示(緊急)を命令</p>	<p>○川の水位をインターネットで確認</p> <p>○市内の高台への避難を完了</p> <p>○市内の指定避難所への避難を完了</p> <p>○テレビで洪水予報の確認</p> <p>○携帯メールで緊急速報メールを受信</p> <p>○自宅内の浸水が想定されない場所で身の安全を確保</p>	<p>必要なものを確認しましょう。また、最初に戻って作成したマイ・タイムラインを確認しましょう。</p>
-3h	<p>はん蓋危険水位到達</p> <p>洪水予報(はん蓋危険情報)発表</p> <p>緊急速報メール(河川氾濫のおそれがある情報)</p>	<p>○テレビで洪水予報の確認</p> <p>○携帯メールで緊急速報メールを受信</p>	
0h	<p>氾濫が発生</p> <p>洪水予報(はん蓋発生情報)</p> <p>緊急速報メール(氾濫が発生した情報)</p>	<p>○テレビで洪水予報の確認</p> <p>○携帯メールで緊急速報メールを受信</p>	

雨風が強くなる動向に行動する準備をすすめておく時期

水位等の状況を把握しつつ避難に要する時間に応じて避難行動を開始する時期

身の安全を確保する時期

- 3時間前**
食料、衣服、貴重品等をキャンピングトレーラーに積み込む。
 - 2時間前**
2階に移動できるものを移動する。自家用車にキャンピングトレーラーを連結する。
 - 1時間前**
各自自家用車を運転して避難する。(つくば市内の大型駐車場がある公共施設がコンビニへ。)
- 深夜の場合は、キャンピングトレーラー連結後、速やかに各自で避難する。

	行政情報 (黒:気象・水害情報発着:下総河川事 務所 緑:常総市)	住民等(例)	作成のポイント	
3日前	○台風予報 ○台風に関する栃木県、茨城県気象情報随時	○テレビの天気予報を注意 ○家族全員の今後の予定を確認 ○マイ・タイムラインを確認 ○防災グッズの準備(不足があれば買い出しへ) ○1週間分の薬を病院に受け取りに行く ○家の周りに風で飛ばされないようなものはないか確認	○通出を予定している場合は、今後の気象情報に注意しましょう。場合によっては、予定のキャンセルも視野に入れて行動しましょう。 ○事前に準備しておきましょう。	3日前 ○天気予報とチェック
2日前	◇大雨注意報・洪水注意報 ○台風に関する今後の見通し	○テレビ、インターネット、携帯メール等で雨や川の様子に注意 ○家族全員の今後の予定を再確認	○雨でとばされそうな植木鉢、自転車、農機具の片づけ、ビニールハウスの点検などはすべてしておきましょう。	2日前 ○家の周辺や庭木、自転車、バイク(カボチ)をチェック ○インターネットで携帯電話と雨量のチェック
1日前	◇大雨警報・洪水警報 上流域(日光等)での大雨特別警報	○携帯電話の充電		1日前 ○インターネットで雨量、川の増水をチェック ○ハザードマップ等で避難先や避難経路を確認する ○家族等と次の段階の行動出来る相やタイムラインの上で決める移動手段を内訳する ○避難の際の持ち物(手帳、保険証等)を準備する ○スマホの充電を1万の避難まで確保する
半日前	水防団待機水位到達 はん蓋注意水位到達 洪水予報(はん蓋注意情報)発表 ○要支援者施設に洪水予報(はん蓋注意情報)を伝達 ○避難所の開設 ○避難準備情報を発令 ○大雨特別警報(緊急速報メール) ○暴風警報	○ハザードマップで避難場所、避難手段を確認 ○隣町の親戚の家に家族みんなで避難することを電話 ○携帯電話の充電 ○川の水位をインターネットで確認 ○通行止め情報がないかインターネットで確認 ○隣町への避難の開始を判断 ○携帯メール等で避難準備情報の受信 ○移動に時間のかかる人は、市内の指定避難所への避難の開始を判断 ○隣町への避難完了 ○市内の高台への避難の開始を判断	○移動中に情報を収集できるように、携帯電話等の充電をしておきましょう。 ○避難を開始する前に、交通情報や渋滞情報、地質の浸水情報などを収集しましょう。 ○避難する場所が遠い場合は、早めに避難行動を開始することも考えましょう。 ○移動中も市からの情報を常に収集しましょう。防災行政無線や広報車などでも情報は提供されています。	半日前 ○インターネットで川の水位を確認する(鴨子) 鴨子 ○携帯電話を充電する
-5h	避難判断水位到達 洪水予報(はん蓋警戒情報)発表 ○避難勧告又は避難指示を発令	○川の水位をインターネットで確認 ○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで避難勧告、避難指示を受信 ○市内の指定避難所への避難を判断	○避難が完了しても、情報は収集するようにしましょう。	5時間前 ○市外(つくば市)への避難先を定めてテレビで洪水予報を確認する
-3h	はん蓋危険水位到達 洪水予報(はん蓋危険情報)発表 緊急速報メール(河川氾濫のおそれがある情報)	○川の水位をインターネットで確認 ○市内の高台への避難を完了 ○市内の指定避難所への避難を完了 ○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで緊急速報メールを受信 ○自宅内の浸水が想定されない場所で身の安全を確保	○必要なものを確認しましょう。また、最初に戻って作成したマイ・タイムラインを確認しましょう。	3時間前 ○泥濘が発生
0h	氾濫が発生 洪水予報(はん蓋発生情報) 緊急速報メール(氾濫が発生した情報)	○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで緊急速報メールを受信		

	行政情報	住民等(例)	作業のポイント
3日前	(黒:気象・水象情報 青:下館河川事務所 緑:常総市) ○台風予報 ○台風に関する筋木札、茨城県気象情報(随時)	○テレビの天気予報も注意 ○家族全員の今後の予定を確認 ○マイ・タイムラインを確認 ○防災グッズの準備(不足があれば買い出しへ) ○1週間分の薬を病院に受け取りに行く ○家の周りに風で飛ばされないようなものはないか確認	運出する予定がある場合は、今後の気象情報に注意しましょう。運出によっては、予定のキャンセルも視野にいれて行動しましょう。 事前に準備しておきましょう。
2日前	◇大雨注意報・洪水注意報 ○台風に関する今後の見通し	○テレビ、インターネット、携帯メール等で雨や川のの様子に注意 ○家族全員の今後の予定を再確認	風で飛ばされそうな植木鉢、自転車、農機具の片づけ、ビニールハウスの支柱などはまとめておきましょう。
1日前	◇大雨警報・洪水警報 上流域(日光等)での大雨特別警報	○携帯電話の充電	
半日前	水防団待機水位到達 はん蓋注意水位到達 洪水予報(はん蓋注意情報)発表 ○要支度者施設に洪水予報(はん蓋注意情報)を伝達 ○避難所の開設 ○避難準備・高齢者等避難開始を発令 ◇大雨特別警報(緊急連絡メール) ◇暴風警報	○ハザードマップで避難場所、避難手段を確認 ○隣町の親戚の家に家族みんなで避難することを電話 ○携帯電話の充電 ○川の水位をインターネットで確認 ○通行止め情報がないかインターネットで確認 ○隣町への避難の開始を判断 ○携帯メール等で避難準備・高齢者等避難開始の受信 ○移動に時間のかかる人は、市内の指定避難所への避難の開始を判断 ○隣町への避難完了 ○市内の高台への避難の開始を判断	移動中に情報を収集できるように、携帯電話等の充電をしておきましょう。 避難を開始する前に、交通情報や渋滞情報、地盤の浸水情報などを収集しましょう。 避難する場所が違い場合は、早めに避難行動を開始することも考えましょう。 移動中も仕方の情報を常に収集しましょう。防犯行政無線や広報車などでも情報は提供されています。
-5h	避難判断水位到達 洪水予報(はん蓋警戒情報)発表 ○避難勧告又は避難指示(緊急)を発令	○川の水位をインターネットで確認 ○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで避難勧告、避難指示(緊急)を受信 ○市内の指定避難所への避難を判断	避難が完了しても、情報は収集するようにしましょう。
-3h	はん蓋危険水位到達 洪水予報(はん蓋危険情報)発表 緊急連絡メール(河川氾濫のおそれがある情報)	○川の水位をインターネットで確認 ○市内の高台への避難を完了 ○市内の指定避難所への避難を完了 ○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで緊急連絡メールを受信 ○自宅内の浸水が想定されない場所で身の安全を確保	必要なものを確認しましょう。また、最初に作成したマイ・タイムラインを確認しましょう。
0h	氾濫が発生 洪水予報(はん蓋発生情報) 緊急連絡メール(氾濫が発生した情報)	○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで緊急連絡メールを受信	

両風が強くなる前に行動する準備をすすめておく時期
 水位等の状況を確認して避難に要する時間に応じて避難行動を開始する時期
 身の安全を確保すべき時期

台風に関する情報を確認

家族に連絡する

車の代金を払う
携帯電話を充電する

1階の天井の土下階に移れる
お風呂の薪ストーブも使える
貴重品を預ける

大雨警報の中を歩ける

流山市に避難開始

市立高校に避難開始

市立高校に避難完了 流山市に避難完了

常総市 地区 家 鬼怒川マイ・タイムライン

作成年月日 年 月 日

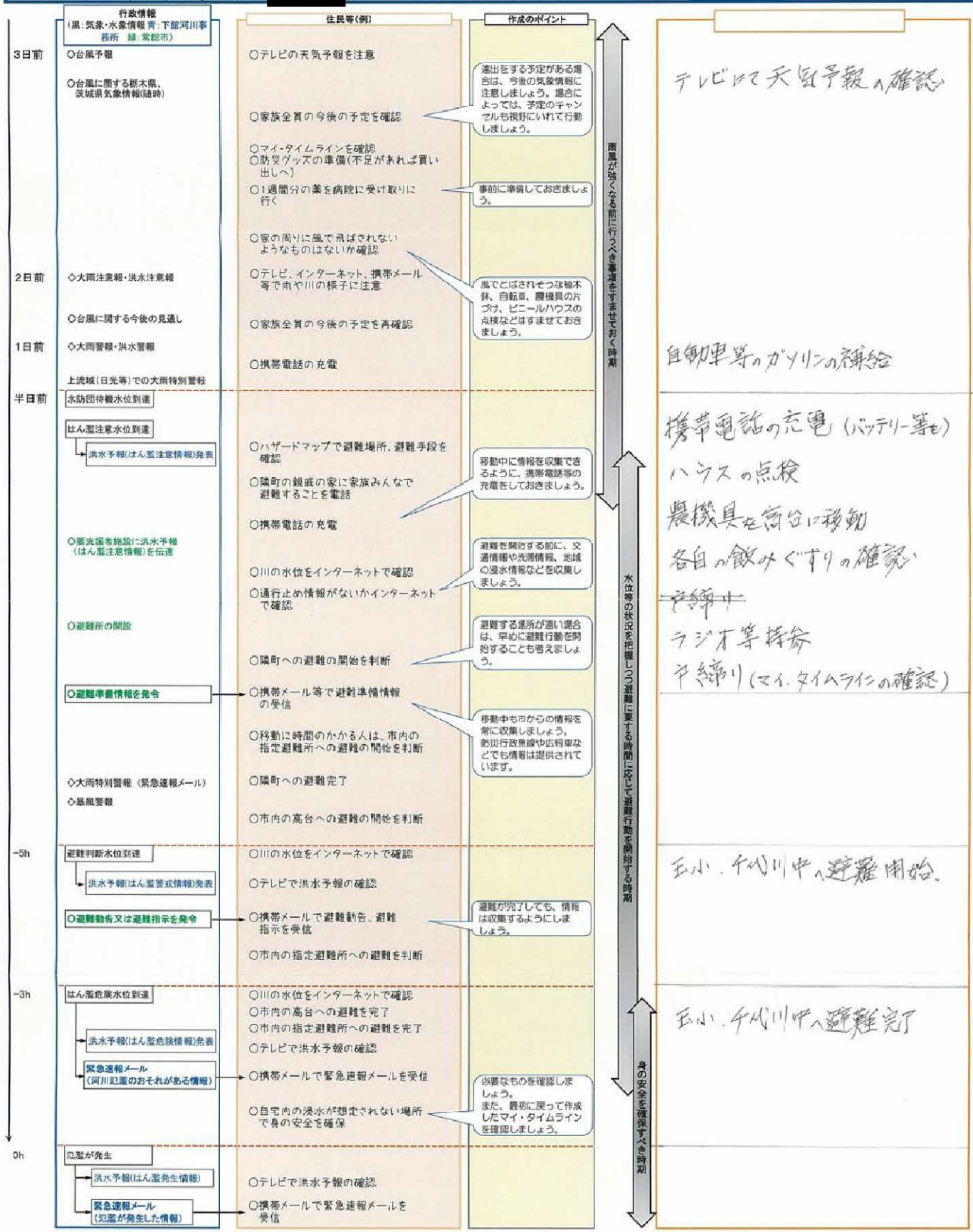
時間	行政情報	住民等(例)	作成のポイント
3日前	(黒:気象・水害情報責;下館河川事務所 緑:常総市) ○台風予報 ○台風に関する橋木様、茨城県気象情報(随時)	○テレビの天気予報を注意 ○家族全員の今後の予定を確認 ○マイ・タイムラインを確認 ○防災グッズの準備(不足があれば買い出しへ) ○1週間分の薬を病院に受け取りに行く ○家の周りに風で飛ばされないようなものはないか確認	通出をする予定がある場合は、今後の気象情報に注意しましょう。場合によっては、予定のキャンセルも視野にいれて行動しましょう。 事前に準備しておきましょう。
2日前	◇大雨注意報・洪水注意報 ○台風に関する今後の見通し	○テレビ、インターネット、携帯メール等で雨や川の様子に注意 ○家族全員の今後の予定を再確認	船でとばされそうな橋木様、自転車、農機具の片づけ、ビニールハウスの点検などは必ずしておきましょう。
1日前	◇大雨警報・洪水警報 上流域(日光等)での大雨特別警報	○携帯電話の充電	
半日前	水防団待機水位到達 はん注意水位到達 洪水予報(はん注意情報)発表 ○農支庁者施設に洪水予報(はん注意情報)を伝達 ○避難所の開設 ○避難準備・高齢者等避難開始を発令 ◇大雨特別警報(緊急速報メール) ◇暴風警報	○ハザードマップで避難場所、避難手段を確認 ○隣町の親戚の家に家族みんなで避難することを電話 ○携帯電話の充電 ○川の水位をインターネットで確認 ○通行止め情報がないかインターネットで確認 ○隣町への避難の開始を判断 ○携帯メール等で避難準備・高齢者等避難開始の受信 ○移動に時間のかかる人は、市内の指定避難所への避難の開始を判断 ○隣町への避難完了 ○市内の高台への避難の開始を判断	移動中に情報を収集できるように、携帯電話等の充電をしておきましょう。 避難を開始する前に、交通情報や赤十字情報、地域の浸水情報などを収集しましょう。 避難する場所が遠い場合は、早めに避難行動を開始することも考えましょう。 移動中も市からの情報を常に収集しましょう。防災行政無線や広報車などでも情報は提供されています。
-5h	避難判断水位到達 洪水予報(はん注意警戒情報)発表 ○避難勧告又は避難指示(緊急)を発令	○川の水位をインターネットで確認 ○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで避難勧告、避難指示(緊急)を受信 ○市内の指定避難所への避難を判断	避難が完了しても、情報は収集するようにしましょう。
-3h	はん危険浸水水位到達 洪水予報(はん危険浸水情報)発表 緊急速報メール(河川氾濫のおそれがある情報)	○川の水位をインターネットで確認 ○市内の高台への避難を完了 ○市内の指定避難所への避難を完了 ○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで緊急速報メールを受信	必要なものを確認しましょう。また、最初に買って作成したマイ・タイムラインを確認しましょう。
0h	氾濫が発生 洪水予報(はん危険発生情報) 緊急速報メール(氾濫が発生した情報)	○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで緊急速報メールを受信	

両風が強くなる前に行うべき事項をすべておくり終期

水などの浸水被害防止に避難準備する時間に応じて避難行動を開始する時期

身の安全を確保すべき時期

外の片づけ
 戸を閉める
 家の中の片づけ(できるだけ高い所に)
 子どものオムツ、ミルクなどの準備
 5分以内の家電の片づけ(できるだけ高い所に)
 通行止め情報の確認(ネット、カーナビ)
 印(しま)
 避難準備(関台(車2台))
 5分以内で避難完了



常総市 若宮戸 地区 家 鬼怒川マイ・タイムライン

作成年月日 年 29 年 3 月 5 日

	行政情報	住民等(例)	作風のポイント
3日前	(黒:気象・水象情報青:下総河川事務所 緑:常総市) ○台風予報 ○台風に関する栃木県、茨城県気象情報(随時)	○テレビの天気予報を注意 ○家族全員の今後の予定を確認 ○マイ・タイムラインを確認 ○防災グッズの準備(不足があれば買い出しへ) ○1週間分の薬を病院に受け取りに行く ○家の周りに風で飛ばされないようなものはないか確認	遠出をする予定がある場合は、今後の気象情報に注意しましょう。遅くとも、予定のキャンセルも視野にいれて行動しましょう。 事前に準備しておきましょう。
2日前	◇大雨注意報・洪水注意報 ○台風に関する今後の見通し	○テレビ、インターネット、携帯メール等で雨や川の様子に注意 ○家族全員の今後の予定を再確認 ○携帯電話の充電	風でとばされそうな植木鉢、自転車、農機具の片づけ、ビニールハウスの高株などはまとめておきましょう。
1日前	◇大雨警報・洪水警報 上流域(日光等)での大雨特別警報	○ハザードマップで避難場所、避難手段を確認 ○隣町の親戚の家に家族みんなで避難することを電話 ○携帯電話の充電 ○川の水位をインターネットで確認 ○通行止め情報がないかインターネットで確認	移動中に情報を収集できるように、携帯電話等の充電をしておきましょう。 避難を開始する前に、交通情報や渋滞情報、地域の浸水情報などを収集しましょう。 避難する場所が違い場合は、早めに避難行動を開始することも考えましょう。
半日前	水防団待機水位到達 はん蓋注意水位到達 洪水予報(はん蓋注意情報)発表 ○県支庁者施設に洪水予報(はん蓋注意情報)を伝達 ○避難所の開設 ○避難準備・高齢者等避難開始を発令 ◇大雨特別警報(緊急速報メール) ◇暴風警報	○隣町への避難の開始を判断 ○携帯メール等で避難準備・高齢者等避難開始の受信 ○移動に時間のかかる人は、市内の指定避難所への避難の開始を判断 ○隣町への避難完了 ○市内の高台への避難の開始を判断	避難する場所が違い場合は、早めに避難行動を開始することも考えましょう。 移動中も市からの情報を常に収集しましょう。防災行政無線や広報車などでも情報は提供されています。
-5h	避難判断水位到達 洪水予報(はん蓋警戒情報)発表 ○避難勧告又は避難指示(緊急)を発令	○川の水位をインターネットで確認 ○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで避難勧告、避難指示(緊急)を受信 ○市内の指定避難所への避難を判断	避難が完了しても、情報は収集するようにしましょう。
-3h	はん蓋危険水位到達 洪水予報(はん蓋危険情報)発表 緊急速報メール(河川氾濫のおそれがある情報)	○川の水位をインターネットで確認 ○市内の高台への避難を完了 ○市内の指定避難所への避難を完了 ○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで緊急速報メールを受信 ○自宅内の浸水が想定されない場所で身の安全を確保	必要なものを確認しましょう。また、最初に戻って作成したマイ・タイムラインを確認しましょう。
0h	氾濫が発生 洪水予報(はん蓋発生情報) 緊急速報メール(氾濫が発生した情報)	○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで緊急速報メールを受信	

両風が吹く大きな雨は、行方不明な事項をすべておぼろげに

水位等の状況を含めて避難に要する時間(仮定)で避難行動を開始する時期

身の安全を確保すべき時期

テレビ視聴

防災無線注意

親戚に受入可否の確認 (A)
携帯の充電

長男の状況確認
戸締り等準備開始 (A)

長男の状況確認
自走車の移動
親戚に3時間前へ移動開始 (A)

避難準備を完了した(2時間前) (A)

5.2 根新田地区

検討会参加者が作成されたマイ・タイムラインのうち、平成29年3月23日までに事務局にご提出いただいたものを次頁以降に順不同で添付する。(根新田地区：34事例)

※一部個人情報等に関する部分は、マスキング処理を実施しています。

	行政情報 (県:気象・水害情報 青:下総河川事務所 緑:常総市)	住民等(例)	作居のポイント
3日前	○台風予報 ○台風に関する洪水見、茨城県気象情報(随時)	○テレビの天気予報を注意 ○家族全員の今後の予定を確認 ○マイ・タイムラインを確認 ○防災グッズの準備(不足があれば買い出しへ) ○1週間分の菓を病院に受け取りに行く ○家の周りに風で飛ばされないようなものはないか確認	○適出する予定がある場合は、今後の気象情報に注意しましょう。適出によっては、予定のキャンセルも視野にいれて行動しましょう。 ○事前に準備しておきましょう。
2日前	◇大雨注意報・洪水注意報 ○台風に関する今後の見通し	○テレビ、インターネット、携帯メール等で雨や川の様子に注意 ○家族全員の今後の予定を再確認 ○携帯電話の充電	○風で飛ばされそうな植木鉢、自転車、農機具の片づき、ビニールハウスの点検などはすべておきましょう。
1日前	◇大雨警報・洪水警報 上流域(日光等)での大雨特別警報	○ハザードマップで避難場所、避難手段を確認 ○隣町の親戚の家に家族みんなで避難することを電話 ○携帯電話の充電 ○川の水位をインターネットで確認 ○通行止め情報がないかインターネットで確認	○移動中に情報を収集できるように、携帯電話等の充電をしておきましょう。 ○避難を開始する前に、交通情報や渋滞情報、地域の浸水情報などを収集しましょう。
半日前	水防団待機水位到達 はん濫注意水位到達 洪水予報(はん濫注意情報)発表 ○要支援者施設に洪水予報(はん濫注意情報)を伝達 ○避難所の開設 ○避難準備・高齢者等避難開始を発令 ◇大雨特別警報(緊急速報メール) ◇暴風警報	○隣町への避難の開始を判断 ○携帯メール等で避難準備情報の受信 ○移動に時間がかかる人は、市内の指定避難所への避難の開始を判断 ○隣町への避難完了 ○市内の高台への避難の開始を判断	○避難する場所が遠い場合は、早めに避難行動を開始することをお考えましょう。 ○移動中も市からの情報を常に収集しましょう。防災行政無線や広報車などでも情報は提供されています。
-5h	避難判断水位到達 洪水予報(はん濫警戒情報)発表 ○避難勧告又は避難指示(緊急)を発令	○川の水位をインターネットで確認 ○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで避難勧告、避難指示を受信 ○市内の指定避難所への避難を判断	○避難が完了しても、情報は収集するようにしましょう。
-3h	はん濫危険水位到達 洪水予報(はん濫危険情報)発表 緊急速報メール(河川氾濫のおそれがある情報)	○川の水位をインターネットで確認 ○市内の高台への避難を完了 ○市内の指定避難所への避難を完了 ○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで緊急速報メールを受信 ○自宅内の浸水が想定されない場所で身の安全を確保	○必要なものを確認しましょう。また、最初につくったマイ・タイムラインを確認しましょう。
0h	氾濫が発生 洪水予報(はん濫発生情報) 緊急速報メール(氾濫が発生した情報)	○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで緊急速報メールを受信	

両風が吹くようになる前に行うべき事項をすべておこなう時期
 水位等の状況を把握しつつ避難に要する時間に応じて避難行動を開始する時期
 身の安全を確保すべき時期

テレビ等の天気予報を注意して見ると

持出物、防災グッズの準備

大事な物を2階に上げる

車のカッコンをみれておく

持出物の準備を30(確認)

携帯電話の充電

ハザードマップで確認

Mの水位を確認

防災無線メール等の避難所の確認

アパレルのチェック

戸締り、葉っぱ類、郵便、持出物の確認

県民館への避難を判断

完了したい(5A前)

(本人、長男、義母、車)

自家用車

(2台、バイク、交流電源)

	行政情報 (県:気象・水害情報 青:下館河川事務所 緑:常総市)	住民等(例)	作風のポイント		
3日前	○台風予報 ○台風に関する新木島、茨城県気象情報(随時)	○テレビの天気予報を注意 ○家族全員の今後の予定を確認 ○マイ・タイムラインを確認 ○防災グッズの準備(不足があれば買い出しへ) ○1週間分の薬を病院に受け取りに行く ○家の周りに風で飛ばされないようなものはないか確認	○テレビの天気予報を注意 ○家族全員の今後の予定を確認 ○マイ・タイムラインを確認 ○防災グッズの準備(不足があれば買い出しへ) ○1週間分の薬を病院に受け取りに行く ○家の周りに風で飛ばされないようなものはないか確認	○テレビの天気予報を注意 ○家族の予定を確認 ○防災グッズの準備 ○薬の準備 ○銀行へ行き預金を下ろす ○家の周りの整理	
2日前	◇大雨注意報・洪水注意報 ○台風に関する今後の見通し	○テレビ、インターネット、携帯メール等で雨や川の様子に注意 ○家族全員の今後の予定を再確認 ○携帯電話の充電	○テレビ、インターネット、携帯メール等で雨や川の様子に注意 ○家族全員の今後の予定を再確認 ○携帯電話の充電	○テレビや携帯電話等で台風に関する今後の見通しを確認 ○携帯電話の充電 ○車のガソリンを入れる	
1日前	◇大雨警報・洪水警報 上流域(日光等)での大雨特別警報	○ハザードマップで避難場所、避難手段を確認 ○隣町の親戚の家に家族みんなで避難することを電話 ○携帯電話の充電 ○川の水位をインターネットで確認 ○通行止め情報がなく、インターネットで確認	○ハザードマップで避難場所、避難手段を確認 ○隣町の親戚の家に家族みんなで避難することを電話 ○携帯電話の充電 ○川の水位をインターネットで確認 ○通行止め情報がなく、インターネットで確認	○ハザードマップで避難場所の確認 ○自宅に留まることも多々 ○自宅1階の必需品などを2階へ移動(食料、水、カビ) ○川の水位をインターネットで確認 ○親戚の家へ家族で避難することを電話	
半日前	水防団待機水位到達 はん濫注意水位到達 洪水予報(はん濫注意情報・発表) ○要支援者施設に洪水予報(はん濫注意情報)を伝達	○避難所の開設 ○避難準備・高齢者等避難開始を発令 ○大雨特別警報(緊急速報メール) ○暴風警報	○避難所の開設 ○避難準備・高齢者等避難開始を発令 ○大雨特別警報(緊急速報メール) ○暴風警報	○避難所の開設 ○避難準備・高齢者等避難開始を発令 ○大雨特別警報(緊急速報メール) ○暴風警報	○避難場所の確認 ○避難準備・高齢者等避難開始の受信 ○親戚の家へ避難することを判断 ○近所への声かけ ○携帯電話の充電
-5h	避難判断水位到達 洪水予報(はん濫警戒情報・発表) ○避難勧告又は避難指示(緊急)発令	○川の水位をインターネットで確認 ○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで避難勧告、避難指示を受信 ○市内の指定避難所への避難を判断	○川の水位をインターネットで確認 ○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで避難勧告、避難指示を受信 ○市内の指定避難所への避難を判断	○避難準備・高齢者等避難開始の受信 ○親戚の家へ避難することを判断 ○近所への声かけ ○携帯電話の充電 ○交通情報や渋滞情報を確認 ○川の水位をインターネットで確認 ○戸締り、準備時間 ブレーカーを落とし ガスボンベの元栓を閉める ○携帯メールで避難勧告、避難指示を受信(ホットメールなど) ○親戚の家へ避難開始 ○川の水位をインターネットで確認 ○避難完了 ○テレビなどで洪水予報の確認 ○携帯メールで緊急速報メールを受信 ○自治区へのメール受信	
-3h	はん濫危険水位到達 洪水予報(はん濫危険情報・発表) 緊急速報メール(河川氾濫のおそれがある情報)	○川の水位をインターネットで確認 ○市内の高台への避難を完了 ○市内の指定避難所への避難を完了 ○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで緊急速報メールを受信 ○自宅内の湧水が想定されない場所で身の安全を確保	○川の水位をインターネットで確認 ○市内の高台への避難を完了 ○市内の指定避難所への避難を完了 ○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで緊急速報メールを受信 ○自宅内の湧水が想定されない場所で身の安全を確保	○避難準備・高齢者等避難開始の受信 ○親戚の家へ避難することを判断 ○近所への声かけ ○携帯電話の充電 ○交通情報や渋滞情報を確認 ○川の水位をインターネットで確認 ○戸締り、準備時間 ブレーカーを落とし ガスボンベの元栓を閉める ○携帯メールで避難勧告、避難指示を受信(ホットメールなど) ○親戚の家へ避難開始 ○川の水位をインターネットで確認 ○避難完了 ○テレビなどで洪水予報の確認 ○携帯メールで緊急速報メールを受信 ○自治区へのメール受信	
0h	氾濫が発生 洪水予報(はん濫発生情報) 緊急速報メール(氾濫が発生した情報)	○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで緊急速報メールを受信	○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで緊急速報メールを受信	○避難準備・高齢者等避難開始の受信 ○親戚の家へ避難することを判断 ○近所への声かけ ○携帯電話の充電 ○交通情報や渋滞情報を確認 ○川の水位をインターネットで確認 ○戸締り、準備時間 ブレーカーを落とし ガスボンベの元栓を閉める ○携帯メールで避難勧告、避難指示を受信(ホットメールなど) ○親戚の家へ避難開始 ○川の水位をインターネットで確認 ○避難完了 ○テレビなどで洪水予報の確認 ○携帯メールで緊急速報メールを受信 ○自治区へのメール受信	

	行政情報	住民等(例)	作業のポイント
3日前	行政情報 (黒:気象・水害情報青:下館河川事務所 緑:常総市) ○台風予報 ○台風に関する栃木県、茨城県気象情報(随時)	○テレビの天気予報を注意 ○家族全員の今後の予定を確認 ○マイ・タイムラインを確認 ○防災グッズの準備(不足があれば買い出しへ) ○1週間分の菓を病院に受け取りに行く ○家の周りに風で飛ばされないようなものはないか確認	作業のポイント ① 運出する予定がある場合は、今後の気象情報に注意しましょう。場合によっては、予定のキャンセルも視野にいれて行動しましょう。 ② 事前に準備しておきましょう。
2日前	◇大雨注意報・洪水注意報 ○台風に関する今後の見通し	○テレビ、インターネット、携帯メール等で雨や川の様子に注意 ○家族全員の今後の予定を再確認	③ 風でとばされそうな植木鉢、自転車、農機具の片づき、ビニールハウスの点検などはすませておきましょう。
1日前	◇大雨警報・洪水警報 上流域(日光等)での大雨特別警報	○携帯電話の充電	
半日前	水防団待機水位到達 はん濫注意水位到達 洪水予報(はん濫注意情報)発表 ○要支援者施設に洪水予報(はん濫注意情報)を伝達 ○避難所の開設 ○避難準備・高齢者等避難開始を発令 ◇大雨特別警報(緊急通報メール) ◇暴風警報	○ハザードマップで避難場所、避難手段を確認 ○隣町の親戚の家に家族みんなで避難することを電話 ○携帯電話の充電 ○川の水位をインターネットで確認 ○通行止め情報がないかインターネットで確認 ○隣町への避難の開始を判断 ○携帯メール等で避難準備情報の受信 ○移動に時間のかかる人は、市内の指定避難所への避難の開始を判断 ○隣町への避難完了 ○市内の高台への避難の開始を判断	④ 移動中に情報を収集できるように、携帯電話等の充電をしておきましょう。 ⑤ 避難を開始する前に、交通情報や渋滞情報、地域の浸水情報などを収集しましょう。 ⑥ 避難する場所が遠い場合は、早めに避難行動を開始することも考えましょう。 ⑦ 移動中も仕方の情報を常に収集しましょう。防災行政無線や広報車などでも情報は提供されています。
-5h	避難判断水位到達 洪水予報(はん濫危険情報)発表 ○避難勧告又は避難指示(緊急)を発令	○川の水位をインターネットで確認 ○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで避難勧告、避難指示を受信 ○市内の指定避難所への避難を判断	⑧ 避難が完了しても、情報は収集するようにしましょう。
-3h	はん濫危険水位到達 洪水予報(はん濫危険情報)発表 緊急通報メール(河川氾濫のおそれがある情報)	○川の水位をインターネットで確認 ○市内の高台への避難を完了 ○市内の指定避難所への避難を完了 ○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで緊急通報メールを受信 ○自宅内の浸水が想定されない場所で身の安全を確保	⑨ 必要なものを確認ししましょう。また、最初に戻って作成したマイ・タイムラインを確認しましょう。
0h	氾濫が発生 洪水予報(はん濫発生情報) 緊急通報メール(氾濫が発生した情報)	○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで緊急通報メールを受信	

両風が強くなる前に行うべき事項をすませておく時期

水位等の状態を把握しつつ避難に要する時間に応じて避難行動を開始する時期

身の安全を確保すべき時期

台風に関する情報
雨に関する情報

川、水位の情報こまめに
フスリの不足がわかれば早急に
状況により早めに避難判断
家族を2階に移動、その他
車やガソリン給油
電話の充電

避難の開始を判断
確認
家族のフスリ・アイテムの充電
お食料、ペット用品、タオル、他
衣類、フック、カギ、1.1.7.5
現金、通帳、戸籍簿、電気

避難の開始
状況により場所変更

つくば市 姉の家
避難完了 メール送信

	行政情報 (基:気象・水象情報 青:下館河川事務所 緑:常総市)	住民等(例)	作成のポイント
3日前	○台風予報 ○台風に関する洪水害、茨城県気象情報(随時)	○テレビの天気予報を注意 ○家族全員の今後の予定を確認 ○マイ・タイムラインを確認 ○防災グッズの準備(不足があれば買い出しへ) ○1週間分の薬を病院に受け取りに行く ○家の周りに風で飛ばされないようなものはないか確認	○通出する予定がある場合は、今後の気象情報に注意しましょう。場合によっては、予定のキャンセルも視野にいれて行動しましょう。 ○事前に準備しておきましょう。
2日前	◇大雨注意報・洪水注意報 ○台風に関する今後の見通し	○テレビ、インターネット、携帯メール等で雨や川の様子に注意 ○家族全員の今後の予定を再確認	○風でとばされそうな植木鉢、自転車、農機具の片づけ、ビニールハウスの応接などはまとめておきましょう。
1日前	◇大雨警報・洪水警報 上流域(日光等)での大雨特別警報	○携帯電話の充電	
半日前	水防団待機水位到達 はん濫注意水位到達 洪水予報(はん濫注意情報)発表	○ハザードマップで避難場所、避難手段を確認 ○隣町の親戚の家に家族みんなで避難することを電話 ○携帯電話の充電 ○川の水位をインターネットで確認 ○通行止め情報がないかインターネットで確認	○移動中に情報を収集できるように、携帯電話等の充電をしておきましょう。 ○避難を開始する前に、交通情報や渋滞情報、地域の浸水情報などを収集しましょう。
	○茨城県警団に洪水予報(はん濫注意情報)を伝達 ○避難所の開設 ○避難準備・高齢者等避難開始を発令	○隣町への避難の開始を判断 ○携帯メール等で避難準備情報の受信 ○移動に時間のかかる人は、市内の指定避難所への避難の開始を判断 ○隣町への避難完了 ○市内の高台への避難の開始を判断	○避難する場所が遠い場合は、早めに避難行動を開始することも考えましょう。 ○移動中も市からの情報を常に収集しましょう。防災行政無線や広報車などでも情報は提供されています。
	◇大雨特別警報(緊急通報メール) ◇暴風警報		
-5h	避難判断水位到達 洪水予報(はん濫警戒情報)発表 ○避難勧告又は避難指示(緊急)を発令	○川の水位をインターネットで確認 ○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで避難勧告、避難指示を受信 ○市内の指定避難所への避難を判断	○避難が完了しても、情報に収集するようにしましょう。
	はん濫危険水位到達 洪水予報(はん濫危険情報)発表 緊急通報メール(河川氾濫のおそれがある情報)	○川の水位をインターネットで確認 ○市内の高台への避難を完了 ○市内の指定避難所への避難を完了 ○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで緊急通報メールを受信 ○自宅内の浸水が想定されない場所で身の安全を確保	○必要なものを確認しましょう。また、最期に於て作成したマイ・タイムラインを確認しましょう。
0h	氾濫が発生 洪水予報(はん濫発生情報) 緊急通報メール(氾濫が発生した情報)	○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで緊急通報メールを受信	

両風が強くなる前に行うべき事項をまとめておきましょう。

水位等の状況把握し、避難に要する時間に応じて避難行動を開始する時期

身の安全を確保するべき時期

※ 避難先 (埼玉県所沢)
2日前 妻の家に連絡ポイント (女に1日117で避難先には来下...という連絡が...)

家族全員の予定確認
(息子 下凡子 娘 三郷の義理周りの郵移先から帰ると出るポイント
①主人(80才)と女(75才)二人でなんとでも頑張るつもり
②子供連泊野内ホテルに本当に感謝しているほなれで、お礼の情報がわがかり取場にありついでいられ

1日前
車一台 ガソリン 電話の充電機 貴重品 食糧 保険 現金(現金) 着がえ 紙パンツ

避難開始(高齢者避難開始)
産婦人科
トイレカー
4時10分前には家出る

	行政情報 (県:気象・水象情報 市:下館河川事務所 総:常総市)	住民等(例)	作成のポイント
3日前	<ul style="list-style-type: none"> 台風予報 台風に関する栃木県、茨城県気象情報(随時) 	<ul style="list-style-type: none"> テレビの天気予報を注意 家族全員の今後の予定を確認 マイ・タイムラインを確認 防災グッズの準備(不足があれば買い出しへ) 1週間分の薬を病院に受け取りに行く 家の周りに風で飛ばされないようなものはないか確認 テレビ、インターネット、携帯メール等で雨や川の様子に注意 家族全員の今後の予定を再確認 	<ul style="list-style-type: none"> 運出する予定がある場合は、今後の気象情報に注意しましょう。思合によっては、予定のキャンセルも視野にいれて行動しましょう。 事前に準備しておきましょう。 風で飛ばされそうな植木鉢、自転車、農機具の片づけ、ビニールハウスの点検などにすませておきましょう。
2日前	<ul style="list-style-type: none"> 大雨注意報・洪水注意報 台風に関する今後の見通し 	<ul style="list-style-type: none"> 携帯電話の充電 	<ul style="list-style-type: none"> 移動中に情報を収集できるように、携帯電話等の充電をしておきましょう。
1日前	<ul style="list-style-type: none"> 大雨警報・洪水警報 上流域(日光等)での大雨特別警報 	<ul style="list-style-type: none"> ハザードマップで避難場所、避難手段を確認 隣町の親戚の家に家族みんなで避難することを電話 携帯電話の充電 川の水位をインターネットで確認 通行止め情報がないかインターネットで確認 隣町への避難の開始を判断 携帯メール等で避難準備情報の受信 移動に時間のかかる人は、市内の指定避難所への避難の開始を判断 隣町への避難完了 市内の高台への避難の開始を判断 	<ul style="list-style-type: none"> 避難を開始する前に、交通情報や渋滞情報、地域の浸水情報などを収集しましょう。 避難する場所が近い場合は、早めに避難行動を開始することも考えましょう。 移動中も市からの情報を常に収集しましょう。防災行政無線や広域車などで情報も提供されています。 避難が完了しても、情報は収集するようにしましょう。
半日前	<ul style="list-style-type: none"> 水防団待機水位到達 はん濫注意水位到達 洪水予報(はん濫注意情報)発表 重要支庁施設に洪水予報(はん濫注意情報)を伝達 避難所の開設 避難準備・高齢者等避難開始を発令 大雨特別警報(緊急速報メール) 暴風警報 	<ul style="list-style-type: none"> 川の水位をインターネットで確認 テレビで洪水予報の確認 携帯メールで避難勧告、避難指示を受信 市内の指定避難所への避難を判断 	<ul style="list-style-type: none"> 必要ものを確認しましょう。また、履物に異って作成したマイ・タイムラインを確認しましょう。
-5h	<ul style="list-style-type: none"> 避難判断水位到達 洪水予報(はん濫警戒情報)発表 避難勧告又は避難指示(緊急)を発令 	<ul style="list-style-type: none"> 川の水位をインターネットで確認 市内の高台への避難を完了 市内の指定避難所への避難を完了 テレビで洪水予報の確認 	
-3h	<ul style="list-style-type: none"> はん濫危険水位到達 洪水予報(はん濫危険情報)発表 緊急速報メール(河川氾濫のおそれがある情報) 	<ul style="list-style-type: none"> 携帯メールで緊急速報メールを受信 自宅内の浸水が想定されない場所で身の安全を確保 	
0h	<ul style="list-style-type: none"> 氾濫が発生 洪水予報(はん濫発生情報) 緊急速報メール(氾濫が発生した情報) 	<ul style="list-style-type: none"> テレビで洪水予報の確認 携帯メールで緊急速報メールを受信 	

雨風が強くなる前にむこうへを準備をすませおく時期

水位等の状況把握(避難)に要する時間に応じて避難行動を開始する時期

車にガソリンと給油する
飲料水、2,3日分の衣類
日用品を車に積む

携帯電話の充電ペース
—
スピーカー、充電ケーブル、携帯電話、貴重品等用意する。

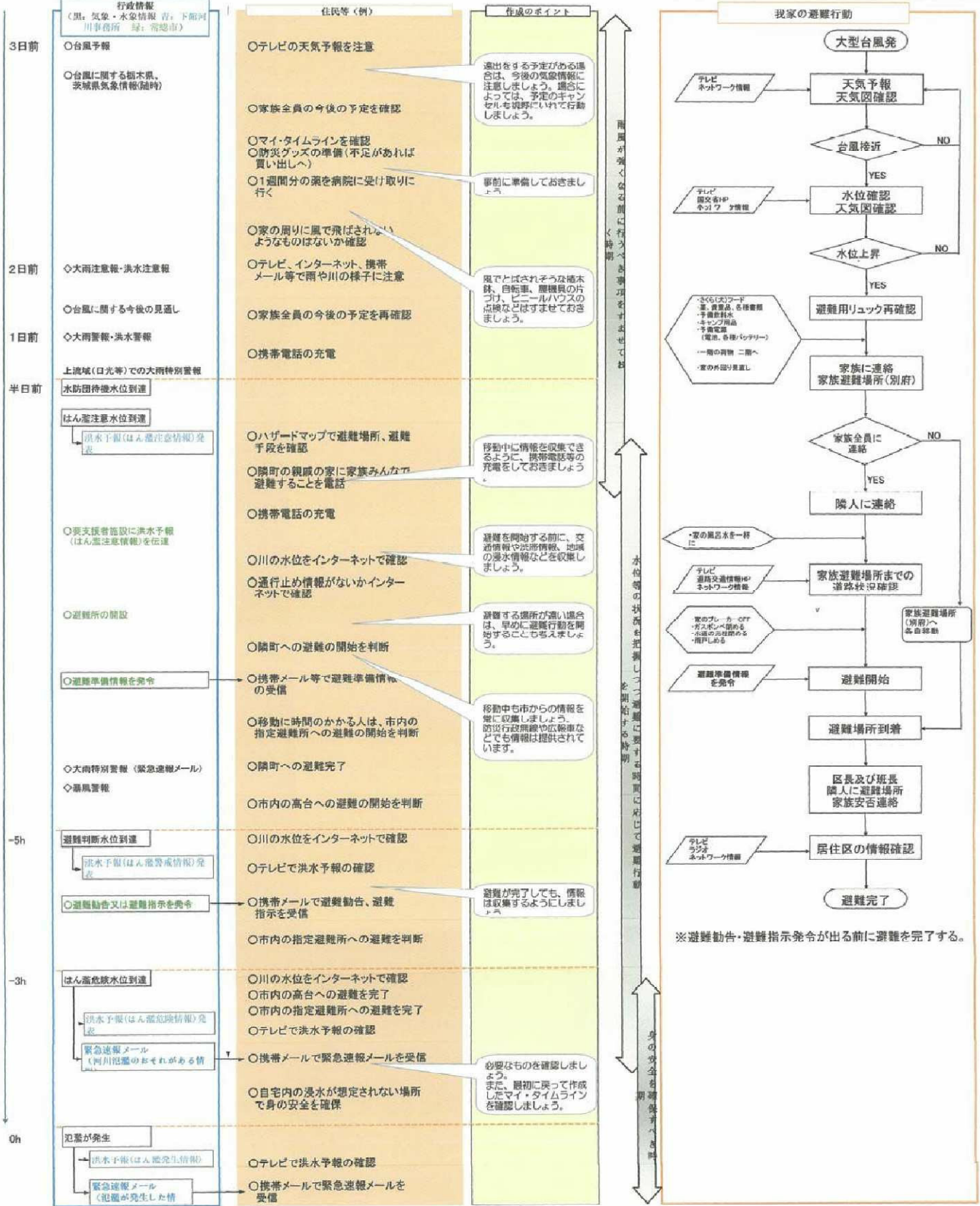
最低限の食料と準備。

避難する場所と想定し、親戚へ連絡しておく。

会社勤務中の子供達に連絡し、夜間帰宅のめは、帰途しないようにする。

押し入れの中 浸水が床下位置の予想であれば、自宅の2階に避難する。(外に出て避難所に向かうのが危険な場合もある)

	行政情報	住民等(例)	作業のポイント	我が家の避難行動
3日前	(黒)気象・水象情報青:下館河川事務所 緑:常総市 ○台風予報 ○台風に関する栃木県、茨城県気象情報(随時)	○テレビの天気予報を注意 ○家族全員の今後の予定を確認 ○マイ・タイムラインを確認 ○防災グッズの準備(不足があれば買い出しへ) ○1週間分の薬を病院に受け取りに行く ○家の周りに風で飛ばされないようなものはないか確認	① 遠出する予定がある場合は、今後の気象情報に注意しましょう。場合によっては、予定のキャンセルも視野にいれて行動しましょう。 ② 事前に準備しておきましょう。	雨風が強くなる前に行動に入る準備をすませておく時期
2日前	◇大雨注意報・洪水注意報 ○台風に関する今後の見通し	○テレビ、インターネット、携帯メール等で雨や川の様子に注意 ○家族全員の今後の予定を再確認 ○携帯電話の充電	③ 風でとばされそうな植木鉢、自転車、農機具の片づけ、ビニールハウスの支柱などはすませておきましょう。	※日頃から家の周りに片付けおく
1日前	◇大雨警報・洪水警報 上流域(日光等)での大雨特別警報	○ハザードマップで避難場所、避難手段を確認 ○隣町の親戚の家に家族みんなで避難することを電話 ○携帯電話の充電 ○川の水位をインターネットで確認 ○通行止め情報がないかインターネットで確認	④ 移動中に情報を収集できるように、携帯電話等の充電をしておきましょう。 ⑤ 避難を開始する前に、交通情報や渋滞情報、地域の浸水情報などを収集しましょう。	台風、大雨、洪水 TV、ネット情報 ※ガソリンを入れる ※携帯を充電
半日前	水防団待機水位到達 はん濫注意水位到達 洪水予報(はん濫注意情報)発表 ○要支援者施設に洪水予報(はん濫注意情報)を伝達 ○避難所の開設 ○避難準備・高齢者等避難開始を発令 ◇大雨特別警報(緊急速報メール) ◇暴風警報	○隣町への避難の開始を判断 ○携帯メール等で避難準備情報の受信 ○移動に時間のかかる人は、市内の指定避難所への避難の開始を判断 ○隣町への避難完了 ○市内の高台への避難の開始を判断	⑥ 避難する場所が近い場合は、早めに避難行動を開始することも考えましょう。 ⑦ 移動中も市からの情報を常に収集しましょう。防災無線や広報車などで情報は提供されています。	近所に声掛け相談 避難先にいる子供に連絡 ※家具、家電を2階に移動させる TV、ネット情報 初めの2階へ入る
-5h	避難判断水位到達 洪水予報(はん濫警戒情報)発表 ○避難勧告又は避難指示(緊急)を発令	○川の水位をインターネットで確認 ○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで避難勧告、避難指示を受信 ○市内の指定避難所への避難を判断	⑧ 避難が完了しても、情報は収集するようにしましょう。	※風呂に水を入れる
-3h	はん濫危険水位到達 洪水予報(はん濫危険情報)発表 緊急速報メール(河川氾濫のおそれがある情報)	○川の水位をインターネットで確認 ○市内の高台への避難を完了 ○市内の指定避難所への避難を完了 ○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで緊急速報メールを受信 ○自宅内の浸水が想定されない場所で身の安全を確保	⑨ 必要なものを確認しましょう。また、最初に戻って作成したマイ・タイムラインを確認しましょう。	TV、ネット ※車に荷物と載せる はん濫の様子 ホットメール 近所に声掛け(避難と判断) ※ドレーカー、ガスボンベ、戸締まり、シャッター ※避難を開始 ※避難を完了(又は市) 2hマロ!! →子供の家
0h	氾濫が発生 洪水予報(はん濫発生情報) 緊急速報メール(氾濫が発生した情報)	○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで緊急速報メールを受信	⑩ 身の安全を確保するべき時期	TV、ネット その後の情報 近所と連絡 (※水海道中学校) (※つくば市豊里交流センター)



	行政情報	住民等(例)	作業のポイント
3日前	(黒:気象・水象情報青:下館河川事務所 緑:常総市) ○台風予報 ○台風に関する栃木県、茨城県気象情報(随時)	○テレビの天気予報を注意 ○家族全員の今後の予定を確認 ○マイ・タイムラインを確認 ○防災グッズの準備(不足があれば買い出しへ) ○1週間分の薬を病院に受け取りに行く ○家の周りに風で飛ばされないようなものはないか確認	運出する予定がある場合は、今後の気象情報に注意しましょう。場合によっては、予定のキャンセルも視野にいれて行動しましょう。 事前に準備しておきましょう。
2日前	◇大雨注意報・洪水注意報 ○台風に関する今後の見通し	○テレビ、インターネット、携帯メール等で雨や川の様子に注意 ○家族全員の今後の予定を再確認 ○携帯電話の充電	風で飛ばされそうな物、自転車、農機具の片づけ、ビニールハウスの内検などは早めておきましょう。
1日前	◇大雨警報・洪水警報 上流域(日光等)での大雨特別警報		
半日前	水防団待機水位到達 はん注意水位到達 洪水予報(はん注意情報・発表)	○ハザードマップで避難場所、避難手段を確認 ○隣の親戚の家に家族みんなで避難することを電話 ○携帯電話の充電 ○川の水位をインターネットで確認 ○通行止め情報がないかインターネットで確認 ○隣町への避難の開始を判断	移動中に情報を収集できるように、携帯電話等の充電をしておきましょう。 避難を開始する前に、交通情報や渋滞情報、地域の浸水情報などを収集しましょう。 避難する場所が違い場合は、早めに避難行動を開始することも考えましょう。
	○要交通者施設に洪水予報(はん注意情報)を伝達 ○避難所の開設 ○避難準備・高齢者等避難開始を発令	○川の水位をインターネットで確認 ○通行止め情報がないかインターネットで確認 ○隣町への避難の開始を判断 ○携帯メール等で避難準備情報の受信 ○移動に時間のかかる人は、市内の指定避難所への避難の開始を判断 ○隣町への避難完了 ○市内の高台への避難の開始を判断	避難する場所が違い場合は、早めに避難行動を開始することも考えましょう。 移動中も仕方の情報を常に収集しましょう。防災行政無線や広報車などでも情報は提供されています。
	◇大雨特別警報(緊急速報メール) ◇暴風警報		
-5h	避難判断水位到達 洪水予報(はん注意情報・発表)	○川の水位をインターネットで確認 ○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで避難勧告、避難指示を受信 ○市内の指定避難所への避難を判断	避難が完了しても、情報は収集するようにしましょう。
	○避難勧告又は避難指示(緊急)を発令		
-3h	はん緊急危険水位到達 洪水予報(はん緊急危険情報・発表) 緊急速報メール(河川氾濫のおそれがある情報)	○川の水位をインターネットで確認 ○市内の高台への避難を完了 ○市内の指定避難所への避難を完了 ○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで緊急速報メールを受信 ○自宅内の浸水が想定されない場所で身の安全を確保	必要なものを確認しましょう。また、最初に作成したマイ・タイムラインを確認しましょう。
0h	氾濫が発生 洪水予報(はん発生情報) 緊急速報メール(氾濫が発生した情報)	○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで緊急速報メールを受信	

雨風が強くなる前に行うべき事項を予定しておく時期

水位等の状況を確認して避難に要する時間に応じて避難行動を開始する時期

身の安全を確保すべき時期

7/1

交流のA-

有電

避難カイン

避難カイン

	行政情報 (県:気象・水害情報 市:下館河川事務所 県:常総市)	住民等(例)	作成のポイント
3日前	○台風予報 ○台風に関する栃木県、茨城県気象情報(随時)	○テレビの天気予報を注意 ○家族全員の今後の予定を確認 ○マイ・タイムラインを確認 ○防災グッズの準備(不足があれば買い直しへ) ○1週間分の薬を病院に受け取りに行く ○家の周りに風で飛ばされないようなものはないか確認	○適出をする予定がある場合は、今後の気象情報に注意しましょう。場合によっては、予定のキャンセルも視野にいれて行動しましょう。 ○事前に準備しておきましょう。
2日前	○大雨注意報・洪水注意報 ○台風に関する今後の見通し	○テレビ、インターネット、携帯メール等で雨や川の様子に注意 ○家族全員の今後の予定を再確認 ○携帯電話の充電	○風で飛ばされそうな植木鉢、自転車、農機具の片づけ、ビニールハウスの高株などはすませておきましょう。
1日前	○大雨警報・洪水警報 上流域(日光等)での大雨特別警報	○ハザードマップで避難場所、避難手段を確認 ○隣町の親戚の家に家族みんなで避難することを電話 ○携帯電話の充電 ○川の水位をインターネットで確認 ○通行止め情報がないかインターネットで確認 ○隣町への避難の開始を判断	○移動中に情報を収集できるように、携帯電話等の充電をしておきましょう。 ○避難を開始する前に、交通情報や渋滞情報、地域の浸水情報などを収集しましょう。 ○避難する場所が遠い場合は、早めに避難行動を開始することも考えましょう。
半日前	水防団待機水位到達 はん濫注意水位到達 洪水予報(はん濫注意情報)発表 ○県支援要請時に洪水予報(はん濫注意情報)を伝達 ○避難所の開設 ○避難準備・高齢者等避難開始を発令 ○大雨特別警報(緊急速報メール) ○暴風警報	○移動中に市からの情報を常に収集しましょう。防災行政無線や広報車などでも情報は提供されています。 ○隣町への避難完了 ○市内の高台への避難の開始を判断	○避難が完了しても、情報は収集するようにしましょう。
-5h	避難判断水位到達 洪水予報(はん濫警戒情報)発表 ○避難勧告又は避難指示(緊急)を発令	○川の水位をインターネットで確認 ○テレビで洪水予報の確認 ○携帯電話で避難勧告、避難指示を受信 ○市内の指定避難所への避難を判断	○避難が完了しても、情報は収集するようにしましょう。
-3h	はん濫危険水位到達 洪水予報(はん濫危険情報)発表 緊急速報メール(河川氾濫のおそれがある情報)	○川の水位をインターネットで確認 ○市内の高台への避難を完了 ○市内の指定避難所への避難を完了 ○テレビで洪水予報の確認 ○携帯電話で緊急速報メールを受信 ○自宅内の浸水が想定されない場所で身の安全を確保	○必要なものを確認しましょう。また、最初に戻って作成したマイ・タイムラインを確認しましょう。
0h	氾濫が発生 洪水予報(はん濫発生情報) 緊急速報メール(氾濫が発生した情報)	○テレビで洪水予報の確認 ○携帯電話で緊急速報メールを受信	

雨量が多くなる前に行うべき準備をすませておく時期

水位等の状況を確認し、避難に関する時間に応じて避難行動を開始する時期

身の安全を確保すべき時期

テレビ 天気予報の確認
法穂

家族への連絡
防災用 スマホの中確認
ラジオ 充電
水 1.5リットル 風呂 1.5リットル 洗面
セリ浴ス 水 1.5リットル 洗面
おつめ
モバイル 時々交換
サイフ(現金)(カード)
保険証、くすり、貴重品
非常用持ち物 着替 30分

19日 電話の充電
カッリン 浴タン
水位の確認 19日
スマホ メール 安全確認する
区長 区長に避難場所取り

猫 ペット 工、水、TV
息子、親に連絡

避難開始
避難開始 5時前
電気のブレーカーを切る

常総市役所の
電話 0297-23-2111

息子: [REDACTED]

	行政情報 (黒: 気象・水害情報 青: 下館河川事務所 緑: 常総市)	住民等(例)	作成のポイント	住民
3日前	○台風予報 ○台風に関する新水害、茨城県気象情報(随時)	○テレビの天気予報を注意 ○家族全員の今後の予定を確認 ○マイ・タイムラインを確認 ○防災グッズの準備(不足があれば買い出しへ) ○1週間分の薬を病院に受け取りに行く	運出を予定する予定がある場合は、今後の気象情報に注意しましょう。都合によっては、予定のキャンセルも視野にいれて行動しましょう。 事前に準備しておきましょう。	住民 (3日前) (例) 日用品(グッズ)の買い出し ・天気予報を注意する ・家族と相談(今後の予定) ・家族(例)の荷物を整理(重し)の準備 ・持ち出しの状況確認 ・(例)でなくネット
2日前	◇大雨注意報・洪水注意報 ○台風に関する今後の見通し	○家の周りに風で飛ばされやすいようなものはないか確認 ○テレビ、インターネット、携帯メール等で雨や川の様子に注意 ○家族全員の今後の予定を再確認	風とばされそうな植木鉢、自転車、農機具の片づけ、ビニールハウスの点検などは早めておきましょう。	(2日前) 米の補充 ・貴重品の確認(持ち出しの準備)
1日前	◇大雨警報・洪水警報	○携帯電話の充電		(1日前) ・1階の荷物を2階へ ・手洗いや ・衣類等(2階分)を準備→車へ ・食料、水を準備→車へ ・親せきへ依頼する
半日前	上流域(日光等)での大雨特別警報 水防団待機水位到達 はん濫注意水位到達 洪水予報(はん濫注意情報)発表	○ハザードマップで避難場所、避難手段を確認 ○隣町の親戚の家に家族みんなで避難することを電話 ○携帯電話の充電 ○川の水位をインターネットで確認 ○通行止め情報がないかインターネットで確認	移動中に情報を収集できるように、携帯電話等の充電をしておきましょう。 避難を開始する前に、交通情報や渋滞情報、道路の浸水情報などを収集しましょう。 避難する場所が遠い場合は、早めに避難行動を開始することをおすすめします。	(午前) ・現場から帰宅 ・ケータイ充電 ・予備の食料 ・パソコン LAN. を車へ持ち出し ・近所への声かけ (避難の可否? どこに行く?) → 親戚へ報告 (避難の可否?)
	○緊急速報施設に洪水予報(はん濫注意情報)を伝達 ○避難所の開設	○隣町への避難の開始を判断 ○携帯メール等で避難準備情報の受信 ○移動に時間がかかる人は、市内の指定避難所への避難の開始を判断		
	○大雨特別警報(緊急速報メール) ○暴風警報	○隣町への避難完了 ○市内の高台への避難の開始を判断		
-5h	避難判断水位到達 洪水予報(はん濫警戒情報)発表	○川の水位をインターネットで確認 ○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで避難勧告、避難指示を受信 ○市内の指定避難所への避難を判断	避難が完了しても、情報は収集するようにしましょう。	(避難開始) 親せきへ依頼 家族に避難する準備 避難開始(4時間前) ・着るもの(ケータイ)を準備、荷物 (お金、鍵、小物) (避難経路) (免許証) ・ブレーカーおとし ・片付け
	○避難勧告又は避難指示(緊急)を発令			
-3h	はん濫危険水位到達 洪水予報(はん濫危険情報)発表 緊急速報メール(河川氾濫のおそれがある情報)	○川の水位をインターネットで確認 ○市内の高台への避難を完了 ○市内の指定避難所への避難を完了 ○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで緊急速報メールを受信	必要なものを確認しましょう。また、避難に際して作成したマイ・タイムラインを確認しましょう。	水害市の親せきへ到着 (4時間前) ・緊急速報確認 ・現場への片付け ・帰宅方法の確認 ・持ち出し品(例)の状況確認 (例)でなくネット
0h	氾濫が発生 洪水予報(はん濫発生情報) 緊急速報メール(氾濫が発生した情報)	○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで緊急速報メールを受信		

雨量が強くなる前に行動する準備を早めておく時期

水位等の状況を確認して避難に要する時間に応じて避難行動を開始する時期

身の安全を確保すべき時期

	住民等(例)	作成のポイント	
3日前	<p>行政情報 (県:気象・水害情報 青:下館河川事務所 緑:常総市)</p> <p>○台風予報</p> <p>○台風に関する栃木県、茨城県気象情報(随時)</p>	<p>○テレビの天気予報を注意</p> <p>○家族全員の今後の予定を確認</p> <p>○マイ・タイムラインを確認</p> <p>○防災グッズの準備(不足があれば買い出しへ)</p> <p>○1週間分の薬を病院に受け取りに行く</p> <p>○家の周りに風で飛ばされないようなものはないか確認</p> <p>○テレビ、インターネット、携帯メール等で雨や川の様子に注意</p> <p>○家族全員の今後の予定を再確認</p> <p>○携帯電話の充電</p>	<p>○事前に準備しておきましょう。</p> <p>○風とばさげそうな樹木鉢、自転車、農機具の片づけ、ビニールハウスの点検などは早めておきましょう。</p>
2日前	<p>◇大雨注意報・洪水注意報</p> <p>○台風に関する今後の見通し</p>	<p>○ハザードマップで避難場所、避難手段を確認</p> <p>○隣の親戚の家に家族みんなで避難することを電話</p> <p>○携帯電話の充電</p> <p>○川の水位をインターネットで確認</p> <p>○通行止め情報がないかインターネットで確認</p> <p>○隣の町への避難の開始を判断</p> <p>○携帯メール等で避難準備情報の受信</p> <p>○移動に時間のかかる人は、市内の指定避難所への避難の開始を判断</p>	<p>○雨風が強くなる前に行うべき事項をすまじでおく時期</p> <p>○移動中に情報を収集できるように、携帯電話等の充電をしておきましょう。</p> <p>○避難を開始する前に、交通情報や渋滞情報、地域の浸水情報などを収集しましょう。</p> <p>○避難する場所が近い場合は、早めに避難行動を開始すること考えましょう。</p> <p>○移動中も市からの情報を常に収集しましょう。防災行政無線や広報車などでも情報は提供されています。</p>
1日前	<p>◇大雨警報・洪水警報</p> <p>上流域(日光等)での大雨特別警報</p>	<p>○避難所の開設</p> <p>○避難準備情報を発令</p> <p>◇大雨特別警報(緊急避難メール)</p> <p>◇暴風警報</p>	<p>○避難する場所が近い場合は、早めに避難行動を開始すること考えましょう。</p> <p>○避難が完了しても、情報は収集するようにしましょう。</p>
半日前	<p>水防団待機水位到達</p> <p>はん濫注意水位到達</p> <p>洪水予報(はん濫注意情報)発表</p> <p>○要支援者施設に洪水予報(はん濫注意情報)を伝達</p>	<p>○川の水位をインターネットで確認</p> <p>○テレビで洪水予報の確認</p> <p>○携帯メールで避難勧告、避難指示を受信</p> <p>○市内の指定避難所への避難を判断</p>	<p>○避難が完了しても、情報は収集するようにしましょう。</p>
-5h	<p>避難判断水位到達</p> <p>洪水予報(はん濫警戒情報)発表</p> <p>○避難勧告又は避難指示を発令</p>	<p>○川の水位をインターネットで確認</p> <p>○市内の高台への避難を完了</p> <p>○市内の指定避難所への避難を完了</p> <p>○テレビで洪水予報の確認</p> <p>○携帯メールで緊急通報メールを受信</p> <p>○自宅内の浸水が想定されない場所で身の安全を確保</p>	<p>○避難が完了しても、情報は収集するようにしましょう。</p> <p>○必要なものを確認しましょう。また、最初に戻って作成したマイ・タイムラインを確認しましょう。</p>
-3h	<p>はん濫危険水位到達</p> <p>洪水予報(はん濫危険情報)発表</p> <p>緊急通報メール(河川氾濫のおそれがある情報)</p>	<p>○避難勧告又は避難指示を発令</p>	<p>○必要なものを確認しましょう。また、最初に戻って作成したマイ・タイムラインを確認しましょう。</p>
0h	<p>氾濫が発生</p> <p>洪水予報(はん濫発生情報)</p> <p>緊急通報メール(氾濫が発生した情報)</p>	<p>○テレビで洪水予報の確認</p> <p>○携帯メールで緊急通報メールを受信</p>	<p>○身の安全を確保すべき時期</p>

事前の準備(準備品)

- テレビや地震などのショートメールの確認
- 家にいる人が持ち出し準備
- 会社や学校に連絡
- ガス、風呂家の周りに風かとはひの確認
- 携帯電話の充電
- 保険証や薬手帳

○ 家族に要請がわかる。

○ 川の水位をテレビで洪水予報の確認

○ 携帯メールでも確認(携帯の充電)

○ 近所の方へ声かける。

○ マシンの確認

→ 4時前移動開始(豊里)

○ 必要なものを確認

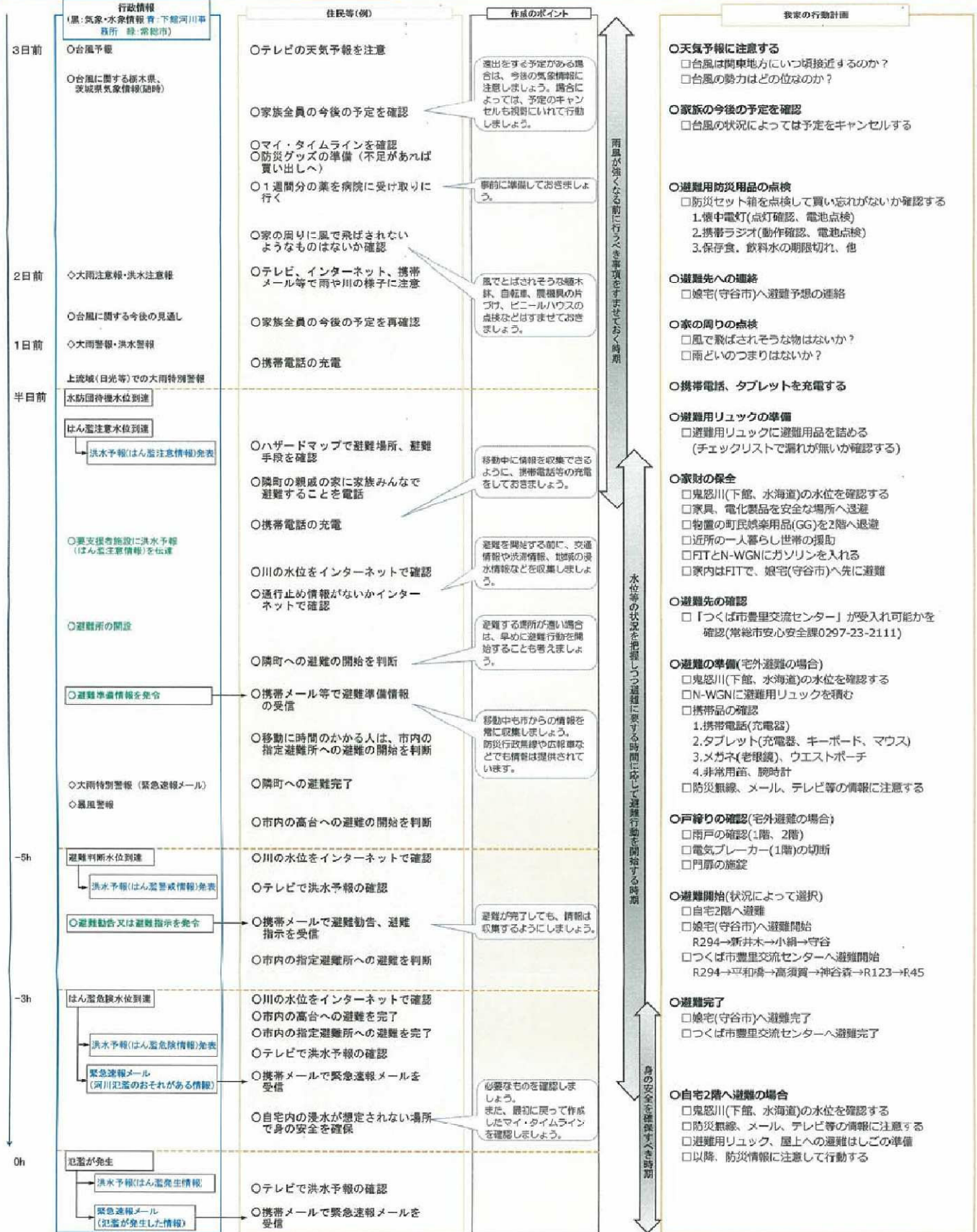
→ 移動(自家用車)3時~4時 (3時前に準備)

→ 避難完了(つくば市豊里)防災センター

	行政情報 (黒:気象・水害情報青:下流河川事務所 緑:常総市)	住民等(例)	作風のポイント
3日前	○台風予報 ○台風に関する洪水害、茨城県気象情報(随時)	○テレビの天気予報を注意 ○家族全員の今後の予定を確認 ○マイ・タイムラインを確認 ○防災グッズの準備(不足があれば買い出しへ) ○1週間分の薬を病院に受け取りに行く ○家の周りに風で飛ばされないようなものはないか確認	○外出を予定する場合は、今後の気象情報に注意しましょう。退避によっては、予定のキャンセルも視野にいれて行動しましょう。 ○事前に準備しておきましょう。
2日前	◇大雨注意報・洪水注意報 ○台風に関する今後の見通し	○テレビ、インターネット、携帯メール等で雨や川の様子に注意 ○家族全員の今後の予定を再確認	○風で飛ばされそうな植木鉢、自転車、農機具の片づけ、ビニールハウスの高株などはまとめておきましょう。
1日前	◇大雨警報・洪水警報 上流域(日光等)での大雨特別警報	○携帯電話の充電	
半日前	水防団待機水位到達 はん濫注意水位到達 洪水予報(はん濫注意情報)発表 ○要配慮施設に洪水予報(はん濫注意情報)を伝達 ○避難所の開設 ○避難準備・高齢者等避難開始を発令 ◇大雨特別警報(緊急通報メール) ◇暴風警報	○ハザードマップで避難場所、避難手段を確認 ○隣町の親戚の家に家族みんなで避難することを電話 ○携帯電話の充電 ○川の水位をインターネットで確認 ○通行止め情報がないかインターネットで確認 ○隣町への避難の開始を判断 ○携帯メール等で避難準備情報の受信 ○移動に時間のかかる人は、市内の指定避難所への避難の開始を判断 ○隣町への避難完了 ○市内の高台への避難の開始を判断	○移動中に情報を収集できるように、携帯電話等の充電をしておきましょう。 ○避難を開始する前に、交通情報や渋滞情報、地域の浸水情報などを収集しましょう。 ○避難する場所が遠い場合は、早めに避難行動を開始することをお考えましょう。 ○移動中も市からの情報を常に収集しましょう。防災行政無線や広聴車などでも情報は提供されています。
-5h	避難判断水位到達 洪水予報(はん濫警戒情報)発表 ○避難勧告又は避難指示(緊急)を発令	○川の水位をインターネットで確認 ○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで避難勧告、避難指示を受信 ○市内の指定避難所への避難を判断	○避難が完了しても、情報は収集するようにしましょう。
-3h	はん濫危険水位到達 洪水予報(はん濫危険情報)発表 緊急通報メール(河川氾濫のおそれがある情報)	○川の水位をインターネットで確認 ○市内の高台への避難を完了 ○市内の指定避難所への避難を完了 ○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで緊急通報メールを受信 ○自宅内の浸水が想定されない場所で身の安全を確保	○必要なものを確認しましょう。また、最初に戻って作成したマイ・タイムラインを確認しましょう。
0h	氾濫が発生 洪水予報(はん濫発生情報) 緊急通報メール(氾濫が発生した情報)	○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで緊急通報メールを受信	

荷物はまとめておいておく

鬼子にカッパを、
くし、とらふく、
100円電、食糧、お金、
近所の人に行き場所を
大海道中張りに開始
↓
完了 保健室



	行政情報 (県:気象・水害情報;下館河川事務所;常総市)	住民等(例)	作成のポイント
3日前	○台風予報 ○台風に関する栃木県、茨城県気象情報(随時)	○テレビの天気予報を注意 ○家族全員の今後の予定を確認 ○マイ・タイムラインを確認 ○防災グッズの準備(不足があれば買い直しへ) ○1週間分の薬を病院に受け取りに行く ○家の周りに風で飛ばされないようなものはないか確認	適応する予定がある場合は、今後の気象情報に注意しよう。都合によっては、予定のキャンセルも視野にいれて行動しよう。 事前に準備しておきましょう。
2日前	○大雨注意報・洪水注意報 ○台風に関する今後の見通し	○テレビ、インターネット、携帯メール等で雨や川のの様子に注意 ○家族全員の今後の予定を再確認	風で飛ばされそうな植木鉢、自転車、農機具の片づけ、ビニールハウスの高株などはすませておきましょう。
1日前	○大雨警報・洪水警報 上流域(日光等)での大雨特別警報	○携帯電話の充電	
半日前	水防団特報水位到達 はん濫注意水位到達 →洪水予報(はん濫注意情報)発表 ○東支庁警報に洪水予報(はん濫注意情報)を伝達 ○避難所の開設 ○避難準備・高齢者等避難開始を発令 ◇大雨特別警報(緊急速報メール) ◇暴風警報	○ハザードマップで避難場所、避難手段を確認 ○隣町の親戚の家に家族みんなで避難することを電話 ○携帯電話の充電 ○川の水位をインターネットで確認 ○通行止め情報がないかインターネットで確認 ○隣町への避難の開始を判断 ○携帯メール等で避難準備情報の受信 ○移動に時間のかかる人は、市内の指定避難所への避難の開始を判断 ○隣町への避難完了 ○市内の高台への避難の開始を判断	移動中に情報を収集できるように、携帯電話等の充電をしておきましょう。 避難を開始する前に、交通情報や渋滞情報、地域の浸水情報などを収集しましょう。 避難する場所が遠い場合は、早めに避難行動を開始することも考えましょう。 移動中も市からの情報を常に収集しましょう。防災行政無線や広報車などでも情報は提供されます。
-5h	避難判断水位到達 →洪水予報(はん濫警戒情報)発表 ○避難勧告又は避難指示(緊急)を発令	○川の水位をインターネットで確認 ○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで避難勧告、避難指示を受信 ○市内の指定避難所への避難を判断	避難が完了しても、情報は収集するようにしましょう。
-3h	はん濫危険水位到達 →洪水予報(はん濫危険情報)発表 →緊急速報メール(河川氾濫のおそれがある情報)	○川の水位をインターネットで確認 ○市内の高台への避難を完了 ○市内の指定避難所への避難を完了 ○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで緊急速報メールを受信 ○自宅内の浸水が想定されない場所で身の安全を確保	必要なものを確認しましょう。また、最初に戻って作成したマイ・タイムラインを確認しましょう。
0h	氾濫が発生 →洪水予報(はん濫発生情報) →緊急速報メール(氾濫が発生した情報)	○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで緊急速報メールを受信	

自宅→取手(妹夫婦)避難
(母と2人で避難)

- TV、携帯の情報で情報確認。
- 家族の職場への連絡
(ガソリンセンター:
船波、行かセンター:
妹携帯:
母携帯:
○ [] (親):
- 車のガソリンを入れておく。
- 川の水位チェック、防災メールチェック
- 妹に避難する事を連絡する。
- TVなど、高台にとりあえずの家科を2Fへあげる。
- 近所に避難する事を伝える。
([] さん:
- 携帯充電。
- 川の水位や交通情報の確認。

↓

○TV、携帯情報の確認。

↓

○車を自宅にもって来て、荷物を詰めこむ。
ナビ起動させ、取手に設定(事前に)

○4時間前 避難開始
(戸じり、カスの元せん、ブレーカーをおとす。
充電器、お茶、コック外液ももち出す。
飯具

○3時間前 避難完了

○TV、インターネット、携帯情報の確認。
([] 避難が完了した事を伝える)

雨風が多くなる前に行うべき準備をすませておく時期

水位等の状況を確認し、避難に関する時間に応じて避難行動を開始する時期

身の安全を確保すべき時期

	行政情報	住民等(例)	作業のポイント
3日前	(黒:気象・水象情報 青:下館河川事務所 緑:常総市) ○台風予報 ○台風に関する栃木県、茨城県気象情報(随時)	○テレビの天気予報を注意 ○家族全員の今後の予定を確認 ○マイ・タイムラインを確認 ○防災グッズの準備(不足があれば買い出しへ) ○1週間分の薬を病院に受け取りに行く ○家の周りに風で飛ばされないようなものはないか確認	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
2日前	◇大雨注意報・洪水注意報 ○台風に関する今後の見通し	○テレビ、インターネット、携帯メール等で雨や川の様子に注意 ○家族全員の今後の予定を再確認 ○携帯電話の充電	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
1日前	◇大雨警報・洪水警報 上流域(日光等)での大雨特別警報	○ハザードマップで避難場所、避難手段を確認 ○隣町の親戚の家に家族みんなで避難することを電話 ○携帯電話の充電 ○川の水位をインターネットで確認 ○通行止め情報がないかインターネットで確認 ○隣町への避難の開始を判断 ○携帯メール等で避難準備情報の受信 ○移動に時間のかかる人は、市内の指定避難所への避難の開始を判断 ○隣町への避難完了 ○市内の高台への避難の開始を判断	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
半日前	水防団待機水位到達 はん注意水位到達 洪水予報(はん注意情報)発表 ○要支援者施設に洪水予報(はん注意情報)を伝達 ○避難所の開設 ○避難準備・高齢者等避難開始を発令 ◇大雨特別警報(緊急速報メール) ◇暴風警報	○川の水位をインターネットで確認 ○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで避難勧告、避難指示を受信 ○市内の指定避難所への避難を判断 ○川の水位をインターネットで確認 ○市内の高台への避難を完了 ○市内の指定避難所への避難を完了 ○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで緊急速報メールを受信 ○自宅内の浸水が想定されない場所で身の安全を確保	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
-5h	避難判断水位到達 洪水予報(はん注意情報)発表 ○避難勧告又は避難指示(緊急)を発令	○川の水位をインターネットで確認 ○市内の高台への避難を完了 ○市内の指定避難所への避難を完了 ○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで緊急速報メールを受信	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
-3h	はん注意危険水位到達 洪水予報(はん注意情報)発表 緊急速報メール(河川氾濫のおそれがある情報)	○川の水位をインターネットで確認 ○市内の高台への避難を完了 ○市内の指定避難所への避難を完了 ○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで緊急速報メールを受信	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
0h	氾濫が発生 洪水予報(はん注意情報) 緊急速報メール(氾濫が発生した情報)	○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで緊急速報メールを受信	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

天気予報に注意

避難グッズの確認

避難グッズ ぐすり、乾菓、

車と実家に持って行く
避難用に一台置いておく
ポリタンクに水と炭酸水、
家具を二階に移す
ガソリンを入れこく
貴重品と忘れずに持って行く
(通帳カードなど)

家のまわりを確認
植木、ほろなど流されど
クマ物に高い所に、

(卓上コンロ、ガスボンベ)
食品水、火のえきと確保する
犬と子供は二階に避難予定
4時間前に移動
ガス、電気など元栓を止める

避難完了 つば市
(市民ホールとよさと)
(ホットメール)を確認する
テレビ

	行政情報	住民等(例)	作成のポイント
3日前	(黒:気象・水象情報青:下館河川事務所 緑:常総市) ○台風予報 ○台風に関する栃木県、茨城県気象情報(随時)	○テレビの天気予報を注意 ○家族全員今後の予定を確認 ○マイ・タイムラインを確認 ○防災グッズの準備(不足があれば買い出しへ) ○1週間分の薬を病院に受け取りに行く ○家の周りに風で飛ばされないようなものはないか確認	作成のポイント 遠出をする予定がある場合は、今後の気象情報に注意しましょう。場合によっては、予定のキャンセルも視野にいれて行動しましょう。 事前に準備しておきましょう。
2日前	◇大雨注意報・洪水注意報 ○台風に関する今後の見通し	○テレビ、インターネット、携帯メール等で雨や川の様子に注意 ○家族全員今後の予定を再確認	風で飛ばされそうな物木鉢、自転車、農機具の片づけ、ビニールハウスの点検などは済ませておきましょう。
1日前	◇大雨警報・洪水警報 上流域(日光等)での大雨特別警報	○携帯電話の充電	
半日前	水防団待機水位到達 はん濇注意水位到達 洪水予報(はん濇注意情報)発表 ○要支援者除除に洪水予報(はん濇注意情報)を伝達 ○避難所の開設 ○避難準備情報を発令 ◇大雨特別警報(緊急速報メール) ◇暴風警報	○ハザードマップで避難場所、避難手段を確認 ○隣町の親戚の家に家族みんなで避難することを電話 ○携帯電話の充電 ○川の水位をインターネットで確認 ○通行止め情報がないかインターネットで確認 ○隣町への避難の開始を判断 ○携帯メール等で避難準備情報の受信 ○移動に時間のかかる人は、市内の指定避難所への避難の開始を判断 ○隣町への避難完了 ○市内の高台への避難の開始を判断	移動中に情報を収集できるように、携帯電話等の充電をしておきましょう。 避難を開始する前に、交通情報や渋滞情報、地域の浸水情報などを収集しましょう。 避難する場所が遠い場合は、早めに避難行動を開始することも考えましょう。 移動中も市からの情報を常に収集しましょう。防災行政無線や広報車などでも情報が提供されています。
-5h	避難判断水位到達 洪水予報(はん濇警戒情報)発表 ○避難勧告又は避難指示を発令	○川の水位をインターネットで確認 ○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで避難勧告、避難指示を受信 ○市内の指定避難所への避難を判断	避難が完了しても、情報は収集するようにしましょう。
-3h	はん濇危険水位到達 洪水予報(はん濇危険情報)発表 緊急速報メール(河川氾濫のおそれがある情報)	○川の水位をインターネットで確認 ○市内の高台への避難を完了 ○市内の指定避難所への避難を完了 ○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで緊急速報メールを受信 ○自宅内の浸水が想定されない場所で身の安全を確保	必要なものを確認しましょう。また、避難に戻って作成したマイ・タイムラインを確認しましょう。
0h	氾濫が発生 洪水予報(はん濇発生情報) 緊急速報メール(氾濫が発生した情報)	○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで緊急速報メールを受信	

両風が強くなる前に「行」へ必要な準備を済ませておく時期
 水位等の状況を確認して「逃」を始める時期
 身の安全を確保する時期

テレビ等の天気予報も見ている。
 インジナル放送で水位を確認する
 上流の水位を確認する(日光方面)
 町内のメール確認する

持ち出し袋のチェックをしておく。
 避難の準備は、確認する。

二色川の声かけ。

家族に連絡する
 交通手段を調べた
 持ち出し物の準備
 2階に物を運んでおく(家族道具)

戸締り、ブレーカー、ガスの元栓を止める。
 避難開始

つくばみず市の避難所は、避難所

常総市 狼野川 地区 家 鬼怒川マイ・タイムライン

作成年月日 21年2月20日

	行政情報	住民等(例)	作業のポイント	
3日前	(黒) 気象・水害情報 青: 下館河川事務所 緑: 常総市 ○台風予報 ○台風に関する栃木県、茨城県気象情報(随時)	○テレビの天気予報を注意 ○家族全員の今後の予定を確認 ○マイ・タイムラインを確認 ○防災グッズの準備(不足があれば買い出しへ) ○1週間分の薬を病院に受け取りに行く ○家の周りに風で飛ばされやすいものはないか確認	① 退出する予定がある場合は、今後の気象情報に注意しましょう。場合によっては、予定のキャンセルも視野にいれて行動しましょう。 ② 事前に準備しておきましょう。 ③ 風とはばされそうな植木鉢、自転車、農機具の片づけ、ビニールハウスの点検などはすべておきましょう。	<p>雨風が強くなる前に行うべき事項をすべておぼろげ</p> <p>水台等の状況を確認しつつ避難に要する時間と念じて避難行動を開始する時期</p> <p>身の安全を確保すべき時期</p>
2日前	◇大雨注意報・洪水注意報 ○台風に関する今後の見通し	○テレビ、インターネット、携帯メール等で雨や川のの様子に注意 ○家族全員の今後の予定を再確認 ○携帯電話の充電	④ 移動中に情報を収集できるように、携帯電話等の充電をしておきましょう。 ⑤ 避難を開始する前に、交通情報や道路情報、地域の浸水情報などを収集しましょう。 ⑥ 避難する場所が違い場合は、早めに避難行動を開始すること考えましょう。	
1日前	◇大雨警報・洪水警報 上流域(日光等)での大雨特別警報	○ハザードマップで避難場所、避難手段を確認 ○隣の親戚の家に家族みんなで避難することを電話 ○携帯電話の充電 ○川の水位をインターネットで確認 ○通行止め情報がないかインターネットで確認 ○隣町への避難の開始を判断	⑦ 移動中も市からの情報を常に収集しましょう。防災行政無線や広報車などでも情報は提供されています。 ⑧ 避難が完了しても、情報は収集するようにしましょう。	
半日前	水防団待機水位到達 はん注意水位到達 洪水予報(はん注意情報)発表 ○要支援者施設に洪水予報(はん注意情報)を伝達 ○避難所の開設 ○避難準備・高齢者等避難開始を発令 ◇大雨特別警報(緊急連絡メール) ◇暴風警報	○川の水位をインターネットで確認 ○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで避難勧告、避難指示を受信 ○市内の指定避難所への避難を判断 ○川の水位をインターネットで確認 ○市内の高台への避難を完了 ○市内の指定避難所への避難を完了 ○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで緊急連絡メールを受信 ○自宅内の浸水が想定されない場所で身の安全を確保	⑨ 必要なものを確認しましょう。また、最終に戻って作成したマイ・タイムラインを確認しましょう。	
-5h	避難判断水位到達 洪水予報(はん注意情報)発表 ○避難勧告又は避難指示(緊急)を発令	○川の水位をインターネットで確認 ○市内の高台への避難を完了 ○市内の指定避難所への避難を完了 ○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで緊急連絡メールを受信	○必要ものを確認しましょう。また、最終に戻って作成したマイ・タイムラインを確認しましょう。	
-3h	はん注意危険水位到達 洪水予報(はん注意情報)発表 緊急連絡メール(河川氾濫のおそれがある情報)	○川の水位をインターネットで確認 ○市内の高台への避難を完了 ○市内の指定避難所への避難を完了 ○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで緊急連絡メールを受信	○必要ものを確認しましょう。また、最終に戻って作成したマイ・タイムラインを確認しましょう。	
0h	氾濫が発生 洪水予報(はん注意情報) 緊急連絡メール(氾濫が発生した情報)	○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで緊急連絡メールを受信		

・保存食の確保(5日以内分)
 水、ポリアラメン、携帯トイレ、パットフード
 ・家の周りの廃棄物の回収
 ・■■■■ 氏と連絡して道路の確保
 (お米は2週間) → 避難時!!

・通院中の薬の残量の確認(2週間以上あれば早稲)
 手も
 ・各車両(3台)ガソリンの補充

家具を階上へ移動(TV、電気類)
 ・1階の押入れの整理
 ・ポリテント(1台) M45ト
 ・食料品、木も芯出しに
 ・非常用木1台(移動車、階段)

・知人宅 ■■■■
 (避難車両降し) 2台分
 ・持ち出し用品の確保
 (保険証、お薬手帳、免許証等)
 ・用意した下着を2台に
 (移動車両1台で)

・持ち出し用芯出しに 市電路も
 ・食料(おにぎり)、水、用度品
 ・手帳、用心、雨具も準備
 ・用意した下着を2台に
 (移動車両1台で)

避難完了後、市長、区長へ連絡
 (連絡先、場所)

道路情報の確認は、※日中に移動できる時間設定する。

常総市 地区 家 鬼怒川マイ・タイムライン 作成年月日 2018年 2月 19日

	行政情報 (県: 気象・水害情報 市: 下館河川事務所 区: 常総市)	住民等(例)	作成のポイント	
3日前	○台風予報 ○台風に関する届出等。 茨城県気象情報(随時)	○テレビの天気予報を注意 ○家族全員の今後の予定を確認 ○マイ・タイムラインを確認 ○防災グッズの準備(不足があれば買い出しへ) ○1週間分の薬を病院に受け取りに行く ○家の周りに風で飛ばされないようなものはないか確認	○適出する予定がある場合は、今後の気象情報に注意しましょう。場合によっては、予定のキャンセルも視野にいれて行動しましょう。 ○事前に準備しておきましょう。	○天気予報を注意 ○母のマイ・タイムラインの予定確認 ○私の仕事の調整
2日前	○大雨注意報・洪水注意報 ○台風に関する今後の見通し	○テレビ、インターネット、携帯メール等で雨や川のの様子に注意 ○家族全員の今後の予定を再確認	○風で飛ばされそうな植木鉢、自転車、農機具の片づけ、ビニールハウスの支柱などははずしておきましょう。	○防災グッズ準備 ・持ちリストでチェック ○自宅周りの片付け ・電気製品等高台へ
1日前	○大雨警報・洪水警報 上流域(日光等)での大雨特別警報	○携帯電話の充電	○避難を開始する前に、交通情報や渋滞情報、地域の浸水情報などを収集しましょう。	※情報収集する
半日前	水防団特機水位到達 はん濫注意水位到達 洪水予報(はん濫注意情報)発表	○ハザードマップで避難場所、避難手段を確認 ○隣町の親戚の家に家族みんなで避難することを電話 ○携帯電話の充電 ○川の水位をインターネットで確認 ○通行止め情報がないかインターネットで確認	○移動中に情報を収集できるように、携帯電話等の充電をしておきましょう。 ○避難する場所が遠い場合は、早めに避難行動を開始することも考えましょう。	○水位確認 (日光・守邦官観測所) ※カマコリンへ行く 〈避難開始半日前の準備〉 親せきの連絡 ママとネ、ITの環境の連絡 区長・班長の連絡
	○要支援者等に洪水予報(はん濫注意情報)を伝達 ○避難所の開設	○隣町への避難の開始を判断 ○携帯メール等で避難準備情報の受信 ○移動に時間がかかる人は、市内の指定避難所への避難の開始を判断 ○隣町への避難完了 ○市内の高台への避難の開始を判断	○避難する場所が遠い場合は、早めに避難行動を開始することも考えましょう。 ○移動中も市からの情報を常に収集しましょう。防災行政無線や広報車などでも情報は提供されています。	○近隣市避難所の移動開始 (つくば市/市民ホールとよきと)
	○大雨特別警報(緊急速報メール) ○暴風警報	○避難準備・高齢者等避難開始を発令	○避難が完了しても、情報は収集するようにしましょう。	○避難完了(5時間前にITへ) 早くにITへ連絡はいい 区長・事務局との連絡。(ショートメールOK) ・親せき、ママとネの避難完了連絡
-5h	避難判断水位到達 洪水予報(はん濫警戒情報)発表	○川の水位をインターネットで確認 ○テレビで洪水予報の確認	○必要なものを確認しましょう。また、最初に戻って作成したマイ・タイムラインを確認しましょう。	
	○避難勧告又は避難指示(緊急)を発令	○携帯メールで避難勧告、避難指示を受信 ○市内の指定避難所への避難を判断		
-3h	はん濫危険水位到達 洪水予報(はん濫危険情報)発表 緊急速報メール(荒川氾濫のおそれがある情報)	○川の水位をインターネットで確認 ○市内の高台への避難を完了 ○市内の指定避難所への避難を完了 ○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで緊急速報メールを受信		○自宅から母と一緒に避難するケース
	○避難が発生	○自宅内の浸水が想定されない場所で身の安全を確保		・母だけ自宅にいる場合
0h	氾濫が発生 洪水予報(はん濫発生情報) 緊急速報メール(氾濫が発生した情報)	○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで緊急速報メールを受信		・母がマイ・タイムラインに行っている場合

雨風が強くなる前に行うべき事項をすすめておく時期

水位等の状況を把握し、避難を開始する時間に応じて避難行動を開始する時期

家族訓練で使っていく。
家族の備えも確認する

今日がスタートです。

常総市 根新田 地区 家 鬼怒川マイ・タイムライン 作成年月日 2019年 2月19日

行政情報	住民等(例)	作成のポイント
3日前 (黒:気象・水害情報 青:下館河川事務所 緑:常総市) ○台風予報 ○台風に関する洪水害、突発風気象情報(随時)	○テレビの天気予報を注意 ○家族全員の今後の予定を確認 ○マイ・タイムラインを確認 ○防災グッズの準備(不足があれば買い出しへ) ○1週間分の薬を病院に受け取りに行く ○家の周りに風で飛ばされないようなものはないか確認	① 避難準備 ② 常備品・2階にも衣類を置く ③ 何かあったら持ってきた品
2日前 ◇大雨注意報・洪水注意報 ○台風に関する今後の見通し	○テレビ、インターネット、携帯メール等で雨や川の様子に注意 ○家族全員の今後の予定を再確認 ○携帯電話の充電	④ 事前準備しておきましょう。 ⑤ 高でとばされそうな植木鉢、自転車、農機具の片づけ、ビニールハウスの崩壊などにはまけておきましょう。
1日前 ◇大雨警報・洪水警報 上流域(日光等)での大雨特別警報	○ハザードマップで避難場所、避難手段を確認 ○隣町の親戚の家に家族みんなで避難することを電話 ○携帯電話の充電 ○川の水位をインターネットで確認 ○通行止め情報がないかインターネットで確認 ○避難所の開設 ○避難準備・高齢者等避難開始を知らせる	⑥ 移動中に情報を収集できるように、携帯電話等の充電をしておきましょう。 ⑦ 避難を開始する前に、交通情報や渋滞情報、地域の浸水情報などを収集しましょう。 ⑧ 避難する場所が遠い場合は、早めに避難行動を開始することを考えましょう。
半日前 水防団待機水位到達 はん濫注意水位到達 洪水予報(はん濫注意情報)発表 今回ここは市役所に入る。 ○浸水被害施設に洪水予報(はん濫注意情報)を伝達 ○避難所の開設 ○避難準備・高齢者等避難開始を知らせる ◇大雨特別警報(緊急速報メール) ◇暴風警報	○隣町への避難の開始を判断 ○携帯メール等で避難準備情報の受信 ○移動に時間のかかる人は、市内の指定避難所への避難の開始を判断 ○隣町への避難完了 ○市内の高台への避難の開始を判断 ○川の水位をインターネットで確認 ○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで避難勧告、避難指示を受信 ○市内の指定避難所への避難を判断	⑨ 移動中も市からの情報を常に収集しましょう。防災行政無線や広報車などで情報は提供されています。 ⑩ 避難が完了しても、情報は収集するようにしましょう。
-5h 避難判断水位到達 洪水予報(はん濫警戒情報)発表 ○避難勧告又は避難指示(緊急)を知らせる 広報車	○川の水位をインターネットで確認 ○市内の高台への避難を完了 ○市内の指定避難所への避難を完了 ○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで緊急速報メールを受信 ○自宅内の浸水が想定されない場所での身の安全を確保	⑪ 必要なものを確認しましょう。また、最初に戻って作成したマイ・タイムラインを確認しましょう。
-3h はん濫危険水位到達 洪水予報(はん濫危険情報)発表 緊急速報メール(河川氾濫のおそれがある情報)	○川の水位をインターネットで確認 ○市内の高台への避難を完了 ○市内の指定避難所への避難を完了 ○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで緊急速報メールを受信 ○自宅内の浸水が想定されない場所での身の安全を確保	⑫ 必要なものを確認しましょう。また、最初に戻って作成したマイ・タイムラインを確認しましょう。
0h 氾濫が発生 洪水予報(はん濫発生情報) 緊急速報メール(氾濫が発生した情報)	○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで緊急速報メールを受信	⑬ 必要なものを確認しましょう。また、最初に戻って作成したマイ・タイムラインを確認しましょう。

7:10 水防隊が市役所に入る
7:45 (-5h)
8:45 -4h
9:45 (-3h)
(2:45) 0h

① 避難準備
② 常備品・2階にも衣類を置く
③ 何かあったら持ってきた品

危ないと思ったら明るいうちに避難する。
とにかく逃げる。

④ 交通情報がなかったら行ってみたら通行止めだと時内のロスが多くなる。

⑤ 緊急が出なかった場合は自分で川の水位を知ることが出来る。

⑥ 戸籍の確認・スレかど確認(倉庫もあつた)
⑦ 近くの親戚への避難先が4時過ぎに避難指示が発令
⑧ 近くの親戚への避難完了
⑨ ここでも発令がなかった場合は自分で川の水位を知ることが出来る。

⑩ 習慣化するとよい
⑪ 日常生活の中で
⑫ カンタンに知らせてあげる
⑬ 指針も充電する
⑭ 情報を班内で、又町内でシェアする
⑮ 信頼できる人と
⑯ 親戚との連絡を常に取る

一日前・半日前 在家状況の確認

	行政情報 (県: 気象・水害情報 青: 下館河川事務所 緑: 常総市)	住民等(例)	作業のポイント
3日前	○台風予報 ○台風に関する栃木県、茨城県気象情報(随時)	○テレビの天気予報を注意 ○家族全員の今後の予定を確認 ○マイ・タイムラインを確認 ○防災グッズの準備(不足があれば買い出しへ) ○1週間分の薬を病院に受け取りに行く ○家の周りに風で飛ばされないようなものはないか確認	○運出をする予定がある場合は、今後の気象情報に注意しましょう。適合によっては、予定のキャンセルも視野にいれて行動しましょう。 ○事前に準備しておきましょう。 ○風で飛ばされそうな種木鉢、自転車、農機具の片づけ、ビニールハウスの片検などは早めておきましょう。
2日前	◇大雨注意報・洪水注意報 ○台風に関する今後の見通し	○テレビ、インターネット、携帯メール等で雨や川の様子に注意 ○家族全員の今後の予定を再確認	
1日前	◇大雨警報・洪水警報	○携帯電話の充電	
半日前	上流域(日光等)での大雨特別警報 水防団待機水位到達 はん濫注意水位到達 洪水予報(はん濫注意情報)発表	○ハザードマップで避難場所、避難手段を確認 ○隣町の親戚の家に家族みんなで避難することを電話 ○携帯電話の充電 ○川の水位をインターネットで確認 ○通行止め情報がなければインターネットで確認 ○隣町への避難の開始を判断 ○携帯メール等で避難準備情報の受信 ○移動に時間がかかる人は、市内の指定避難所への避難の開始を判断 ○隣町への避難完了 ○市内の高台への避難の開始を判断	○移動中に情報を収集できるように、携帯電話等の充電をしておきましょう。 ○避難を判断する前に、交通情報や渋滞情報、地域の浸水情報などを収集しましょう。 ○避難する場所が遠い場合は、早めに避難行動を開始すること考えましょう。 ○移動中も作からの情報を常に収集しましょう。防災無線や広報車などでも情報は提供されています。
	○要支援者施設に洪水予報(はん濫注意情報)を伝達 ○避難所の開設 ○避難準備・高齢者等避難開始を発令 ◇大雨特別警報(緊急速報メール) ◇暴風警報		
-5h	避難判断水位到達 洪水予報(はん濫警戒情報)発表 ○避難勧告又は避難指示(緊急)を発令	○川の水位をインターネットで確認 ○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで避難勧告、避難指示を受信 ○市内の指定避難所への避難を判断	○避難が完了しても、情報は収集するようにしましょう。
-3h	はん濫危険水位到達 洪水予報(はん濫危険情報)発表 緊急速報メール(河川氾濫のおそれがある情報)	○川の水位をインターネットで確認 ○市内の高台への避難を完了 ○市内の指定避難所への避難を完了 ○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで緊急速報メールを受信 ○自宅内の浸水が想定されない場所で身の安全を確保	○必要なものを確認しましょう。また、最初に作成したマイ・タイムラインを確認しましょう。
0h	氾濫が発生 洪水予報(はん濫発生情報) 緊急速報メール(氾濫が発生した情報)	○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで緊急速報メールを受信	

① 毎日天気予報と注意する
 ② 予報と自分の予定車へ対応する。
 ③ どのへ避難するか決める。
 ④ 家中を片付け、持物を整理する。
 ⑤ 予定のものは用意しておく。
 ⑥ 家のまわりをよくチェックする。

家族の身の用品を準備する。
 健康保険証 マイナンバー 現金
 非常持ち出し袋 電話充電機
 お菓子、水、着替(下着)少々
 食料品 水 のびろ。

雨風が強くなる前に行うべき事項を早めておく時期
 水位等の状況を確認し、避難に要する時間に応じて避難行動を開始する時期
 身の安全を確保すべき時期

	行政情報 (黒:気象・水害情報 青:下館河川事務所 緑:常総市)	住民等(例)	作成のポイント
3日前	○台風予報 ○台風に関する栃木県、茨城県気象情報(随時)	○テレビの天気予報を注意 ○家族全員の今後の予定を確認 ○マイ・タイムラインを確認 ○防災グッズの準備(不足があれば買い出しへ) ○1週間分の薬を病院に受け取りに行く ○家の周りに風で飛ばされないようなものはないか確認	○適出をする予定がある場合は、今後の気象情報に注意しましょう。場合によっては、多量のキャンセルも視野にいれて行動しましょう。 ○事前に準備しておきましょう。 ○周りとばさるような農具、自転車、農機具の片づけ、ビニールハウスの点検などはすませておきましょう。
2日前	◇大雨注意報・洪水注意報 ○台風に関する今後の見通し	○大雨警報・洪水警報 ○家族全員の今後の予定を再確認 ○携帯電話の充電	
1日前	◇大雨警報・洪水警報 上流域(日光等)での大雨特別警報		
半日前	水防団待機水位到達 はん濫注意水位到達 → 洪水予報(はん濫注意情報)発表 ○要支援者施設に洪水予報(はん濫注意情報)を伝達 ○避難所の開設 ○避難準備情報を発令 ◇大雨特別警報(緊急速報メール) ◇暴風警報	○ハザードマップで避難場所、避難手段を確認 ○隣町の親戚の家に家族みんなで避難することを電話 ○携帯電話の充電 ○川の水位をインターネットで確認 ○通行止め情報がないかインターネットで確認 ○隣町への避難の開始を判断 ○携帯メール等で避難準備情報の受信 ○移動に時間のかかる人は、市内の指定避難所への避難の開始を判断 ○隣町への避難完了 ○市内の高台への避難の開始を判断	○移動中に情報を収集できるように、携帯電話等の充電をしておきましょう。 ○避難を開始する前に、交通情報や渋滞情報、地域の浸水情報などを収集しましょう。 ○避難する場所が近い場合は、早めに避難行動を開始することを考えましょう。 ○移動中も市からの情報を常に収集しましょう。防災行政無線や広報車などでも情報は提供されています。
-5h	避難判断水位到達 → 洪水予報(はん濫警報情報)発表 ○避難勧告又は避難指示を発令	○川の水位をインターネットで確認 ○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで避難勧告、避難指示を受信 ○市内の指定避難所への避難を判断	○避難が完了しても、情報は収集するようにしましょう。
-3h	はん濫危険水位到達 → 洪水予報(はん濫危険情報)発表 → 緊急速報メール(河川氾濫のおそれがある情報)	○川の水位をインターネットで確認 ○市内の高台への避難を完了 ○市内の指定避難所への避難を完了 ○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで緊急速報メールを受信 ○自宅内の浸水が想定されない場所での身の安全を確保	○必要なものを確認しましょう。まに、最初に戻って作成したマイ・タイムラインを確認しましょう。
0h	氾濫が発生 → 洪水予報(はん濫発生情報) → 緊急速報メール(氾濫が発生した情報)	○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで緊急速報メールを受信	

両風が強くなる前に行うべき事項をすませておく時期

水位等の状況を把握し、避難に要する時間に応じて避難行動を開始する時期

身の安全を確保すべき時期

非常持出し袋の点検
(お薬手帳、お地、保険証等、重要書類)
情報の収集

戸室の点検
ブレーカーも落す
プロパンガスの元栓を閉める

親戚へ避難完了
近所へ声かけする。

	行政情報 (黒: 気象・水害情報 青: 下館河川事務所 緑: 常総市)	住民等(例)	作成のポイント	
3日前	○台風予報 ○台風に関する栃木県、茨城県気象情報(随時)	○テレビの天気予報を注意 ○家族全員の今後の予定を確認 ○マイ・タイムラインを確認 ○防災グッズの準備(不足があれば買い出しへ) ○1週間分の薬を病院に受け取りに行く ○家の周りに風で飛ばされないようなものはないか確認	○運出する予定がある場合は、今後の気象情報に注意しましょう。場合によっては、予定のキャンセルも視野にいれて行動しましょう。 ○事前に準備しておきましょう。	
2日前	○大雨注意報・洪水注意報 ○台風に関する今後の見通し	○テレビ、インターネット、携帯電話等で雨や川の様子に注意 ○家族全員の今後の予定を再確認	○風で飛ばされそうな植木鉢、自転車、農機具の片づけ、ビニールハウスの点検などは早めておきましょう。	
1日前	○大雨警報・洪水警報 上流域(日光等)での大雨特別警報	○携帯電話の充電		
半日前	水防維持機水位到達 はん濫注意水位到達 洪水予報(はん濫注意情報)発表	○ハザードマップで避難場所、避難手段を確認 ○隣町の親戚の家に家族みんなで避難することを電話 ○携帯電話の充電 ○川の水位をインターネットで確認 ○通行止め情報がないがインターネットで確認	○移動中に情報を収集できるように、携帯電話等の充電をしておきましょう。 ○避難を開始する前に、交通情報や渋滞情報、地域の浸水情報などを収集しましょう。	
	○要支援者施設に洪水予報(はん濫注意情報)を伝達 ○避難所の開設 ○避難準備・高齢者等避難開始を発令 ○大雨特別警報(緊急速報メール) ○暴風警報	○隣町への避難の開始を判断 ○携帯メール等で避難準備情報の受信 ○移動に時間のかかる人は、市内の指定避難所への避難の開始を判断 ○隣町への避難完了 ○市内の高台への避難の開始を判断	○避難する場所が近い場合は、早めに避難行動を開始することも考えましょう。 ○移動中も市からの情報を常に収集しましょう。防災行政無線や広報車などでも情報は提供されています。	
-5h	避難判断水位到達 洪水予報(はん濫警戒情報)発表 ○避難勧告又は避難指示(緊急)を発令	○川の水位をインターネットで確認 ○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで避難勧告、避難指示を受信 ○市内の指定避難所への避難を判断	○避難が完了しても、情報は収集するようにしましょう。	
-3h	はん濫危険水位到達 洪水予報(はん濫危険情報)発表 緊急速報メール(河川利用のおそれがある情報)	○川の水位をインターネットで確認 ○市内の高台への避難を完了 ○市内の指定避難所への避難を完了 ○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで緊急速報メールを受信	○必要ものを確認しましょう。また、最初に乗って作成したマイ・タイムラインを確認しましょう。	
0h	氾濫が発生 洪水予報(はん濫発生情報) 緊急速報メール(氾濫が発生した情報)	○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで緊急速報メールを受信		

雨風が強くなる前に行うべき準備をすませおく時期

水位等の状況を確認して避難に要する時間に応じて避難行動を開始する時期

身の安全を確保するべき時期

- カセットコンロ・ガスの準備 (カセットコンロ、ライター)
- ユタ用品・薬の準備
- 移動型携帯充電器の準備
- 倉庫の固定と家周辺に飛ばされる物がないか確認
- 水・保存の食物の買い出しをする
- ガリソン缶満タンにする ○子状態の保育園の確認
- 携帯の充電 仕事のスケジュール確認
- 現金を準備しておく(貴重品等、避難用紙幣等)
- 近所に電線(移動場所)を断る、移動手段(バイク)の確認
- 牛の知人に避難させてほしい旨伝える (確認)
- 川崎町の東家との避難場所・ルートを確認
- 携帯の充電
- 車に水を積みこむ、荷物等も
- TV・ダイニングテーブルを2階に上げる (2階に移動できるものは移動する)
- 近所への声かけ、応接
- ボリタクに水とためこむ
- 戸締りの確認(倉庫も忘れずに)
- 道路の混雑状況を確認
- 最終の戸締り確認・ブレーカーを落とす
- 牛久知人宅への避難開始 (車は1台ずつ乗こ移動する)
- 牛久知人宅への避難完了 (おきぬらわいせつへの避難開始)
- おきぬらわいせつへの避難完了

	行政情報 (黒:気象・水象情報 青:下流河川事務所 緑:常総市)	住民等(例)	作成のポイント
3日前	○台風予報 ○台風に関する栃木県、茨城県気象情報(随時)	○テレビの天気予報を注意 ○家族全員の今後の予定を確認 ○マイ・タイムラインを確認 ○防災グッズの準備(不足があれば買い出しへ) ○1週間分の薬を病院に受け取りに行く ○家の周りに風で飛ばされないようなものはないか確認	○事前に準備しておきましょう。 ○風で飛ばされそうな植木鉢、自転車、農具の片づけ、ビニールハウスの点検などはすませておきましょう。
2日前	◇大雨注意報・洪水注意報 ○台風に関する今後の見通し	○テレビ、インターネット、携帯メール等で雨や川の様子に注意 ○家族全員の今後の予定を再確認	
1日前	◇大雨警報・洪水警報 上流域(日光等)での大雨特別警報	○携帯電話の充電	
半日前	水防団待機水位到達 はん濫注意水位到達 洪水予報(はん濫注意情報)発表	○ハザードマップで避難場所、避難手段を確認 ○隣町の親戚の家に家族みんなで避難することを電話 ○携帯電話の充電 ○川の水位をインターネットで確認 ○通行止め情報がないかインターネットで確認	○移動中に情報を収集できるように、携帯電話等の充電をしておきましょう。 ○避難を開始する前に、交通情報や渋滞情報、地域の浸水情報などを収集しましょう。 ○避難する場所が遠い場合は、早めに避難行動を開始することも考えましょう。
	○緊急避難施設に洪水予報(はん濫注意情報)を伝達 ○避難所の開設 ○避難準備・高齢者等避難開始を発令	○隣町への避難の開始を判断 ○携帯メール等で避難準備情報の受信 ○移動に時間のかかる人は、市内の指定避難所への避難の開始を判断	○移動中も作らからの情報を常に収集しましょう。防災行政無線や広報などでも情報は提供されています。
	◇大雨特別警報(緊急速報メール) ◇暴風警報	○隣町への避難完了 ○市内の高台への避難の開始を判断	
-5h	避難判断水位到達 洪水予報(はん濫警戒情報)発表 ○避難勧告又は避難指示(緊急)を発令	○川の水位をインターネットで確認 ○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで避難勧告、避難指示を受信 ○市内の指定避難所への避難を判断	○避難が完了しても、情報は収集するようにしましょう。
-3h	はん濫危険水位到達 洪水予報(はん濫危険情報)発表 緊急速報メール(河川氾濫のおそれがある情報)	○川の水位をインターネットで確認 ○市内の高台への避難を完了 ○市内の指定避難所への避難を完了 ○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで緊急速報メールを受信	○必要なものを確認しましょう。また、最初にして作成したマイ・タイムラインを確認しましょう。
0h	氾濫が発生 洪水予報(はん濫発生情報) 緊急速報メール(氾濫が発生した情報)	○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで緊急速報メールを受信	

両風が強くなる前に、行方不明な家族を捜すためにも、時期
 水位等の状況を活用して避難に要する時間に応じて避難行動を開始する時期
 身の安全を確保すべき時期

病院に薬を処方してく

仮設の確認

避難開始

小山が川で避難を完了

	行政情報 (県: 気象・水害情報 青: 下総河川事務所 緑: 常総市)	住民等(例)	作居のポイント
3日前	○台風予報 ○台風に関する新水害、茨城県気象情報(随時)	○テレビの天気予報を注意 ○家族全員の今後の予定を確認 ○マイ・タイムラインを確認 ○防災グッズの準備(不足があれば買い出しへ) ○1週間分の薬を病院に受け取りに行く ○家の周りに風で飛ばされないようなものはないか確認	○運出を予定がある場合は、今後の気象情報に注意しましょう。都合によっては、予定のキャンセルも視野にいれて行動しましょう。 ○事前に準備しておきましょう。
2日前	◇大雨注意報・洪水注意報 ○台風に関する今後の見通し	○テレビ、インターネット、携帯メール等で雨や川の様子に注意 ○家族全員の今後の予定を再確認	○風ではされそうな植木鉢、自転車、農機具の片づけ、ビニールハウスの点検などはすべておさめましょう。
1日前	◇大雨警報・洪水警報 上流域(日光等)での大雨特別警報	○携帯電話の充電	
半日前	水防団待機水位到達 はん濫注意水位到達 洪水予報(はん濫注意情報)発表	○ハザードマップで避難場所、避難手段を確認 ○隣町の親戚の家に家族みんなで避難することを電話 ○携帯電話の充電 ○川の水位をインターネットで確認 ○通行止め情報がないかインターネットで確認	○移動中に情報を収集できるように、携帯電話等の充電をしておきましょう。 ○避難を開始する前に、交通情報や渋滞情報、渋滞の浸水情報などを収集しましょう。
	○要支援者施設に洪水予報(はん濫注意情報)を伝達 ○避難所の開設 ○避難準備・高齢者等避難開始を発令	○隣町への避難の開始を判断 ○携帯メール等で避難準備情報の受信 ○移動に時間がかかる人は、市内の指定避難所への避難の開始を判断 ○隣町への避難完了 ○市内の高台への避難の開始を判断	○避難する場所が近い場合は、早めに避難行動を開始することをお考えましょう。 ○移動中も市からの情報を常に収集しましょう。防災無線や広聴車などで情報は提供されています。
	◇大雨特別警報(緊急通報メール) ○暴風警報		
-5h	避難判断水位到達 洪水予報(はん濫警戒情報)発表 ○避難勧告又は避難指示(緊急)発令	○川の水位をインターネットで確認 ○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで避難勧告、避難指示を受信 ○市内の指定避難所への避難を判断	○避難が完了しても、情報は収集するようにしましょう。
-3h	はん濫危険水位到達 洪水予報(はん濫危険情報)発表 緊急通報メール(河川氾濫のおそれがある情報)	○川の水位をインターネットで確認 ○市内の高台への避難を完了 ○市内の指定避難所への避難を完了 ○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで緊急通報メールを受信 ○自宅内の浸水が想定されない場所で身の安全を確保	○必要なものを確認しましょう。また、農機具に戻って作成したマイ・タイムラインを確認しましょう。
0h	氾濫が発生 洪水予報(はん濫発生情報) 緊急通報メール(氾濫が発生した情報)	○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで緊急通報メールを受信	

雨風が強くなる前に行うべき事項をすべておさめ時期

水位等の状況を確認し避難に要する時間に応じて避難行動を開始する時期

身の安全を確保すべき時期

○テレビの天気予報の確認。
○家族に連絡

○持ち出し品の準備(防災グッズ)
メガネ、ラジオ、薬、水、食糧
インスタント食品、缶詰、ミネラルウォーター、野菜ジュース、(お米セハイ)
缶詰、チョコレートときどき交換
○お金、お財布
○保険証
○薬々帳 日常使用する物
○カード 3日分用意する
○貴重品

○携帯電話の充電

○ガソリン満タンにして置く。
○親せきと子供に連絡する。
○川の水位を携帯メールで確認

○ほつとメールで、毎日確認する

○区長に避難場所を確認

5時間前に避難開始する。
○ブレーカーを切る。(電気は切る)
移動を始める時間
4時間前 緊急出す

移動(車)
○道路が湿らざり場合想定して間隔
避難完了時間

常総市役所
0297-23-2111

	行政情報 (黒: 気象・水害情報 青: 下館河川事務所 緑: 常総市)	住民等(例)	作業のポイント	作業のポイント	
3日前	○台風予報 ○台風に関する栃木県、茨城県気象情報(随時)	○テレビの天気予報も注意 ○家族全員の今後の予定を確認 ○マイ・タイムラインを確認 ○防災グッズの準備(不足があれば買い出しへ) ○1週間分の薬を病院に受け取りに行く ○家の周りに風で飛ばされないようなものはないか確認	○テレビの天気予報も注意 ○家族全員の今後の予定を確認 ○マイ・タイムラインを確認 ○防災グッズの準備(不足があれば買い出しへ) ○1週間分の薬を病院に受け取りに行く ○家の周りに風で飛ばされないようなものはないか確認	○テレビの天気予報も注意 ○家族全員の今後の予定を確認 ○マイ・タイムラインを確認 ○防災グッズの準備(不足があれば買い出しへ) ○1週間分の薬を病院に受け取りに行く ○家の周りに風で飛ばされないようなものはないか確認	
2日前	◇大雨注意報・洪水注意報 ○台風に関する今後の見通し	○テレビ、インターネット、携帯メール等で雨や川の様子に注意 ○家族全員の今後の予定を再確認 ○携帯電話の充電	○テレビ、インターネット、携帯メール等で雨や川の様子に注意 ○家族全員の今後の予定を再確認 ○携帯電話の充電	○テレビ、インターネット、携帯メール等で雨や川の様子に注意 ○家族全員の今後の予定を再確認 ○携帯電話の充電	
1日前	◇大雨警報・洪水警報 上流域(日光等)での大雨特別警報	○ハザードマップで避難場所、避難手段を確認 ○隣町の親戚の家に家族みんなで避難することを電話 ○携帯電話の充電 ○川の水位をインターネットで確認 ○通行止め情報がないかインターネットで確認 ○隣町への避難の開始を判断 ○携帯メール等で避難準備情報の受信 ○移動に時間のかかる人は、市内の指定避難所への避難の開始を判断 ○隣町への避難完了 ○市内の高台への避難の開始を判断	○ハザードマップで避難場所、避難手段を確認 ○隣町の親戚の家に家族みんなで避難することを電話 ○携帯電話の充電 ○川の水位をインターネットで確認 ○通行止め情報がないかインターネットで確認 ○隣町への避難の開始を判断 ○携帯メール等で避難準備情報の受信 ○移動に時間のかかる人は、市内の指定避難所への避難の開始を判断 ○隣町への避難完了 ○市内の高台への避難の開始を判断	○ハザードマップで避難場所、避難手段を確認 ○隣町の親戚の家に家族みんなで避難することを電話 ○携帯電話の充電 ○川の水位をインターネットで確認 ○通行止め情報がないかインターネットで確認 ○隣町への避難の開始を判断 ○携帯メール等で避難準備情報の受信 ○移動に時間のかかる人は、市内の指定避難所への避難の開始を判断 ○隣町への避難完了 ○市内の高台への避難の開始を判断	
半日前	水防団待機水位到達 はん蓋注意水位到達 洪水予報(はん蓋注意情報)発表 ○要支援者施設に洪水予報(はん蓋注意情報)を伝達 ○避難所の開設 ○避難準備・高齢者等避難開始を発令 ◇大雨特別警報(緊急連絡メール) ◇暴風警報	○水防団待機水位到達 はん蓋注意水位到達 洪水予報(はん蓋注意情報)発表 ○要支援者施設に洪水予報(はん蓋注意情報)を伝達 ○避難所の開設 ○避難準備・高齢者等避難開始を発令 ◇大雨特別警報(緊急連絡メール) ◇暴風警報	○水防団待機水位到達 はん蓋注意水位到達 洪水予報(はん蓋注意情報)発表 ○要支援者施設に洪水予報(はん蓋注意情報)を伝達 ○避難所の開設 ○避難準備・高齢者等避難開始を発令 ◇大雨特別警報(緊急連絡メール) ◇暴風警報	○水防団待機水位到達 はん蓋注意水位到達 洪水予報(はん蓋注意情報)発表 ○要支援者施設に洪水予報(はん蓋注意情報)を伝達 ○避難所の開設 ○避難準備・高齢者等避難開始を発令 ◇大雨特別警報(緊急連絡メール) ◇暴風警報	○水防団待機水位到達 はん蓋注意水位到達 洪水予報(はん蓋注意情報)発表 ○要支援者施設に洪水予報(はん蓋注意情報)を伝達 ○避難所の開設 ○避難準備・高齢者等避難開始を発令 ◇大雨特別警報(緊急連絡メール) ◇暴風警報
-5h	避難判断水位到達 洪水予報(はん蓋警戒情報)発表 ○避難勧告又は避難指示(緊急)を発令	○川の水位をインターネットで確認 ○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで避難勧告、避難指示を受信 ○市内の指定避難所への避難を判断	○川の水位をインターネットで確認 ○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで避難勧告、避難指示を受信 ○市内の指定避難所への避難を判断	○川の水位をインターネットで確認 ○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで避難勧告、避難指示を受信 ○市内の指定避難所への避難を判断	
-3h	はん蓋危険水位到達 洪水予報(はん蓋危険情報)発表 緊急連絡メール(河川氾濫のおそれがある情報)	○川の水位をインターネットで確認 ○市内の高台への避難を完了 ○市内の指定避難所への避難を完了 ○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで緊急連絡メールを受信 ○自宅内の浸水が想定されない場所で身の安全を確保	○川の水位をインターネットで確認 ○市内の高台への避難を完了 ○市内の指定避難所への避難を完了 ○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで緊急連絡メールを受信 ○自宅内の浸水が想定されない場所で身の安全を確保	○川の水位をインターネットで確認 ○市内の高台への避難を完了 ○市内の指定避難所への避難を完了 ○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで緊急連絡メールを受信 ○自宅内の浸水が想定されない場所で身の安全を確保	○川の水位をインターネットで確認 ○市内の高台への避難を完了 ○市内の指定避難所への避難を完了 ○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで緊急連絡メールを受信 ○自宅内の浸水が想定されない場所で身の安全を確保
0h	氾濫が発生 洪水予報(はん蓋発生情報) 緊急連絡メール(氾濫が発生した情報)	○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで緊急連絡メールを受信	○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで緊急連絡メールを受信	○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで緊急連絡メールを受信	

常総市 | つくば市

テレビの天気予報に注意

準備・防災グッズの準備を早く済ませる

マイ・タイムラインを確認
家のハザードマップを確認

テレビ、携帯メールで雨や川の様子に注意
大切な物などは二階へ上げる
近くに住むおばあちゃんの家へ行く
携帯充電の充電

防災グッズの確認
避難場所の確認

避難準備・高齢者等避難開始を待機

避難判断水位到達(避難指示)に
テレビで確認、防災グッズの確認

常総市長官舎への避難開始 | 避難判断水位到達(避難指示)に
テレビで確認、防災グッズの確認

つくば市親戚の家への避難完了 | つくば市の親戚の家への避難完了

つくば市の親戚の家への避難完了

携帯メールでハザードマップを確認
テレビ等で洪水の状況を確認
おばあちゃんの家への確認ハザードマップを確認
(おばあちゃん)

	行政情報 (黒:気象・水害情報 青:下部河川事務所 緑:常総市)	住民等(例)	作成のポイント	つくば市交流センター
3日前	○台風予報 ○台風に関する橋本県、茨城県気象情報(随時)	○テレビの天気予報を注意 ○家族全員の今後の予定を確認 ○マイ・タイムラインを確認 ○防災グッズの準備(不足があれば買い出しへ) ○1週間分の薬を病院に受け取りに行く ○家の周りに風で飛ばされないようなものはないか確認	○運出をする予定がある場合は、今後の気象情報に注意しましょう。場合によっては、予定のキャンセルも視野に入れて行動しましょう。 ○事前に準備しておきましょう。	○天気予報 ○川の水位の確認 ○防災グッズの確認 ○常備薬品の確認 ○配布用差替のし ○家の周りの整理整頓 ○農機具を高台へ移動
2日前	◇大雨注意報・洪水注意報 ○台風に関する今後の見通し	○テレビ、インターネット、携帯メール等で雨や川の様子に注意 ○家族全員の今後の予定を再確認	○風とばされそうな植木鉢、自転車、農機具の片づけ、ビニールハウスの点検などは済ませておきましょう。	○家電製品のエコモードへ切り、 ○防災情報の確認 ○スマホの充電と充電器を準備しておく。 ○自動車のガソリンを満タンしておく。 ○準備品は物を再度確認とする。 ○行政情報の確認 ○父母や近所、隣水情報確認 ○地域人民と話し合う
1日前	◇大雨警報・洪水警報 上流域(日光等)での大雨特別警報	○携帯電話の充電		
半日前	水防団待機水位到達 はん濫注意水位到達 洪水予報(はん濫注意情報)発表 ○重要建築物等に洪水予報(はん濫注意情報)を伝達 ○避難所の開設 ○避難準備・高齢者等避難開始を発令 ◇大雨特別警報(緊急速報メール) ◇暴風警報	○ハザードマップで避難場所、避難手段を確認 ○隣町の親戚の家に家族みんなで避難することを電話 ○携帯電話の充電 ○川の水位をインターネットで確認 ○通行止め情報がないかインターネットで確認 ○隣町への避難の開始を判断 ○携帯メール等で避難準備情報の受信 ○移動に時間がかかる人は、市内の指定避難所への避難の開始を判断 ○隣町への避難完了 ○市内の高台への避難の開始を判断	○移動中に情報を収集できるように、携帯電話等の充電をしておきましょう。 ○避難を開始する前に、交通情報や渋滞情報、地域の浸水情報などを収集しましょう。 ○避難する場所が近い場合は、早めに避難行動を開始することも考えましょう。 ○移動中も市からの情報を常に収集しましょう。防災行政無線や広報車などでも情報は提供されています。	○洪水の情報をテレビ等で収集する
-5h	避難判断水位到達 洪水予報(はん濫注意情報)発表 ○避難勧告又は避難指示(緊急)を発令	○川の水位をインターネットで確認 ○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで避難勧告、避難指示を受信 ○市内の指定避難所への避難を判断	○避難が完了しても、情報は収集するようにしましょう。	○ガスの元栓、電気のブレーカーの確認 ○行政情報の確認 ○避難判断が完了or開始とする、戸籍の確認 ○段ボール情報収集
-3h	はん濫危険水位到達 洪水予報(はん濫危険情報)発表 緊急速報メール(河川氾濫のおそれがある情報)	○川の水位をインターネットで確認 ○市内の高台への避難を完了 ○市内の指定避難所への避難を完了 ○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで緊急速報メールを受信 ○自宅内の浸水が想定されない場所で身の安全を確保	○必要なものを確認しましょう。また、最初に買った作成したマイ・タイムラインを確認しましょう。	○携帯メールの受信で収集する(洪水の情報)
0h	氾濫が発生 洪水予報(はん濫発生情報) 緊急速報メール(氾濫が発生した情報)	○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで緊急速報メールを受信		

雨風が強くなる前に行動する事項をすべておこなう時期

水位等の状況を活用して避難行動を開始する時期

身の安全を確保する時期

	行政情報 (県:気象・水害情報 青:下総河川事務所 緑:常総市)	住民等(例)	作業のポイント
3日前	○台風予報 ○台風に関する栃木県、茨城県気象情報(随時)	○テレビの天気予報を注意 ○家族全員の今後の予定を確認 ○マイ・タイムラインを確認 ○防災グッズの準備(不足があれば買い出しへ) ○1週間分の薬を病院に受け取りに行く ○家の周りに風で飛ばされないようなものはないか確認	○進出する予定がある場合は、今後の気象情報に注意しましょう。都合によっては、予定のキャンセルも視野にいれて行動しましょう。 ○事前に準備しておきましょう。
2日前	◇大雨注意報・洪水注意報 ○台風に関する今後の見通し	○テレビ、インターネット、携帯メール等で雨や川の様子に注意 ○家族全員の今後の予定を再確認	○風で飛ばされそうな植木鉢、自転車、農機具の片づけ、ビニールハウスの点検などは早めておきましょう。
1日前	◇大雨警報・洪水警報	○携帯電話の充電	
半日前	上流域(日光等)での大雨特別警報 水防団待機水位到達 はん濫注意水位到達 洪水予報(はん濫注意情報・発表)	○ハザードマップで避難場所、避難手段を確認 ○隣町の親戚の家に家族みんなで避難することを電話 ○携帯電話の充電 ○川の水位をインターネットで確認 ○通行止め情報がないかインターネットで確認	○移動中に情報を収集できるように、携帯電話等の充電をしておきましょう。 ○避難を開始する前に、交通情報や渋滞情報、道路の浸水情報などを収集しましょう。
	○緊急被害施設に洪水予報(はん濫注意情報)を伝達 ○避難所の開設 ○避難準備・高齢者等避難開始を発令	○隣町への避難の開始を判断 ○携帯メール等で避難準備情報の受信 ○移動に時間のかかる人は、市内の指定避難所への避難の開始を判断 ○隣町への避難完了 ○市内の高台への避難の開始を判断	○避難する場所が近い場合は、早めに避難行動を開始することをお考えましょう。 ○移動中も市からの情報を常に収集しましょう。防災無線や伝車などで情報も提供されています。
	◇大雨特別警報(緊急通報メール) ◇暴風警報		
-5h	避難判断水位到達 洪水予報(はん濫警報情報・発表) ○避難勧告又は避難指示(緊急)を発令	○川の水位をインターネットで確認 ○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで避難勧告、避難指示を受信 ○市内の指定避難所への避難を判断	○避難が完了しても、情報は収集するようにしましょう。
-3h	はん濫危険水位到達 洪水予報(はん濫危険情報・発表) 緊急通報メール(河川氾濫のおそれがある情報)	○川の水位をインターネットで確認 ○市内の高台への避難を完了 ○市内の指定避難所への避難を完了 ○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで緊急通報メールを受信 ○自宅内の浸水が想定されない場所で身の安全を確保	○必要なものを確認しましょう。また、履物に戻って作成したマイ・タイムラインを確認しましょう。
0h	氾濫が発生 洪水予報(はん濫発生情報) 緊急通報メール(氾濫が発生した情報)	○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで緊急通報メールを受信	

雨量が増える可能性が高い場合は、避難行動を早めておく時期

水位等の状況を確認して避難に要する時間に応じて避難行動を開始する時期

身の安全を確保すべき時期

車のガソリンを入れておく

祖母の薬をもらいにいく

トイレットペーパー・車5台の車中泊は砂場 総務課 西29412 近いとこ3ヶ所(花の川、川上高台) 車を上げる。

大切なのは高い所へ上げる

通帳・印字とは家の中へお金(現金)は持って行く

貴重品・持ち出し品の準備 薬・トイレ用品・着替え・飲料(粉) 予備の確認(食料も忘れずに) プレーカーもある。ガス元栓を止める

つくば市の福岡の親せきに避難(鬼怒川の場合)

きぬの川の親せきに避難(小貝川の場合)

(砂場へ避難): 家で水はこまめに水がせまらして置く場合

根新田にうじ: [redacted] の家のうじの道が冠水してはじりた。逃げる

今回は自衛隊のヘリコプターが2機 15:30~16:00 車の干渉田畑の上を飛んでいって2階ト上がったが親せきに断りして

	行政情報	住民等(例)	作業のポイント	
3日前	行政情報 (黒:気象・水象情報青:下館河川事務所 緑:常総市) ○台風予報 ○台風に関する栃木県、茨城県気象情報(随時)	○テレビの天気予報を注意 ○家族全員の今後の予定を確認 ○マイ・タイムラインを確認 ○防災グッズの準備(不足があれば買い出しへ) ○1週間分の薬を病院に受け取りに行く ○家の周りに風で飛ばされないようなものはないか確認	運出する予定がある場合は、今後の気象情報に注意しましょう。場合によっては、予定のキャンセルも視野にいれて行動しましょう。 事前に準備しておきましょう。	○上流域、栃木茨城の台風情報に注意 ○TV・インターネット等で雨・川の様子確認 ○病院へ行く薬をもらっておく。
2日前	◇大雨注意報・洪水注意報 ○台風に関する今後の見通し	○テレビ、インターネット、携帯メール等で雨や川の様子に注意 ○家族全員の今後の予定を再確認 ○携帯電話の充電	風とばされそうな植木鉢、自転車、農機具の片づけ、ビニールハウスの点検などはすませておきましょう。	○家の周りに風で飛ばさないものか確認 ○家族全員の今後の予定確認 ○テレビ、インターネット、携帯メール等で雨や川の様子に注意 ○携帯電話の充電 ○ガソリン給油
1日前	◇大雨警報・洪水警報 上流域(日光等)での大雨特別警報	○ハードマップで避難場所、避難手段を確認 ○隣町の親戚の家に家族みんなで避難することを電話 ○携帯電話の充電 ○川の水位をインターネットで確認 ○通行止め情報がないかインターネットで確認 ○隣町への避難の開始を判断	移動中に情報を収集できるように、携帯電話等の充電をしておきましょう。 避難を開始する前に、交通情報や道路情報、地域の浸水情報などを収集しましょう。 避難する場所が遠い場合は、早めに避難行動を開始することも考えましょう。	○携帯電話の充電 ○ガソリン給油 ○他のところへ避難することを電話
半日前	水防団待機水位到達 はん濫注意水位到達 洪水予報(はん濫注意情報)発表 ○県支庁等施設に洪水予報(はん濫注意情報)を伝達 ○避難所の開設 ○避難準備・高齢者等避難開始を発令 ◇大雨特別警報(緊急連絡メール) ◇暴風警報	○携帯メール等で避難準備情報の受信 ○移動に時間のかかる人は、市内の指定避難所への避難の開始を判断 ○隣町への避難完了 ○市内の高台への避難の開始を判断	移動中も市からの情報を常に収集しましょう。防災行政無線や広報車などでも情報は提供されています。 避難が完了しても、情報は収集するようにしましょう。	○携帯電話の充電 ○川の水位、ライブカメラ確認 ○車、農機具の移動 ○ハットの避難の準備 ○持ち出し品は2階へあつち ○持ち出し品を(おき、戸締り、ブレーキなど) ○家の鍵への避難開始 ○家の家へ避難完了 ○はとメールを確認 ○避難場所への連絡(はとメール)
-5h	避難判断水位到達 洪水予報(はん濫危険情報)発表 ○避難勧告又は避難指示(緊急)を発令	○川の水位をインターネットで確認 ○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで避難勧告、避難指示を受信 ○市内の指定避難所への避難を判断	必要なものを確認しましょう。また、最初に戻って作成したマイ・タイムラインを確認しましょう。	○川の水位、ライブカメラ確認 ○車、農機具の移動 ○ハットの避難の準備 ○持ち出し品は2階へあつち ○持ち出し品を(おき、戸締り、ブレーキなど) ○家の鍵への避難開始 ○家の家へ避難完了 ○はとメールを確認 ○避難場所への連絡(はとメール)
-3h	はん濫危険水位到達 洪水予報(はん濫危険情報)発表 緊急連絡メール(河川氾濫のおそれがある情報)	○川の水位をインターネットで確認 ○市内の高台への避難を完了 ○市内の指定避難所への避難を完了 ○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで緊急連絡メールを受信	必要なものを確認しましょう。また、最初に戻って作成したマイ・タイムラインを確認しましょう。	○川の水位、ライブカメラ確認 ○車、農機具の移動 ○ハットの避難の準備 ○持ち出し品は2階へあつち ○持ち出し品を(おき、戸締り、ブレーキなど) ○家の鍵への避難開始 ○家の家へ避難完了 ○はとメールを確認 ○避難場所への連絡(はとメール)
0h	氾濫が発生 洪水予報(はん濫発生情報) 緊急連絡メール(氾濫が発生した情報)	○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで緊急連絡メールを受信	必要なものを確認しましょう。また、最初に戻って作成したマイ・タイムラインを確認しましょう。	○川の水位、ライブカメラ確認 ○車、農機具の移動 ○ハットの避難の準備 ○持ち出し品は2階へあつち ○持ち出し品を(おき、戸締り、ブレーキなど) ○家の鍵への避難開始 ○家の家へ避難完了 ○はとメールを確認 ○避難場所への連絡(はとメール)

雨量が増える前に行うべき事項をすませておく時期

水位等の状況把握しつつ避難に要する時間に応じて避難行動を開始する時期

身の安全を確保すべき時期

常総市 地区 家 鬼怒川マイ・タイムライン

作成年月日 年 月 日

	行政情報 (黒:気象・水象情報 青:下館河川事務所 緑:常総市)	住民等(例)	作成のポイント	
3日前	○台風予報 ○台風に関する栃木県、茨城県気象情報(随時)	○テレビの天気予報を注意 ○家族全員の今後の予定を確認 ○マイ・タイムラインを確認 ○防災グッズの準備(不足があれば買い出しへ) ○1週間分の薬を病院に受け取りに行く ○家の周りに風で飛ばされないようなものはないか確認	遠出をする予定がある場合は、今後の気象情報に注意しましょう。場合によっては、予定のキャンセルも視野にいれて行動しましょう。 事前に準備しておきましょう。	
2日前	◇大雨注意報・洪水注意報 ○台風に関する今後の見直し	○テレビ、インターネット、携帯メール等で雨や川の様子に注意 ○家族全員の今後の予定を再確認	風で飛ばされそうな植木鉢、自転車、農機具の片づけ、ビニールハウスの点検などはすませておきましょう。	
1日前	◇大雨警報・洪水警報 上流域(日光等)での大雨特別警報	○携帯電話の充電		
半日前	水防維持機水位到達 はん濫注意水位到達 洪水予報(はん濫注意情報)発表 ○最支援者施設に洪水予報(はん濫注意情報)伝達 ○避難所の開設 ○避難準備・高齢者等避難開始を発令 ◇大雨特別警報(緊急連絡メール) ◇暴風警報	○ハザードマップで避難場所、避難手段を確認 ○隣町の親戚の家に家族みんなで避難することを電話 ○携帯電話の充電 ○川の水位をインターネットで確認 ○通行止め情報がないかインターネットで確認 ○隣町への避難の開始を判断 ○携帯メール等で避難準備情報の受信 ○移動に時間のかかる人は、市内の指定避難所への避難の開始を判断 ○隣町への避難完了 ○市内の高台への避難の開始を判断	移動中に情報を収集できるように、携帯電話等の充電をしておきましょう。 避難を開始する前に、交通情報や渋滞情報、地域の浸水情報などを収集しましょう。 避難する場所が遠い場合は、早めに避難行動を開始することも考えましょう。 移動中も市からの情報を常に収集しましょう。防災行政無線や広報車などでも情報は提供されています。	雨風が強くなる前に行うべき事項をすませておく時期 * 下駄を落す(片取り) うす木、長靴、リュック、ケイタイ、電化製品確認、家族の確認、トイレ(用品)、水、食料、持たず、医薬品 1階へ入るための品を上げる 自宅の中を整理する
-5h	避難判断水位到達 洪水予報(はん濫警戒情報)発表 ○避難勧告又は避難指示(緊急)を発令	○川の水位をインターネットで確認 ○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで避難勧告、避難指示を受信 ○市内の指定避難所への避難を判断	避難が完了しても、情報は収集するようにしましょう。	避難、1.5時間前、つくば豊里
-3h	はん濫危険水位到達 洪水予報(はん濫危険情報)発表 緊急連絡メール(河川氾濫のおそれがある情報)	○川の水位をインターネットで確認 ○市内の高台への避難を完了 ○市内の指定避難所への避難を完了 ○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで緊急連絡メールを受信 ○自宅内の浸水が想定されない場所で身の安全を確保	必要なものを確認しましょう。また、最初に買って作成したマイ・タイムラインを確認しましょう。	つくば豊里 元の市役所 女医さん
0h	氾濫が発生 洪水予報(はん濫発生情報) 緊急連絡メール(氾濫が発生した情報)	○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで緊急連絡メールを受信		身の安全を確保すべき時期

	行政情報 (県:気象・水象情報 青:下館河川事 務所 緑:常総市)	住民等(例)	作成のポイント	我が家のタイムライン
3日前	○台風予報 ○台風に関する栃木県、茨城県気象情報(随時)	○テレビの天気予報を注意 ○家族全員の今後の予定を確認 ○マイ・タイムラインを確認 ○防災グッズの準備(不足があれば買い出しへ) ○1週間分の薬を病院に受け取りに行く	選出をする予定がある場合は、今後の気象情報に注意しましょう。場合によっては、予定のキャンセルも視野にいれて行動しましょう。 事前に準備しておきましょう。	■3日前 ○上流域、栃木、茨城の台風情報に注意 ○TV・インターネット等で雨・川の様子確認 ○庭木の固定
2日前	○大雨注意報・洪水注意報 ○台風に関する今後の見直し	○家の周りに風で飛ばされないようなものはないか確認 ○テレビ、インターネット、携帯メール等で雨や川の様子に注意 ○家族全員の今後の予定を再確認	風で飛ばされそうな植木鉢、自転車、農機具の片づけ、ビニールハウスの点検などはずませておきましょう。	■2日前 ○家族全員の予定確認(外出等) → 場合により予定キャンセル ○マイタイムライン確認 ○ペット用ホテルの空き確認(つくば、坂東、守谷等) ○病院に1週間分の薬をもらいに行く
1日前	○大雨警報・洪水警報 上流域(日光等)での大雨特別警報	○携帯電話の充電	移動中に情報を収集できるように、携帯電話等の充電をしておきましょう。	■1日前 ~ 半日前 ※上流域(日光等)での大雨特別警報 ○家族の電話番号・メール・LINE等 通信手段の確認 ○災害用伝言ダイヤル(171) 使い方は共有 ○ガソリン給油 ○避難先(状況により避難先を変更する) ①あすなるの里、つくば・坂東の一時避難所(確認) ②つくば豊里交流センター (つくば市高野1197-20 Tel: 029-847-8444) ③知人宅 つくばA 坂東B 知人宅に電話、避難準備連絡 A B ④常総1.C. 谷和原1.C.から、つくば方面 or 関東圏へ避難
半日前	水防団待機水位到達 はん雲注意水位到達 洪水予報(はん雲注意情報)発表 ○県立後者施設に洪水予報(はん雲注意情報)を伝達 ○避難所の開設 ○避難準備情報を発令	○ハザードマップで避難場所、避難手段を確認 ○隣町の親戚の家に家族みんなで避難することを電話 ○携帯電話の充電 ○川の水位をインターネットで確認 ○通行止め情報がないかインターネットで確認 ○隣町への避難の開始を判断 ○携帯メール等で避難準備情報の受信 ○移動に時間のかかる人は、市内の指定避難所への避難の開始を判断 ○隣町への避難完了 ○市内の高台への避難の開始を判断	避難を開始する前に、交通情報や渋滞情報、地域の浸水情報などを収集しましょう。 避難する場所が近い場合は、早めに避難行動を開始することも考えましょう。 移動中も市からの情報を常に収集しましょう。防災行政無線や広報車などでも情報は提供されています。	○携帯スマホの電池式充電器と電池の用意 ○非常食、水の購入と必需品用意 → リュック・バッグへ(薬、薬手帳、メガネ、コンタクト液、通帳、印鑑、現金着替え、レジャーシート、スマホ、充電器(手回し・電池) 携帯トイレ、杖(ストック)、毛布) ○隣家 ■■■■宅と避難先の共有 ○会社に避難の可能性を伝え、業務引き継ぎの準備 ○ペット用ホテルに犬(タロ)を預ける(同伴避難は困難) ※ペットは1日前に預けておく ○川の水位、ライブカメラ確認 ○道路の通行止め情報 ネット検索 ○ハザードマップ/Twitterで避難経路上の冠水想定箇所確認 ○避難時に使用しない車を、できれば前日に知人宅に預ける or 役所・公共施設等に置いてくる
-5h	避難判断水位到達 洪水予報(はん雲警戒情報)発表 ○避難勧告又は避難指示を発令	○川の水位をインターネットで確認 ○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで避難勧告、避難指示を受信 ○市内の指定避難所への避難を判断	避難が完了しても、情報は収集するようにしましょう。	※避難準備情報発令 ○物置内の荷物を高い棚に移す ○避難準備に備える
-3h	はん雲危険水位到達 洪水予報(はん雲危険情報)発表 緊急速報メール(河川氾濫のおそれがある情報)	○川の水位をインターネットで確認 ○市内の高台への避難を完了 ○市内の指定避難所への避難を完了 ○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで緊急速報メールを受信 ○自宅内の浸水が想定されない場所で身の安全を確保	必要なものを確認しましょう。また、最初に戻って作成したマイ・タイムラインを確認しましょう。	■-5h ※避難勧告または避難指示発令 ※子供が学校にいる場合の対応 在宅者 外出者(買い物・会社等) ○学校へ電話&子供迎え ○家族と連絡取り合い、帰宅(学校に近い者が迎え) ○避難準備に着手 ○非常食、貴重品等を車に乗せる ○プロパン元栓締める ○家具等を2階に移動/ブレーカー落とす/戸締まり ○近所に避難先を告げる ○近所の避難困難者を確認(場合により一緒に避難)
0h	氾濫が発生 洪水予報(はん雲発生情報) 緊急速報メール(氾濫が発生した情報)	○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで緊急速報メールを受信		■-4.5~4h ○避難開始 - 全ての車で避難 or 1台で避難 ※インターネットで道路情報入手(通行止め・冠水) → 「Google CrisisResponse」「Twitter」等利用 ○川の水位の上昇推移を継続観測 ■-3h ※緊急速報メール ○避難完了 ○川の水位の上昇推移を継続観測 ■0h ※氾濫発生

時間	行政情報	住民等(例)	作業のポイント	備考
3日前	行政情報 (県:気象・水象情報青:下館河川事務所 総:常総市) ○台風予報 ○台風に関する草木巻、茨城県気象情報(随時)	○テレビの天気予報を注意 ○家族全員の今後の予定を確認 ○マイ・タイムラインを確認 ○防災グッズの準備(不足があれば買い出しへ) ○1週間分の薬を病院に受け取りに行く ○家の周りに風で飛ばされないようなものはないか確認	① 遠出をする予定がある場合は、今後の気象情報に注意しましょう。遠出によっては、予定のキャンセルも視野にいれて行動しましょう。 ② 事前に準備しておきましょう。	通常は自宅に1階台。 (避難場所:2階台) 交差点水 (避難場所:2階台)
2日前	◇大雨注意報・洪水注意報 ○台風に関する今後の見通し	○テレビ、インターネット、携帯メール等で雨や川の様子に注意 ○家族全員の今後の予定を再確認	③ 風ではとられそうな植木鉢、自転車、農機具の片づけ、ビニールハウスの支柱などはすべておさめましょう。	(1日前) ~ (2日前) ・隣り近所は、どうするか手配する ・車に乗らば、高齢者への声かけ確認
1日前	◇大雨警報・洪水警報 上流域(日光等)での大雨特別警報	○携帯電話の充電 ○ハザードマップで避難場所、避難手段を確認 ○隣町の親戚の家に家族みんなで避難することを電話 ○携帯電話の充電 ○川の水位をインターネットで確認 ○通行止め情報がなければインターネットで確認	④ 移動中に情報を収集できるように、携帯電話等の充電をしておきましょう。 ⑤ 避難を開始する前に、交通情報や渋滞情報、地域の浸水情報などを収集しましょう。	(単身赴任中の場合、自宅の家族等との連絡) ○車のガソリン給油 ↓ 上流部を毎日連絡 下流部の
半日前	水防団待機水位到達 はん蓋注意水位到達 洪水予報(はん蓋注意情報)発表 ○浸水被害施設に洪水予報(はん蓋注意情報)を伝達 ○避難所の開設 ○避難準備・高齢者等避難開始を発令 ◇大雨特別警報(緊急速報メール) ◇暴風警報	○隣町への避難の開始を判断 ○携帯メール等で避難準備情報の受信 ○移動に時間のかかる人は、市内の指定避難所への避難の開始を判断 ○隣町への避難完了 ○市内の高台への避難の開始を判断	⑥ 避難する期間が長い場合には、早めに避難行動を開始すること考えましょう。 ⑦ 移動中も仕方の情報を常に収集しましょう。防犯行政無線や広報車などでも情報は提供されています。	(指定品用表) (・菓、携帯充電器、水、食料、缶詰 etc.) ・車中にも準備品 ① 他中(2階)の各室確保 ② 家族等への連絡(中途中) ・1階の荷物 (自宅内の荷物の移動) - 階の物、家具を2階へ上げる
-5h	避難判断水位到達 洪水予報(はん蓋警戒情報)発表 ○避難勧告又は避難指示(緊急)を発令	○川の水位をインターネットで確認 ○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで避難勧告、避難指示を受信 ○市内の指定避難所への避難を判断	⑧ 避難が完了しても、情報は収集するようにしましょう。	この間、隣近所と連絡 ・家族と連絡し合い、集合場所を確認 (南側) 行政情報、最新旧ホタル情報 ・避難準備... 荷物の確認(予録) ・避難場所への移動(車)
-3h	はん蓋危険水位到達 洪水予報(はん蓋危険情報)発表 緊急速報メール(河川氾濫のおそれがある情報)	○川の水位をインターネットで確認 ○市内の高台への避難を完了 ○市内の指定避難所への避難を完了 ○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで緊急速報メールを受信 ○自宅内の浸水が想定されない場所で身の安全を確保	⑨ 必要なものを確認しましょう。また、最初に作って作成したマイ・タイムラインを確認しましょう。	(避難完了) 2階台 豊里 市民センター 高流ホル
0h	氾濫が発生 洪水予報(はん蓋発生情報) 緊急速報メール(氾濫が発生した情報)	○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで緊急速報メールを受信		

	行政情報	住民等(例)	作成のポイント
3日前	行政情報 (黒:気象・水害情報 青:下館河川事務所 緑:常総市) ○台風予報 ○台風に関する折木飛、茨城県気象情報(随時)	○テレビの天気予報を注意 ○家族全員の今後の予定を確認 ○マイ・タイムラインを確認 ○防災グッズの準備(不足があれば買い出しへ) ○1週間分の薬を病院に受け取りに行く ○家の周りに風で飛ばされないようなものはないか確認	作成のポイント ① 運出を予定がある場合は、今後の気象情報に注意しましょう。場合によっては、予定のキャンセルも視野にいれて行動しましょう。 ② 事前に準備しておきましょう。
2日前	◇大雨注意報・洪水注意報 ○台風に関する今後の見通し	○テレビ、インターネット、携帯メール等で雨や川の様子に注意 ○家族全員の今後の予定を再確認	③ 風で飛ばされそうな植木鉢、自転車、農機具の片づけ、ビニールハウスの屋根などに目をつけておきましょう。
1日前	◇大雨警報・洪水警報 上流域(日光等)での大雨特別警報	○携帯電話の充電	
半日前	水防団特機水位到達 はん濇注意水位到達 洪水予報(はん濇注意情報)発表	○ハザードマップで避難場所、避難手段を確認 ○隣町の親戚の家に家族みんなで避難することを電話 ○携帯電話の充電	④ 移動中に情報を収集できるように、携帯電話等の充電をしておきましょう。
	○要支援者施設に洪水予報(はん濇注意情報)を伝達 ○避難所の開設 ○避難準備・高齢者等避難開始を発令	○川の水位をインターネットで確認 ○通行止め情報がないかインターネットで確認 ○隣町への避難の開始を判断	⑤ 避難を開始する前に、交通情報や渋滞情報、地域の浸水情報などを収集しましょう。 ⑥ 避難する場所が高い場合は、早めに避難行動を開始することも考えましょう。
	○要支援者施設に洪水予報(はん濇注意情報)を伝達 ○避難所の開設 ○避難準備・高齢者等避難開始を発令	○携帯メール等で避難準備情報の受信 ○移動に時間のかかる人は、市内の指定避難所への避難の開始を判断	⑦ 移動中も市からの情報を常に収集しましょう。防災行政無線や広報車などでも情報は提供されています。
	◇大雨特別警報(緊急速報メール) ◇暴風警報	○隣町への避難完了 ○市内の高台への避難の開始を判断	
-5h	避難判断水位到達 洪水予報(はん濇警戒情報)発表 ○避難勧告又は避難指示(緊急)を発令	○川の水位をインターネットで確認 ○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで避難勧告、避難指示を受信 ○市内の指定避難所への避難を判断	⑧ 避難が完了しても、情報は収集するようにしましょう。
-3h	はん濇危険水位到達 洪水予報(はん濇危険情報)発表 緊急速報メール(河川氾濫のおそれがある情報)	○川の水位をインターネットで確認 ○市内の高台への避難を完了 ○市内の指定避難所への避難を完了 ○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで緊急速報メールを受信	⑨ 必要なものを確認しましょう。また、最初につくったマイ・タイムラインを確認しましょう。
0h	氾濫が発生 洪水予報(はん濇発生情報) 緊急速報メール(氾濫が発生した情報)	○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで緊急速報メールを受信	

両風が強くなる間に行うべき事項をすべておさめる

水位等の状況を確認し、避難に要する時間に応じて避難行動を開始する時期

身の安全を確保すべき時期

車のガソリン満タン

家族全員に今後の予定の確認

避難場所の確認

必要品等の準備確認

近所等の確認 伝言

不十分避難用物の判断

避難場所へ避難を開始

避難完了

	行政情報	住民等(例)	作成のポイント
3日前	<p>○台風予報</p> <p>○台風に関する新木曜、茨城県気象情報(随時)</p>	<p>○テレビの天気予報を注意</p> <p>○家族全員の今後の予定を確認</p> <p>○マイ・タイムラインを確認</p> <p>○防災グッズの準備(不足があれば買い出しへ)</p> <p>○1週間分の薬を病院に受け取りに行く</p> <p>○家の周りに風で飛ばされないようなものはないか確認</p> <p>○テレビ、インターネット、携帯メール等で雨や川の様子に注意</p> <p>○家族全員の今後の予定を再確認</p> <p>○携帯電話の充電</p>	<p>○ 運出を予定がある場合は、今後の気象情報に注意しましょう。場合によっては、予定のキャンセルも視野にいれて行動しましょう。</p> <p>○ 事前に準備しておきましょう。</p> <p>○ 風で飛ばされそうな植木鉢、自転車、農機具のどぶづけ、ビニールハウスの支柱などはすませておきましょう。</p>
2日前	<p>◇大雨注意報・洪水注意報</p> <p>○台風に関する今後の見通し</p> <p>○大雨警報・洪水警報</p>	<p>○ハザードマップで避難場所、避難手段を確認</p> <p>○隣町の親戚の家に家族みんなで避難することを電話</p> <p>○携帯電話の充電</p> <p>○川の水位をインターネットで確認</p> <p>○通行止め情報がないかインターネットで確認</p> <p>○隣町への避難の開始を判断</p> <p>○携帯メール等で避難準備情報の受信</p> <p>○移動に時間のかかる人は、市内の指定避難所への避難の開始を判断</p> <p>○隣町への避難完了</p> <p>○市内の高台への避難の開始を判断</p>	<p>○ 移動中に情報を収集できるように、携帯電話等の充電をしておきましょう。</p> <p>○ 避難を開始する前に、交通情報や渋滞情報、地域の浸水情報などを収集しましょう。</p> <p>○ 避難する場所が近い場合は、早めに避難行動を開始することも考えましょう。</p> <p>○ 移動中も市からの情報を常に収集しましょう。防災行政無線や広報車などでも情報は提供されています。</p>
1日前	<p>上流域(日光等)での大雨特別警報</p> <p>○避難所の開設</p> <p>○避難準備・高齢者等避難開始を発令</p> <p>◇大雨特別警報(緊急速報メール)</p> <p>◇暴風警報</p>	<p>○要支援者施設に洪水予報(はん濫注意情報)を伝達</p> <p>○避難所の開設</p> <p>○避難準備・高齢者等避難開始を発令</p> <p>◇大雨特別警報(緊急速報メール)</p> <p>◇暴風警報</p>	<p>○ 避難を開始する前に、交通情報や渋滞情報、地域の浸水情報などを収集しましょう。</p> <p>○ 避難する場所が近い場合は、早めに避難行動を開始することも考えましょう。</p> <p>○ 移動中も市からの情報を常に収集しましょう。防災行政無線や広報車などでも情報は提供されています。</p>
半日前	<p>水防団待機水位到達</p> <p>はん濫注意水位到達</p> <p>洪水予報(はん濫注意情報)発表</p> <p>○避難所への開設</p> <p>○避難準備・高齢者等避難開始を発令</p> <p>◇大雨特別警報(緊急速報メール)</p> <p>◇暴風警報</p>	<p>○川の水位をインターネットで確認</p> <p>○テレビで洪水予報の確認</p> <p>○携帯メールで避難勧告、避難指示を受信</p> <p>○市内の指定避難所への避難を判断</p> <p>○川の水位をインターネットで確認</p> <p>○市内の高台への避難を完了</p> <p>○市内の指定避難所への避難を完了</p> <p>○テレビで洪水予報の確認</p> <p>○携帯メールで緊急速報メールを受信</p> <p>○自宅内の浸水が想定されない場所で身の安全を確保</p>	<p>○ 避難が完了しても、情報は収集するようにしましょう。</p> <p>○ 必要なものを確認しましょう。また、最初に戻って作成したマイ・タイムラインを確認しましょう。</p>
-5h	<p>避難判断水位到達</p> <p>洪水予報(はん濫警戒情報)発表</p> <p>○避難勧告又は避難指示(緊急)を発令</p>	<p>○川の水位をインターネットで確認</p> <p>○市内の高台への避難を完了</p> <p>○市内の指定避難所への避難を完了</p> <p>○テレビで洪水予報の確認</p> <p>○携帯メールで緊急速報メールを受信</p> <p>○自宅内の浸水が想定されない場所で身の安全を確保</p>	<p>○ 避難が完了しても、情報は収集するようにしましょう。</p>
-3h	<p>はん濫危険水位到達</p> <p>洪水予報(はん濫危険情報)発表</p> <p>緊急速報メール(河川氾濫のおそれがある情報)</p>	<p>○川の水位をインターネットで確認</p> <p>○市内の高台への避難を完了</p> <p>○市内の指定避難所への避難を完了</p> <p>○テレビで洪水予報の確認</p> <p>○携帯メールで緊急速報メールを受信</p> <p>○自宅内の浸水が想定されない場所で身の安全を確保</p>	<p>○ 必要なものを確認しましょう。また、最初に戻って作成したマイ・タイムラインを確認しましょう。</p>
0h	<p>氾濫が発生</p> <p>洪水予報はん濫発生情報</p> <p>緊急速報メール(氾濫が発生した情報)</p>	<p>○テレビで洪水予報の確認</p> <p>○携帯メールで緊急速報メールを受信</p>	

↑ 雨風が強くなる前に行うべき準備をすませておく時期

↑ 水位等の状況を確認し、避難に関する時間的余裕を確保する時期

↑ 身の安全を確保すべき時期

家族の予定
車の準備

声かけ
ガソリンを入れる
おぼんをたいておく 飲水用意
ワイヤレス充電
防災グッズの準備(トイレ等)

声かけ
戸締り(アレーカーとド)
葉など持ち出し品の準備
下準備物の取組 後部
ガスコンバーの元栓を止める

坂東市(2時間前)
三喜橋 へは
有料道路 へ

つくば市豊里交流センター

	行政情報 (※: 気象・水害情報 所: 下館河川事務所 線: 常総市)	住民等(例)	作成のポイント
3日前	○台風予報 ○台風に関する橋木損、茨城県気象情報(随時)	○テレビの天気予報を注意 ○家族全員の今後の予定を確認 ○マイ・タイムラインを確認 ○防災グッズの準備(不足があれば買い出しへ) ○1週間分の薬を病院に受け取りに行く	○運出する予定がある場合は、今後の気象情報に注意しましょう。遠古によっては、予定のキャンセルも視野にいれて行動しましょう。 ○事前に準備しておきましょう。
2日前	◇大雨注意報・洪水注意報 ○台風に関する今後の見通し	○家の周りに風で飛ばされないようなものはないか確認 ○テレビ、インターネット、携帯電話等で雨や川の様子に注意 ○家族全員の今後の予定を再確認	○風で飛ばされそうな植木鉢、自転車、農機具の片づけ、ビニールハウスの支柱などはすべておきましょう。
1日前	◇大雨警報・洪水警報 上流域(日光等)での大雨特別警報	○携帯電話の充電	
半日前	水防団待機水位到達 はん濫注意水位到達 洪水予報(はん濫注意情報)発表	○ガードマップで避難場所、避難手段を確認 ○隣町の親戚の家に家族みんなで避難することを電話 ○携帯電話の充電 ○川の水位をインターネットで確認 ○通行止め情報がないかインターネットで確認	○移動中に情報を収集できるように、携帯電話等の充電をしておきましょう。 ○避難を開始する前に、交通情報や渋滞情報、地庫の浸水情報などを収集しましょう。
	○緊急速報施設に洪水予報(はん濫注意情報)を伝達 ○避難所の開設 ○避難準備・高齢者等避難開始を発令	○隣町への避難の開始を判断 ○携帯電話等で避難準備情報の受信 ○移動に時間のかかる人は、市内の指定避難所への避難の開始を判断	○避難する場所が近い場合は、早めに避難行動を開始することも考えましょう。 ○移動中も市からの情報を常に収集しましょう。防災行政無線や広報車などでも情報は提供されています。
	◇大雨特別警報(緊急速報メール) ◇暴風警報	○隣町への避難完了 ○市内の高台への避難の開始を判断	
-5h	避難判断水位到達 洪水予報(はん濫警報情報)発表 ○避難勧告又は避難指示(緊急)を発令	○川の水位をインターネットで確認 ○テレビで洪水予報の確認 ○携帯電話で避難勧告、避難指示を受信 ○市内の指定避難所への避難を判断	○避難が完了しても、情報は収集するようにしましょう。
-3h	はん濫危険水位到達 洪水予報(はん濫危険情報)発表 緊急速報メール(河川氾濫のおそれがある情報)	○川の水位をインターネットで確認 ○市内の高台への避難を完了 ○市内の指定避難所への避難を完了 ○テレビで洪水予報の確認 ○携帯電話で緊急速報メールを受信 ○自宅内の浸水が想定されない場所で身の安全を確保	○必要なものを確認しましょう。また、最初に戻って作成したマイ・タイムラインを確認しましょう。
0h	氾濫が発生 洪水予報はん濫発生情報 緊急速報メール(氾濫が発生した情報)	○テレビで洪水予報の確認 ○携帯電話で緊急速報メールを受信	

雨風が強くなる前に行うべき事項をすべておぼろげ
 水位等の状況を把握し、避難に要する時間に応じて避難行動を開始する時期
 身の安全を確保するべき時期

初もペットホテル

家の外の物を小屋へ移動

1台のマフを確認
自動車給油

1Fの物を2Fへ移動

貴重品・イヤイ充電器

9/14前: 実家(軽装飾)避難開始 妻子
下着・食料衣類
ジュワック、水、KURTAL
カットコロ
貴重品・イヤイ
戸新布ナリ・フレカ
◎つくば公民館へ避難開始
飾部 完了
or 聖星交流センター

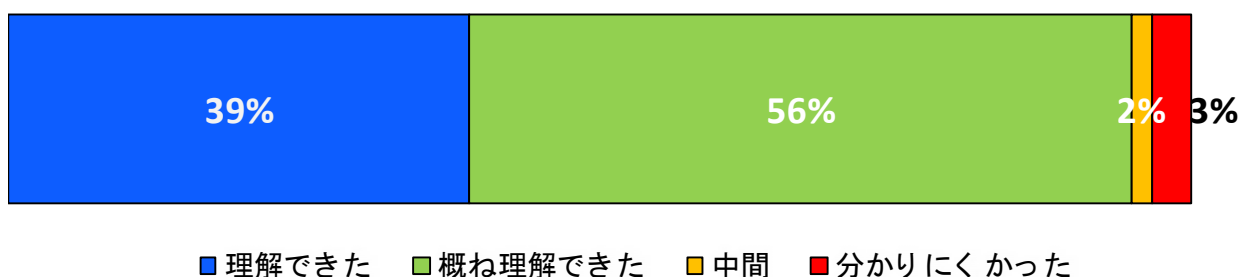
6. マイ・タイムライン検討会に参加した皆さんの声

6.1 検討会に参加された住民の皆さんからのアンケート結果

(1) 若宮戸地区 第1回検討会アンケート集計結果 (総数61名)

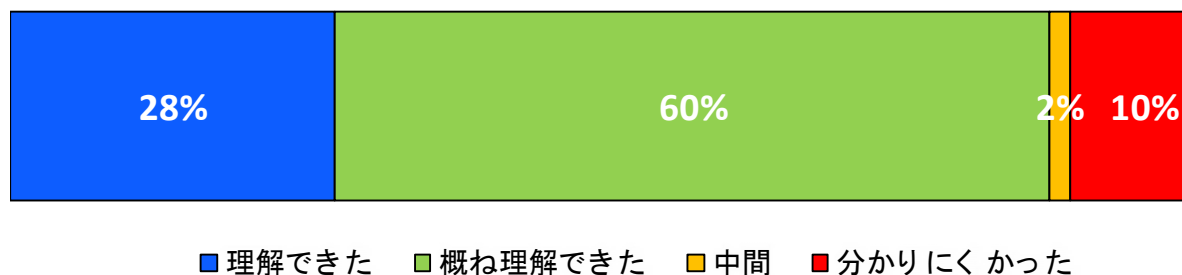
1. 今回の検討会の内容は理解できましたか。

図1 地区の特性



理解度では、概ね理解できたと回答した方が、56%と最も多い。続いて、理解できたの割合が39%となった。概ね理解できたと回答した方を合わせると95%となる。

図2 過去の洪水から学ぶ



概ね理解できたと回答した方が、60%と最も多い。続いて、理解できたの割合が28%となった。理解できた、概ね理解できたを合計すると、9割弱となる。一方、理解できたの割合は3割弱、分かりにくかったの割合が10%と高く、検討会の内容5項目の中では、理解度が低かった項目であった。

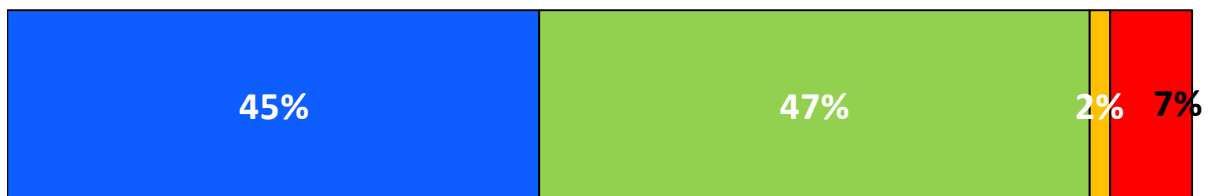
図3 地形の特徴から学ぶ



■ 理解できた ■ 概ね理解できた ■ 中間 ■ 分かりにくかった

概ね理解できたの割合が、51%と最も高く、続いて理解できたが 42%となった。理解できた、概ね理解できたを合計すると、93%となった。分かりにくかったの割合も低く、検討会の内容 5 項目の中では、理解度の高い項目であった。

図4 最近の雨の降り方と傾向



■ 理解できた ■ 概ね理解できた ■ 中間 ■ 分かりにくかった

概ね理解できたの割合が、47%と最も高く、次いで理解できたの割合が 45%と高い。分かりにくかったの割合は7%であるが、検討会の内容 5 項目の中では、理解できたの割合が最も高く、理解度の高い項目の1つであった。

図5 「想定最大規模の雨」で鬼怒川が氾濫したら



■ 理解できた ■ 概ね理解できた ■ 中間 ■ 分かりにくかった

概ね理解できたの割合は50%、理解できたの割合が40%となった。理解できた、概ね理解できたを合計すると、90%となるが、分かりにくかったの割合も9%と比較的高くなった。

2. 1の質問で「分かりにくかった」、「全然分からなかった」と回答した方の意見。

- 気象警報や避難情報をこまめに収集、確認する。(60代・男性)
- 説明が要領を得ない。→勉強不足(国交省)。(60代・男性)
- 洪水の時の対策。(40代・女性)
- 地元の人々と他地域から引越して来られた人々とは理解度が違うと思いますので、その差を埋める説明も必要かと思います。(70代以上・男性)
- 地図で場所が判りにくい。(23k付近では?)高低差も?(60代・男性)
- 時間が短く内容理解できなかった点がある。(60代・男性)
- 資料の説明が短時間で理解できないまま進行していた。高齢者は頭の回転がおそいので!(70代以上・男性)
- 時間がたりなく、理解不足と感じた。(50代・男性)
- 概ね理解は出来ましたが、地形図他参考資料が小さすぎてもう少しこまかくしてほしいです。地形Y.Pなど専門用語ではなくだれでもわかりやすく説明してほしいです。(匿名)

3. 本日の検討会に参加して分かったことや気づいたこと、今後どのように役立ちそうか。

- 若宮戸の地形の高低差による水流が分かれば避難経路も判断しやすいかなと思う。(60代・男性)
- 常総市でも私達の住んでいる土地は高い。でも上流で破堤した場合の避難方法の考え方。(60代・男性)
- 常総市防災無線が聞きとりにくい。もっとハッキリ判る無線に取り替えてほしい。(70代以上・男性)
- 水の流れを知る事で避難場所の選びが出来ることでした。(60代・女性)
- 嫁いでこちらに越してきて10年以上になりますが、やはり、今回の水害で、地形について、知っておかないといけないなあとつくづく感じております。このように、意見交換する場を与えて頂けるとありがたいと思います。次回も是非参加して地域のことをもっとよく勉強させていただきたいと思います。司会者さんのお話しもよくわかり、進め方も上手なので、あっという間の2時間でした。ご苦労様でした。次回もよろしくお願ひします。あと次は暖房対策もお願いします。(40代・女性)
- 大変わかりやすかった。司会進行の方が丁寧でよかったです。自治会規模で避難を考えねばいけないと痛感しています。動けない人をどうするか、もっと具体的に話せればと思います。(50代・女性)
- もっと質問の時間を取るべき!!(60代・男性)
- 河川事務所のHPでのシミュレーションはぜひ参考にしたいと思います。(40代・女性)
- 今回の様子をホームページ等にアップしてほしい(動画で!)。(40代・男性)
- 避難する場所の地形など理解して行動しないと時間のロスになって避難がむずかしくなる。(50代・女性)
- 今後逃げる場所等検討したい。(40代・匿名)

-
- マイタイムラインの必要性は理解しましたが、常総市からの被害情報や避難情報のソフト面をさらに強化してほしい。(簡便的かつ詳細に) 水害にあった際、被害情報等の情報収集に友人等の情報交換を行って大分役に立ちました。これを常総市から行うことでもっと沢山の人間に情報共有が出来たと思いました。(例:LINE アプリのタイムラインに情報を出す等) (匿名)
 - 地形の特徴も分かり高い所、低い所がわかりました。(知らずに逃げた千代川で本当に良かった。)(60代・匿名)
 - 地形的にわからず千代川の方に子供の〇〇で。(70代以上・男性)
 - 過去の状況は概ね説明より理解できたが、今後考えられる災害地の想定を知りたい。(60代・男性)
 - 水の逆流もある事。(60代・男性)
 - 若宮戸地区の水害状況等が多少理解できた!(60代・男性)
 - 地域の地形。大雨の時の対策について勉強になった。今後の避難時の参考にして準備していきたいと思います。(50代・男性)
 - 本日の検討会の事を家族の人に話し、自分がわかっているのではなく、家族全員で話をすることが大事だと思います。(40代・男性)
 - 地形の高低差などがわかりました。(70代以上・男性)
 - 災害に対しては、自助・共助・公助が必要である。本日参加した人たちは、災害に対し意識を持っている人たちでしょうから、今後は地元に戻ってその人たちで共助を進めていくべきと考える。
(50代・男性)
 - 自分たちだけでなく、この様な型での検討会は良いと思った。講師の先生方のお話しがなかった。(70代以上・男性)
 - 上流の洪水では、にげる事がわかりました。(匿名)
 - 昨年の自分家の被災との経験を、今後に生かしていければと思います。(40代・女性)
 - 非常に良かった。(70代以上・男性)
 - 住民の人の意見等の市の対応の悪さが目立った。自分たちの理解、行動が一番大事だが、市の指示等も必要(しっかりとした)だと思う。(40代・男性)
 - 早めにハザードマップをつくって欲しい。(50代・匿名)
 - 大変良い勉強になった。(70代以上・女性)

(2) 若宮戸地区 第2回検討会アンケート集計結果 (総数33名)

1. 今回の検討会の内容は理解できましたか。

図1 洪水時に得られる情報と読み解き方



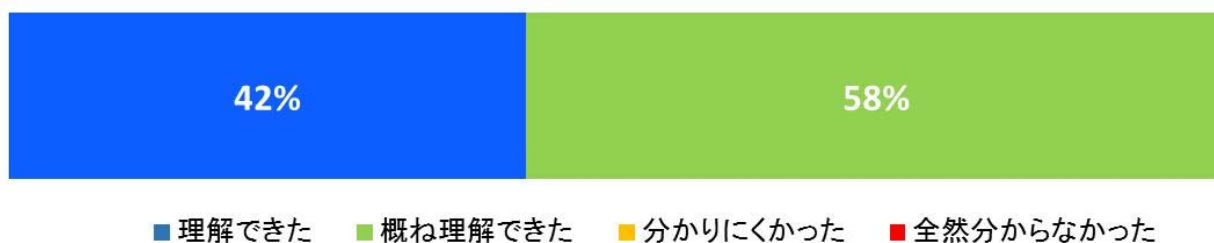
理解度では、理解できたと回答した方が、18%、概ね理解できたと回答した方を合わせると10割であり、理解度が高い項目であった。

図2 タイムラインの考え方



理解度では、理解できたと回答した方が、36%、概ね理解できたと回答した方を合わせると10割であり、理解度が高い項目であった。

図3 洪水時の自らの行動を想定



理解度では、理解できたと回答した方が、42%、概ね理解できたと回答した方を合わせると10割であり、最も理解度が高い項目であった。

図4 マイ・タイムラインの作成



理解度では、理解できたと回答した方が、34%、概ね理解できたと回答した方を合わせると9割以上の理解度であった。

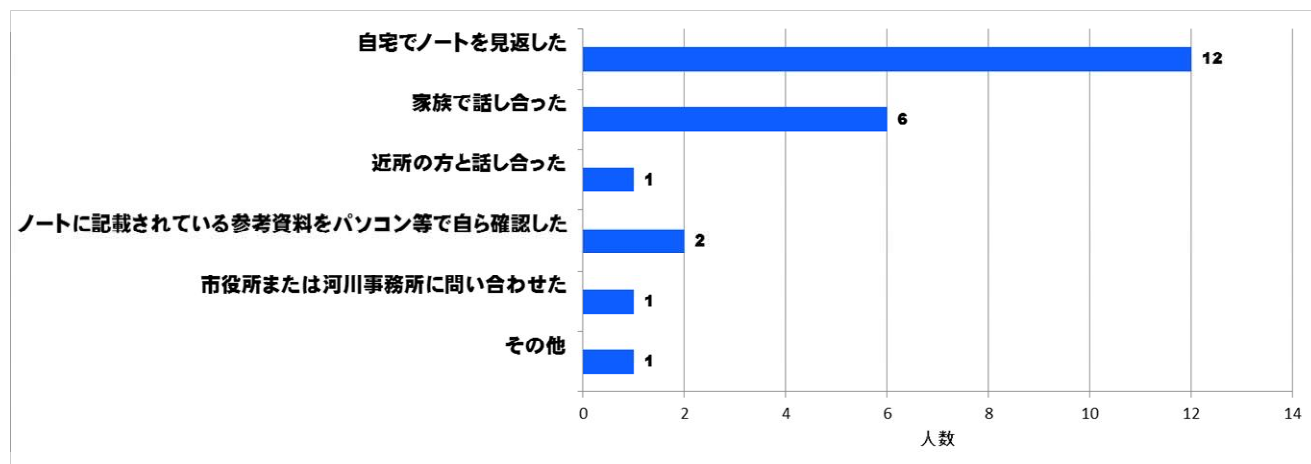
2. 1の質問で「分かりにくかった」、「全然分からなかった」と回答した方の意見。

- 意見無し。

3. 本日の検討会に参加して分かったことや気づいたこと、今後どのように役立ちそうか。

- 早く避難する事。(70代以上)
- 洪水時の情報収集について理解が深まった。(40代)
- 水害の恐ろしさがわかったが、行政の指示も願う。(70代)
- 洪水時の自信の行動では反省する点が多々あった。今後はこのマイタイムラインを生かし、避難行動に役立てたい。(50代・男性)
- 大変に参考になりました。(70代)
- 防災無線の言うことを聞く。緊急メール。(60代・女性)
- 高齢者の避難。(60代)
- 防災用品の準備。(60代・男性)
- 避難のタイミングが明確に設定でき、準備する物等、他の人の考えも合わせて考えていきたい。(40代・男性)
- いろいろなお話が聞けたのでよかった。
- 避難の際に慌てずに少しずつ準備できる。(40代)
- 死なないための対策を考えて留意する。(60代・男性)
- 水害時に役立つと思います。
- 気付かなかったことがわかりました。(60代・男性)
- タイムラインは変わっていきますので、その時々で考えていくことが大事と考えています。意識付けが大事だと思います！(40代・男性)
- 非常に勉強になった。特に時間。(70代以上・男性)
- やはり皆さんと集まって話し合うことが大切、気づかされるが多かったです。
- 避難準備、段取り等が分かった。(60代・男性)

4. 第一回検討会に参加された方にお聞きます。前回の検討後におこなったことをお聞かせください。



<その他>

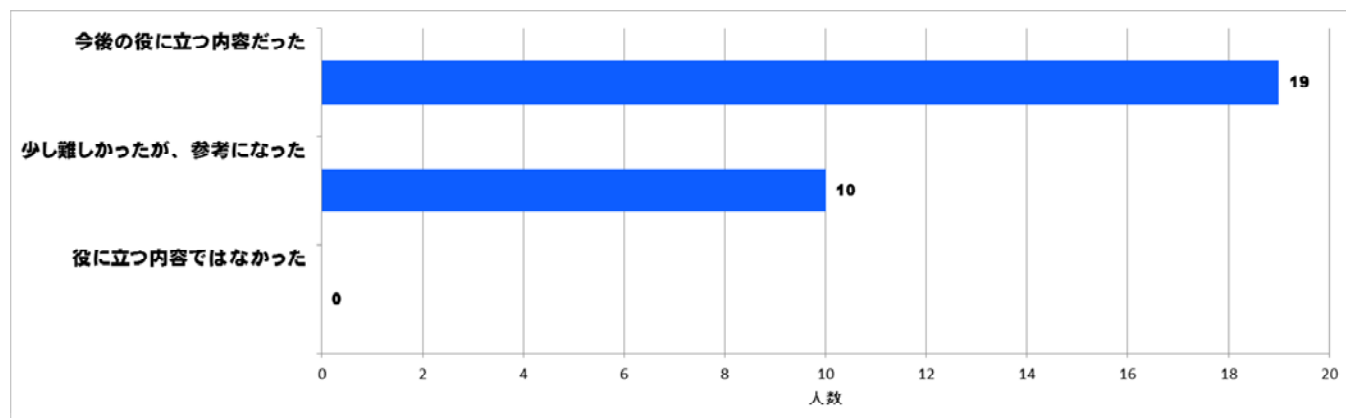
- 前回別の家族が参加したが資料の内容を確認した。(40代、男性)

検討会の後に自宅でノートを見返した方が最も多く、その次に家族で話し合った方が多かった。

5. 第一回検討会に参加された方にお聞きます。配布されたノート以外で、欲しい資料や情報等がありましたら、お聞かせください。

- 本日、欠席した家族の分の資料をいただきます。(40代・男性)
- 1時間しか出られず残念でした。もっと情報を得たかったです。
- 近々のハザードマップ=最新の物。(60代・男性)

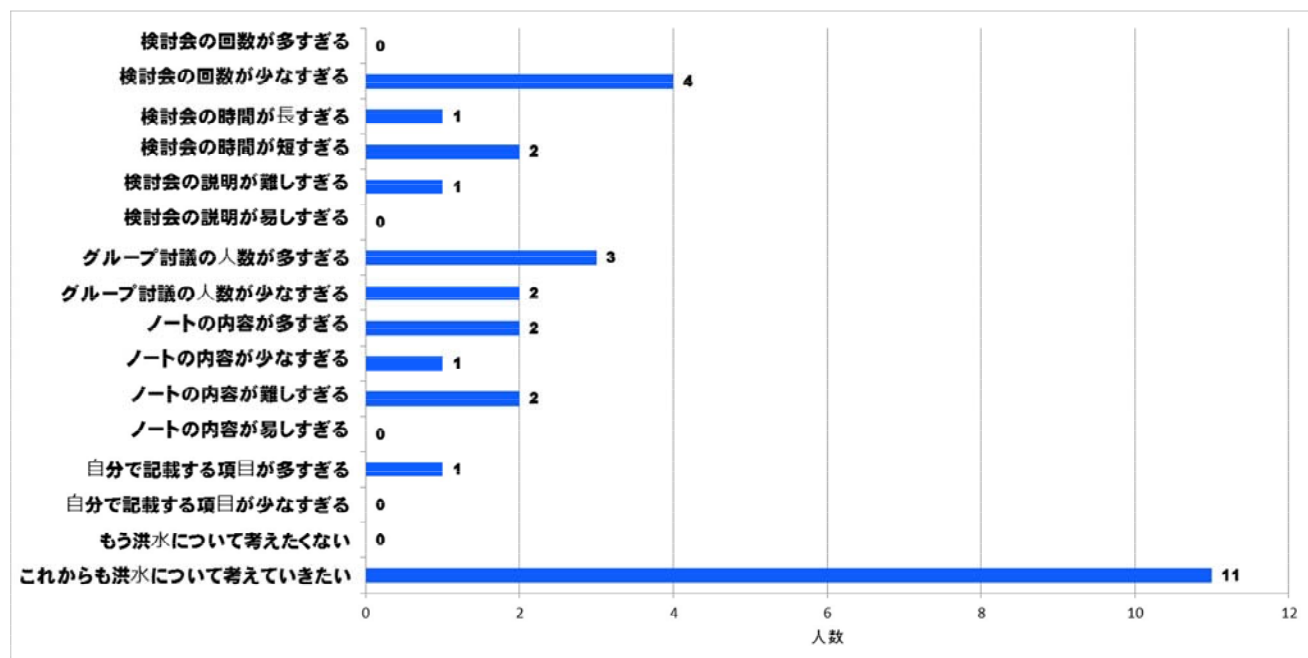
6. 2回の検討会を通してのご感想をお聞かせ下さい。



- スタッフの人が良く教えてくれました。ありがとうございました。(70代以上)
- 参加する人が少なく防災意識が問題。(60代・男性)
- すぐに出来ることは実践。(70代・女性)

今後の役に立つ内容だったという意見が多かった。

7. この検討会を通じて感じた気持ちに近いものを選んで、ご意見お聞かせください。



- 勉強になりました。(70代以上)
- 説明のはやすぎるところがあった。(40代)
- 検討会があることを知らなかった。タイムラインに関することがよくわかった。もっと水害

防災地域で網の目のように開かれると意識が高まるのではないか。(70代以上・女性)

- 項目毎に時間をもってやりたい。(60代・男性)

この検討会を通じて、これからも洪水について考えていきたい方が最も多い意見であった。次には、検討会の回数が少なすぎるとの意見が多かった。

(3) 根新田地区 第1回検討会アンケート集計結果 (総数70名)

1. 今回の検討会の内容は理解できましたか。

図1 地区の特性



■ 理解できた ■ 概ね理解できた ■ 分かりにくかった ■ 全然分からなかった

理解度では、理解できたと回答した方が、55%と最も多い。概ね理解できたと回答した方を合わせると9割以上を超えた。検討会の内容5項目の中では、最も理解度が高かった項目の1つである。

図2 過去の洪水から学ぶ



■ 理解できた ■ 概ね理解できた ■ 分かりにくかった ■ 全然分からなかった

概ね理解できたと回答した方が、53%と最も多い。続いて、理解できたの割合が37%となった。理解できた、概ね理解できたを合計すると、9割となるが、概ね理解できたと分かりにくかったの割合が高く、検討会の内容5項目の中では、理解度が低かった項目である。

図3 地形の特徴から学ぶ



■ 理解できた ■ 概ね理解できた ■ 分かりにくかった ■ 全然分からなかった

理解できたの割合が、54%と最も高く、続いて概ね理解できたが39%となった。理解できた、概ね理解できたを合計すると、9割以上となり、検討会の内容5項目の中では、「地区の特性」と並んで、理解度の高い項目であった。

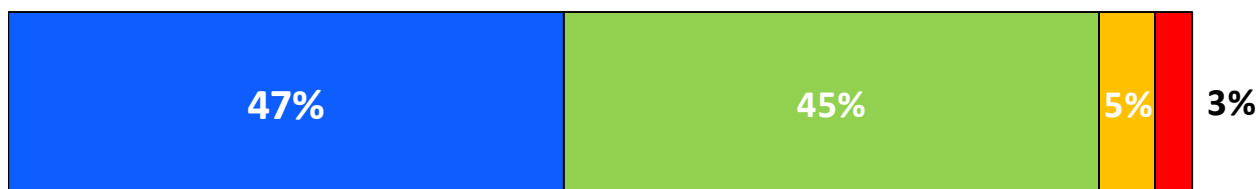
図4 最近の雨の降り方と傾向



■ 理解できた ■ 概ね理解できた ■ 分かりにくかった ■ 全然分からなかった

理解できたの割合が、53%と最も高く、次いで概ね理解できたの割合が36%と高い。ただし、分かりにくかったと全然分からなかったの割合の合計は11%となり、理解できた方と理解できなかった方に開きがあった。

図5 「想定最大規模の雨」で鬼怒川が氾濫したら



■ 理解できた ■ 概ね理解できた ■ 分かりにくかった ■ 全然分からなかった

理解できたの割合は47%、概ね理解できたの割合が45%となった。理解できた、概ね理解できたを合計すると、92%となった。

2. 1の質問で「分かりにくかった」、「全然分からなかった」と回答した方の意見。

- 早口でわかりにくい。(20代・男性)

3. 本日の検討会に参加して分かったことや気づいたこと、今後どのように役立ちそうか。

- 地域の特性が良く理解出来、今後の生活の上で役立つと思う。(60代・女性)
- 決壊してから浸水時間がどの位かかるかで避難の準備の仕方が変わってくる事がわかった。(50代・女性)
- 地形の特徴。(60代・女性)
- 地域の洪水に対するリスクの程度を理解できました。あらためて、リスクの高い地域に住んでいると感じました。(40代・男性)
- もうすこし専門的ではない説明もしてほしいです。自宅避難で過ごしてましたので、避難ありきでの話にはちょっと！(50代・女性)
- 地区の特性、洪水になった時の地区の想定される状況が確認できた。(浸水時間、到達時間)

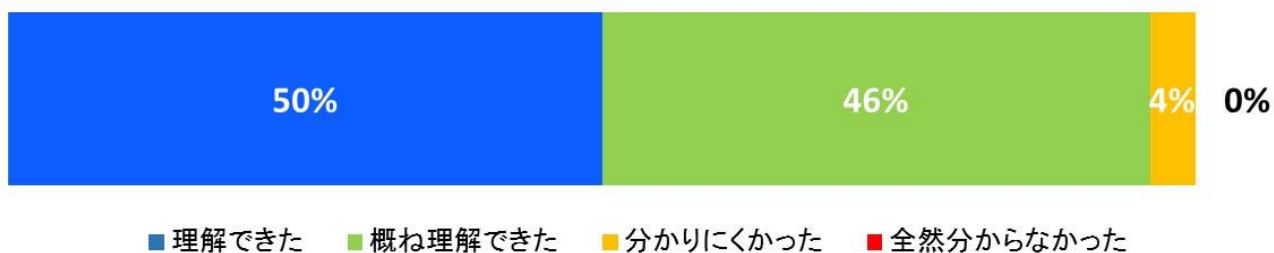
高齢者世帯、日中高齢者のみの場合の避難方法 身障者等の避難について病院の受入れ先とか、身障者用トイレのある避難場所などについては早く対応してほしい。(50代・女性)

- 地区の地形。(50代・男性)
- 土地の高低がわかった。(70代以上・女性)
- 低い土地なんだと思いました。(30代・男性)
- “浸水継続時間と下流で堤防決壊したときの到達時間を知ることができたことが有意義だった。市役所の方から世帯数等の報告がありましたが、独居老人宅の件数も押えておければと思います。(50代・男性)
- 密に連絡する事。(60代・男性)

(4) 根新田地区 第2回検討会アンケート集計結果 (総数53名)

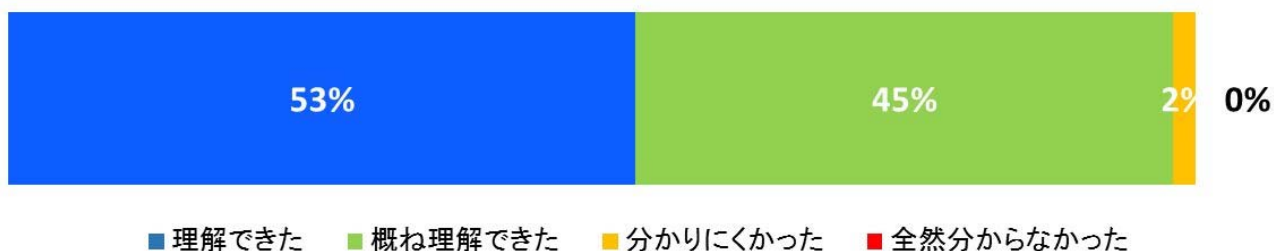
1. 今回の検討会の内容は理解できましたか。

図1 洪水時に得られる情報と読み解き方



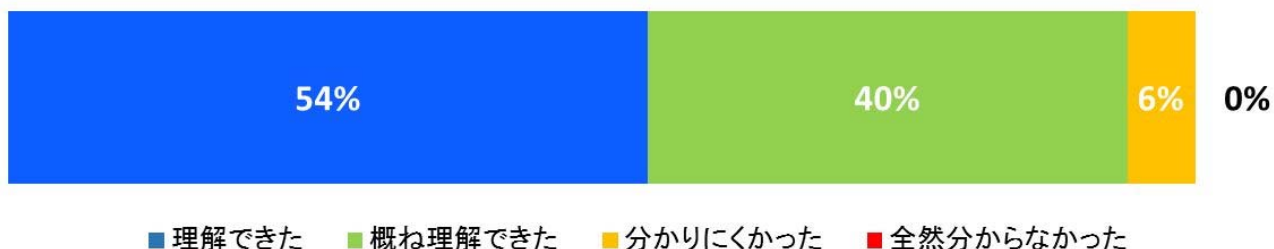
理解度では、理解できたと回答した方が、50%と最も多い。概ね理解できたと回答した方を合わせると9割以上を超え、理解度が高い項目であった。

図2 タイムラインの考え方



理解できたと回答した方が、53%と最も多い。続いて、概ね理解できたの割合が45%となった。検討会の内容3項目の中では、最も理解度が高かった項目の1つである。

図3 洪水時の自らの行動を想定



理解できたの割合が、54%と最も高く、続いて概ね理解できたが40%となった。理解できた、概ね理解できたを合計すると、理解度が高い項目であった。

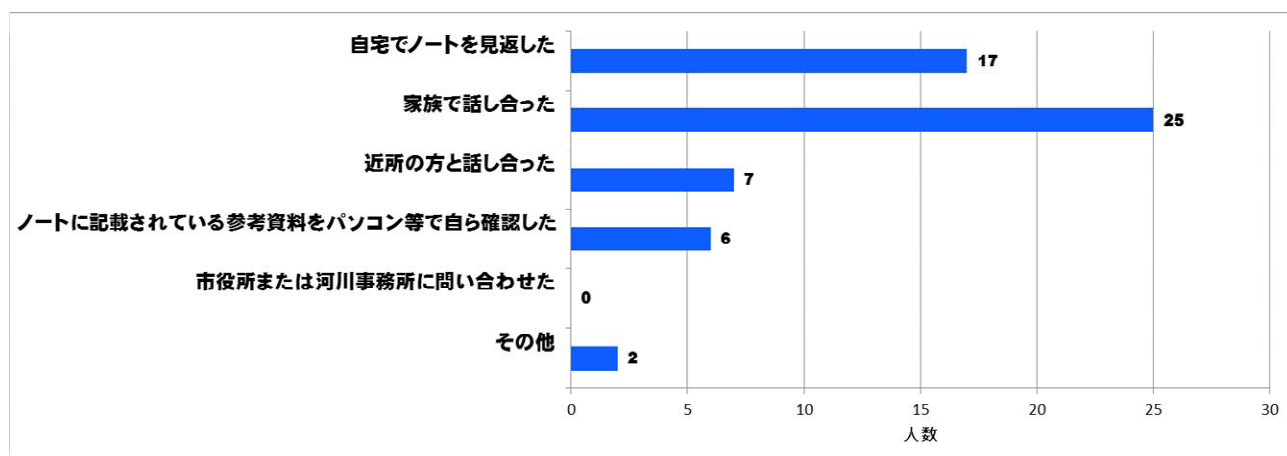
2. 1の質問で「分かりにくかった」、「全然分からなかった」と回答した方の意見。

- ホームページの見方が分からない。高齢のため。(70代・男性)
- 検討会の前提条件が自宅に常時居て、且つ高齢者の状況を中心に想定。その割には、避難のための情報収集等を、インターネットに重きを置いているのはどうか？情報発信者(市役所)は教えて欲しい。(60代・男性)

3. 本日の検討会に参加して分かったことや気づいたこと、今後どのように役立ちそうか。

- 持出品や行動のチェック表を用意しておくことは有効。(50代・女性)
- 正しい持ち物、避難場所の確認ができた。(50代)
- 意見も多くあり、非常に良い検討会です。(60代・男性)
- 子供が自宅にいることを前提にしているが、もし小・中学校に登校していたとしたらタイムラインも大きく変化すると思う。(50代・男性)
- 非常品、避難所(指定)。(50代・男性)
- 持ち出し品のリスト。(60代)
- 前もって持ち出しするもののリストがわかった。(50代)
- 避難計画が大変参考になった。(70代・男性)
- 他の参加者の意見で初めて知る内容があった。知ることができて良かった。(40代・男性)
- 安全を確保するための行動を整理しておく。(60代)
- 近所の方々の情報共有が出来た。(40代)
- 大体考えるコトは一緒。しょうがないよね人間なもの。(20代・女性)
- いろいろな意見が出たなかで、自分が気づけなかった事や、持ち物・必需品などがわかった。(50代・女性)
- 各グループの協力性、意見交換できて、非常に為になりました。(30代・男性)
- 近所の方といろいろ話し、意見をすることが出来て良かった。いろんな見方が分かった。(30代・男性)
- 避難するとき、家のブレーカーを落としていく。当座使えるお金、薬などの持出し。(70代・女性)
- 自宅に居た方、避難された方等、苦労された事や、必要な物が確認できた。(50代・男性)
- 早めに上流の情報を知る。(50代・女性)
- 川に近い場所を避難場所に設定するなど、行政の想定の甘さを感じた。(20代・男性)
- よくわかった。(70代)
- 近所の方の考えが分かってよかった。(50代・男性)
- 色々な形の想定条件を設定して、個別案件毎に、地域内で検討が必要。(60代)

4. 第一回検討会に参加された方にお聞きます。前回の検討後におこなったことをお聞かせください。



<その他>

- HPを見た。(50代・女性)
- 特になし。というか見返す時間もなかった。(20代・女性)

検討会の後に、家族で話し合った方が最も多く、その次に自宅でノートを見返した方が多かった。

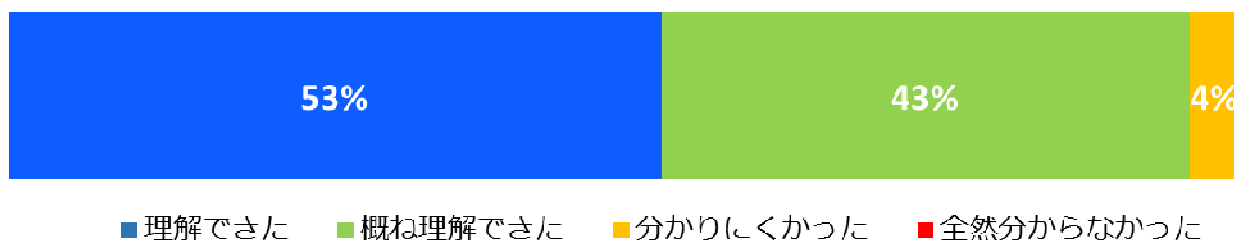
5. 第一回検討会に参加された方にお聞きます。配布されたノート以外で、欲しい資料や情報等がありましたら、お聞かせください。

- 具体的に行動するために必要な情報(ex. 避難所の内容：施設、受入人数、駐車台数を早い時期に提供してほしい。(50代・女性)
- 持ち出し用リストのチェックシート。(20代・女性)
- 河川の水位を調べた。(50代・女性)
- 避難できる場所、開いている場所、定員とかあれば、知りたい。(30代・女性)
- 検討会の中で共有したQ&Aなどまとめたものを入手できると助かります。(50代)
- 防災無線が通常時でも聞き取りにくい。風雨が強いときは、全く分からない。防災放送の見直しを望みます。(60代)

(5) 根新田地区 第3回検討会アンケート集計結果 (総数40名)

1. 今回の検討会の内容は理解できましたか。

図1 洪水時に得られる情報と読み解き方



理解度では、理解できたと回答した方が、53%と最も多く、概ね理解できたと回答した方を合わせると96%であった。

2. 1の質問で「分かりにくかった」、「全然分からなかった」と回答した方の意見。

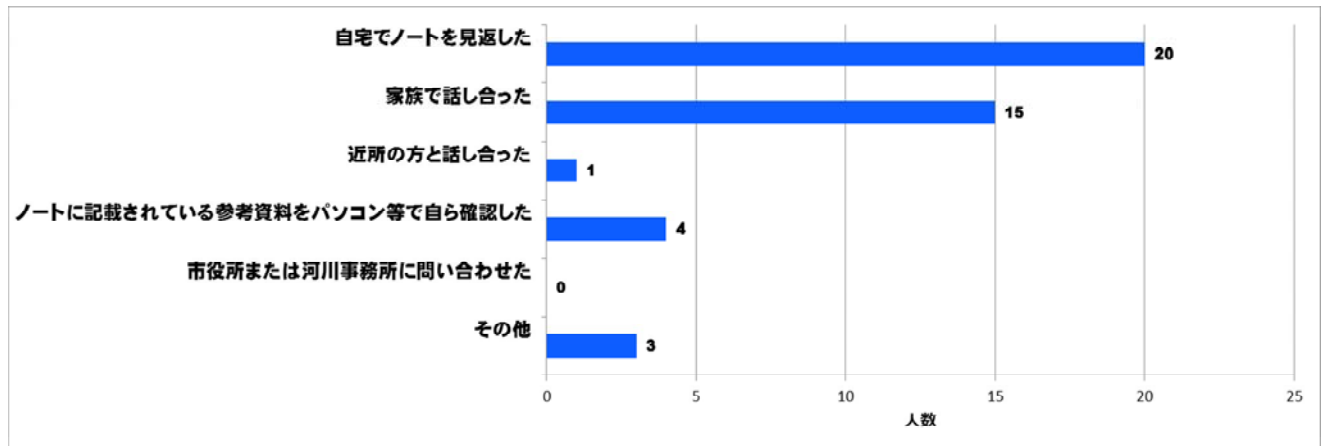
- 初めての参加で分かりにくかった。
- 分かりにくかったがスタッフの方に聞いて少しわかりました。

3. 本日の検討会に参加して分かったことや気づいたこと、今後どのように役立ちそうか。

- 夫婦で相談する事もあるので2人で参加したほうが良いと思いました。
- 円滑な避難を行うための準備-工夫は参考になった。(20代・男性)
- 洪水があったときに次の世代の人たちに役立ててほしい。(50代・男性)
- 意見交換によって気がつかない事や必要な物などが発見することが出来た。(50代・女性)
- いくつかパターンを作成し、家族全員が確認出来るようにしたら良い。(20代・女性)
- 日々の準備。(50代・男性)
- 皆の意見を聞く事により、持ち出し品の再確認ができた。近所の方との情報の共有の大切さを改めて感じた。(40代・男性)
- 前回の水害時はペット(ネコ)がまだいなかったもので、今回参加して大変役に立ちました。(40代・男性)
- 避難する時間や避難完了時刻などよくわかった。(50代・男性)
- 防災において地域コミュニティーの結びつきが重要なことが再認識できた。(50代・男性)
- 種々の事前準備が大変参考になりました。(70代以上・男性)
- 避難場所は1ヶ所だけでなく数ヶ所考えておく必要がある持ち出し品や日頃、ガソリン・携帯の充電をしておく。避難したことを知らせる必要がある。(70代以上)

-
- 自分の身は自分で守を基本に思える、気付きました。周囲の方々にも目を向けて、地区の協力を強くしていきたい。
 - 今まで自分及び家族単位のタイムラインを想定していたが地区全体で避難、前後で出来ること等を考える事ができた。(60代・女性)
 - 早目に避難する。(60代)
 - 近所の方の避難方法も参考になった。(30代・女性)
 - 早めに避難すること。(60代)
 - 参加して心の準備が具体的に可能になった。(70代以上・女性)
 - すでに作成していましたが色々な方の意見を聞いて不足している内容もあったので参考になった。(40代)
 - 他の町民の考えや、避難計画を共有でき、良かった。(40代・男性)
 - とても色々な意見があり、とても参考になりました。(60代)
 - いつも祖母と離れているので、近所の方のお顔やお名前がわかってよかった。前回の災害を踏まえ、親戚皆で話し合い、今後の事を話し合いたいと思った。(20代・女性)
 - 主人に代わって本日初参加しました。災害時の事を再度思い出し、振り返る事ができた。災害後、この地区に引っ越ししてきた為、今の住まいで災害が起きたときのシュミレーションをすることができよかった。(30代・女性)
 - 避難するための時間的行動が確認できた。また、行動の詳細な内容を把握することが、避難をスムーズにし、身の安全確保につながる事が、理解できました。イレギュラーが発生した場合の対処方法、行動も次に確認したい。(60代・男性)
 - 避難準備の大切さ(具体的、日常的)早目の避難行動。(50代・男性)
 - 自分が思った以上に用意する物が多い事に気付かされた。(60代)
 - 町内として、班として、個人として、何をするか、はっきりを決める事ができ、とても良かった。(50代・女性)

4. 第二回検討会に参加された方にお聞きます。前回の検討後におこなったことをお聞かせください。



<その他>

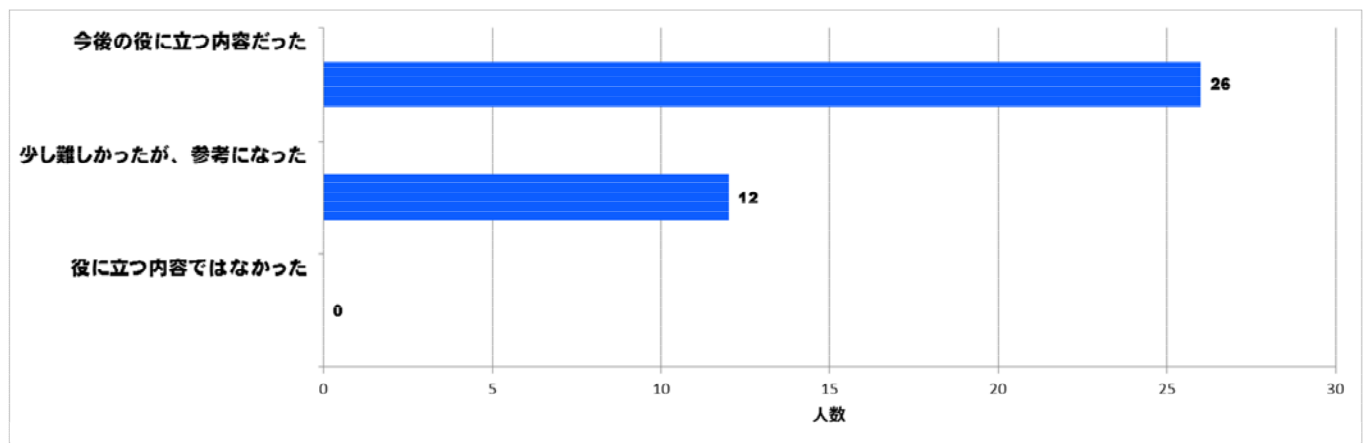
- 仕事が忙しく、振り返る時間がなかった。(20代、女性)
- 欠席しましたのでわかりませんでした。(60代)
- 2回目欠席。(30代、女性)
- 行政各所のネット情報を検索し、見やすさを比較した。行政の国民(市民)への分かりやすさの努力が足りないと感じた。見づらい。(50代、男性)

検討会の後に、自宅でノートを見返した方が最も多く、その次に家族で話し合った方が多かった。

5. 第二回検討会に参加された方にお聞きます。配布されたノート以外で、欲しい資料や情報等がありましたら、お聞かせください。

- 素人も多いため基準水位等の一覧があったら良いと思った(近隣の川(鬼怒川、小貝川)の基準水位、氾濫危険水位、氾濫水位を随時確認、見比べることが出来る物)。(20代・女性)
- 現時点の堤防の着工状況。(40代、男性)
- どこが通行可なのか、道路情報もほしい。(30代、女性)
- HPの見方やURL。具体的に紹介があると良い。(40代、男性)

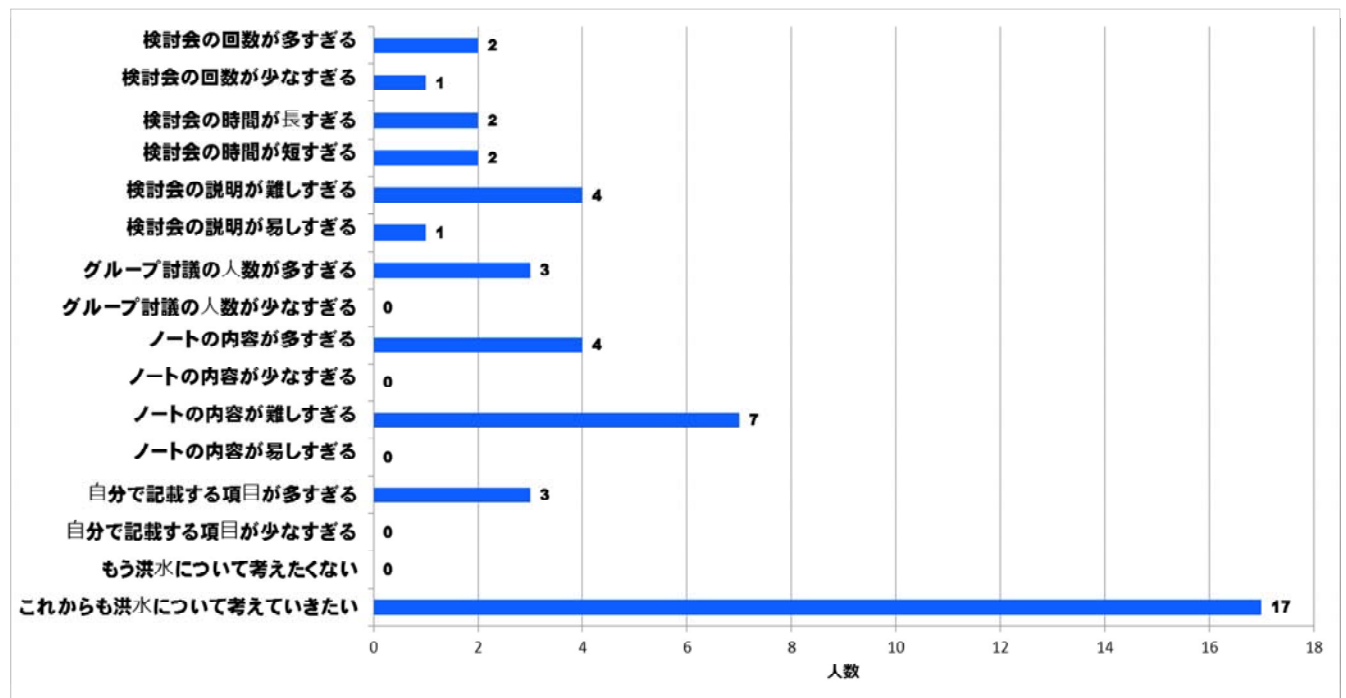
6. 3回の検討会を通してのご感想をお聞かせ下さい。



- 近所の人の考えを聞くことで新たに役に立ちそうなことに気がつけた。(50代・男性)
- 最後の問答形式での発表が分かりやすく良かった。(40代・男性)
- 色々参考になった。(50代・男性)
- 地区、地形を知る事ができ、避難時の参考になった。(70代以上・男性)
- 防災士を取得した人が近所にいて心強い。(70代以上)
- タイムラインが繰り返し進化して行くようにという話が参考になった。(60代・女性)
- タイムラインを充実させ、使えるものにしていきたい。(40代・男性)
- とても良かったです。(60代)
- 準備するもの等々、有意義な話し合いができた。(20代・女性)
- 自分及び家族の行動と時間をハッキリすることができた。また、準備段階の詳細(持出し品、家の戸締まり、1階の家財品 etc)をハッキリさせる事ができて役に立った。(60代・男性)
- 班内で情報交換しながら、マイタイムラインを作成できた。また近所の方々のタイムラインを知ることができた。(50代・男性)
- 30年程前の小貝川の決壊時、わが家が班長で、夫が班内に避難しようとして、1件ずつ歩いたと現区长鈴木さんの奥様(どちらも3班)から話して頂き、忘れていたのを教えて頂きました。当時水海道二高の体育館に避難しました。(60代・女性)

今後の役に立つ内容だったという意見が多かった。

7. この検討会を通じて感じた気持ちに近いものを選んで、ご意見お聞かせください。



- 洪水について思い出したくないが、次の世代や今後のことを考えるとやらなければならない。
(50代・男性)
- スクリーンが見えにくかった。(20代・男性)
- 説明が聞き取りづらい。投影での説明時スクリーンが見えない。(60代)
- 凡人でも分かりやすく、簡潔にしてほしかった。(20代・女性)
- 根新田公民館よりは広いが、もう少し会場が広いほうが良い。記入・メモが難しい。スタッフの方の気配りが大変に良いと感じた。(40代・男性)
- 書き出すことが慣れてないので大変に思ったが必要なことだと思う。(70代以上)
- 行政の早急な対応を！(60代・男性)
- 自分達以外に、近所の方の避難場所を聞いておくのも大事である事に気づいた。(30代・女性)
- 未だに洪水のことを思うとトラウマで恐ろしくなる。早目に鬼怒川の堤防を高く直してください。(60代)
- プロからのアドバイスを聞くことができ参考になった。ex)長靴よりスニーカー、地震と水害時の避難場所が異なってくるなど。(30代・女性)
- 防災に関しては、水害に限らず、地震も予想されます。共通するもの、当該災害特有のものがあり、今後は特有、共通のものに対して防災のための具体的な行動確認が必要と思います。
(60代・男性)
- 作業するスペースがせまく、ノートを確認、記入するのが大変な方が多くいた。(50代・男性)

-
- 皆で考えるということが大事。稀に町内の中の班内で話し合うことがもっと大事、それぞれの班が行動する事が大事。班長がリーダーシップを取る。(60代・女性)

この検討会を通じて、これからも洪水について考えていきたい方が最も多い意見であった。

6.2 関係機関参加者からのアンケート結果

1. 開催会場や会場設備等について気づいたことや思ったことなど自由にご意見をお聞かせください。

- 住民の方々が参加しやすいよう、今回のように、地区内の小学校体育館などを会場とするのがよいと思う。開催時期により、冷暖房の設備が必要。
- 住民の参加率を高めるために、地元での開催（小学校等）が望ましいと思われる。
- 実際に避難所として指定されている体育館や公民館等を開催会場として利用し、かつ、台風シーズン前に開催できれば、より現実感をもった検討をすることができると思う。
- 住民の参加率を高めるため、近い場所・気軽に来れる場所として公民館・学校が望ましいが、会場面積の確保の課題もある。さらに、会場設備の準備などの費用もかかることから、必要経費の確保の課題もある。
- 1回、60～70名程度の参加者を10グループに分けるくらいの規模の会場が適切な規模だと思う。
- 公民館など住民が集まりやすい場を設定し、その設備を境界条件として、運営可能な検討会の仕様（人数、グループ数等）を検討するアプローチも検討すべきかと思う。
- 第1回根新田地区検討会の会場は、机がなかったので、参加者がメモするのが大変だと感じた。
- 若宮戸地区では、第2回、3回の検討会が同日に開催されたが長時間にわたり、また、開場の体育館は非常に寒かったこともあり、集中力の維持等、大変だったと思われる。
- 隣のグループのテーブルとの間隔が狭く、スタッフが住民の間に入っていきことや中央に座った人へ声をかけることが難しかった。
- グループ討議の際、隣のグループとの距離が近いと、話していることが聞きづらくなると感じた。討論時には別室や距離を離すなどの工夫が必要だと感じた。
- グループリーダーは、グループ内の中央に配席していただいた方がよかった。

2. 検討会の進め方について気づいたことや思ったことなど自由にご意見をお聞かせください。

- 他の地域で検討会を水平展開するに当たり、市町村職員が検討会を仕切る場合には、当該職員向けに研修を実施するなど、サポートする体制を整える必要があると思われる。
- 2回目以降の検討会を行う際には、グループリーダーに事前の打合せを行うことが必要だと感じた。
- 3つのステップを踏むことが防災力の向上につながると考えるが、よりシンプルに、1日でもマイ・タイムラインを作れるような検討会の方策を考えるべきかと思う。
- 全体として時間が短く、説明・作業時に早足にならざるをえない印象を受けた。現資料をそのまま活用の場合には日程を増やす（年間で3ヶ月に1回等）、もしくは、資料をシンプルにするなどの工夫が必要だと思った。
- 資料を、入門編、中級者編（上級編）に分けて提供した方が良いかもしれない。E-learning化したり、お年寄りでも簡単に操作できるようにWeb化してタブレット等で見せるなどの工夫も必要だと思った。

-
- 資料をもっと簡単にわかりやすくしたほうがよいと思う。検討会の日程等については、短い期間で（2カ月に1回で2回開催）、時間については2時間ぐらいの検討会にしたほうがよいと思った。
 - 参加者の平均年齢が高く、地形の特徴から氾濫シミュレーション等は理解困難と思われる住民がいらっしゃったので、理解容易な内容にするかの検討が必要と思った。また、各自治区が検討会を2日又は3日で実施したが、何れでも問題はないと感じた。
 - 専門用語を避けて分かりやすく説明することを心がけておられたが、説明に要する時間がやや長いと感じた。
 - 専門用語を避けた分かりやすい説明での進め方は、時間は要するが、親近感と理解度が深まったと感じた。
 - 所属機関として活躍する場面が少なく、サポートメンバーとしての役割の機会が多かったと感じた。今後は、関係機関の挨拶または紹介が終わったら、委員は各グループに分散して、早い段階からサポートメンバーとして参加してもよいのではないかと。
 - スタッフが住民に対して個別に説明している声などにかき消されて、全体に向けての説明が聞こえないという声があった。
 - グループ討議は6～7人が理想的だと思った。グループリーダー役の方々には事前のレクが必要と思った。若宮戸は2回の検討会でしたが、グループリーダーの方々によるリードが効果的だったと思う。

3. グループでの意見交換の場で、困ったことや気づいたことなど自由にご意見をお聞かせください。

- ご近所同士などのより身近な単位でグループ分けができると、現実感をもった検討が可能となり、地域の連携づくりにも繋がると思う。
- グループワークでどのような助言をどのタイミングで誰に対してすると良いかなど、グループワークの支援職員への研修等があると良い。
- 常総市民は、関東・東北豪雨時に避難した経験があることから、グループワークでも積極的な意見交換がなされたと思われるが、他地域の住民は避難の経験があまりないと思われるため、参考例や記載例などを充実させても良いかと思われる。
- 時間的な制約もあり、全員が発言できない状況であった。とは言え、全体で2時間以上の検討会となると、参加者が少なくなるおそれもあり、意見交換の時間をどの程度設定しておくべきかについては、今後の課題であると思う。
- 現時点では、まだグループの適正規模を図りかねている。バリエーションを増やして、もう少し事例を積み重ねる必要がある。
- グループ討議の際に話が聞き取りづらかった。グループ人数の差があることが気になった。
- サポートメンバーをなるべく多く配置して、効率よく意見を集約できる体制が必要と感じました。
- 本検討会を実施する前は、各世帯が検討する自助を主体として進めるよう計画されたと思うが、グループの意見交換では、世帯がどうするか以上に、班・区としてどの様に協力しなければならないかという共助の部分が多く話題になっており、自主防災の取組みが出ていたと思う。

-
- グループ討議の進め方をある程度明示的に示した方が良かったのではないかと感じた。論点を提示したり、参考事例を提示したり、あるいは、支援する人・支援を受ける人に分かれてゲーム的にしたり、様々な工夫が考えられると思う。
 - 若宮戸地区の検討会では、質問を受けなかったが、根新田地区の検討会では多くの質問を受けた。年配の方々の中には、氾濫が発生する時間を0hとして、概ねその3時間前には自主避難を完了するといった概念を十分に理解されていない人が見受けられた。
 - あらかじめ議題や検討の枠組みなどをホワイトボードに書きだしておく、進行がスムーズだった。

4. マイ・タイムラインを作成もしくは作成のお手伝いをして、気づいたことや思ったことなど自由にご意見をお聞かせください。

- 常総市民は、関東・東北豪雨の被災経験があることから、積極的にマイ・タイムラインの作成に取り組んでいただけたと思われる。
- 参加者の中には、前回の豪雨災害での経験を基に、自宅に留まるとの判断をしていた人が多かったように思う。指定避難所の場所についても、新たな浸水想定区域図やハザードマップを踏まえ変更される可能性があり、再度、避難場所や避難経路について整理が必要であると思う。住民の皆さんに指定された避難場所等をきちんと示し、そこまでの避難を考えてもらうことが一番重要なのではないかと思う。
- マイ・タイムラインの作成過程で考えること、作成後の意見交換で考えること、このような住民ご自身が考えるということが、みんなでタイムラインプロジェクトの狙いなので、そのサポート・アシストのノウハウ蓄積を図る必要がある。
- 書き込むことが多く・覚えることも多いため、ノート初見での検討会は大変な印象を受けた。事前に資料を配布なども検討してもいいと思う。
- ノートにたくさん書きたいのに記入欄が狭い、何を書いたら分からないという雰囲気が伝わってきたので、多くの記入が見込まれる欄は広く、また、それぞれの項目には記入例を示すことが必要だと感じた。
- 用語を覚えるのも大変だという意見があったため、用語の解説（紙ベース等）の配布も必要。
- マイ・タイムライン作成の導入段階においては、「国・市から、避難準備情報を受けた場合の対応のパターンをいくつか示して、住民の皆さんにはそのパターンの中から対応を選んでいただき、そのパターンを自分でカスタマイズして、書き落としていただいたものが、結果としてマイ・タイムラインになる」くらいの住民の皆さんにとっては、より裁量の幅の少ないナビゲーションがあっても良いように思う。
- 今回のマイ・タイムラインの作成は、第一歩であり、避難場所や経路を複数検討し、また、家族の実情や年齢構成を十分考慮しながら、よりよいマイ・タイムラインを作成する必要がある。

5. 今後、他の地域に検討会を広げるために実施した方がよいことや改善した方がよいことなど自由にご意見をお聞かせください。

- 一般の方が検討会へ複数回にわたって参加することは困難な場合が多いと思われることから、より簡便な内容として1~2回の検討会で終わられることが望ましい。
- 他のイベントと合わせて実施するためには、もう少し短時間で実施可能なシンプル版があるとよいのではと感じた。
- 検討会の実施に当たっては、あらかじめ河川の危険箇所を見学し、リアリティを持たせるようにすることが効果的ではないか。
- 市町村によっては、自治会等の単位だと全地区で実施していくことは負担感が大きいと思われるため、小学校区単位など、ある程度の規模感で実施することも良いかと思う。
- 各市町村において地域のグループリーダーを対象とした検討会を実施し、そのリーダーを中心に各地区でマイ・タイムラインづくりを進めてもらうような方法も良いのではないかと思う。
- 今回と同様の運営会議委員を構成して実施することは非常に難しいと感じた。委員が少人数でも進められるような進行、ノート構成が必要ではないか。
- 短期間でできるような簡易版（簡単なマニュアル）みたいなものがあるとよいと思う。
- マイ・タイムライン作成までの流れを、ITを活用したシンプル化、省資源化、省力化を進めることが必要だと感じた。
- 避難の開始のトリガーとしてどのような情報がどこから出され、何をもって行動するのかを十分理解していただく必要があると感じた。防災リーダーの方々には、河川監視の方法、指定河川洪水予報を含む防災気象情報、避難勧告（指示）が出されるタイミングやその意味を十分に理解していただきたいと感じた。
- 今回作成したマイ・タイムラインを基にした対応訓練を是非実施願いたい。訓練を実施することにより今回作成したマイ・タイムラインの意味や非常時の対応行動がより深く理解できるものとする。

7. 関連名簿

7.1 検討会に参加された住民の皆様

(1) 若宮戸地区（83名）

青柳清	芦ヶ谷城	荒木香椎
栗野としえ	飯島清子	池田由紀子
石塚三枝	石塚政弘	石塚春江
石塚晴久	石山佐知子	磯山孝子
磯山政己	猪瀬英男	猪瀬峰雄
遠藤幸助	大川信子	大崎悦夫
大崎勝敏	大崎幸吉	岡田勇樹
門井忍	門井和子	門井絹江
門井正志	門井その子	門井富男
門井信夫	門井豊美	門井貢
門井米男	菊池敬三	菊池進
工藤薫	黒須勝幸	黒須清
黒須恵	小谷正恒	小林淳子
小林喜美男	小林清志	小林健治
小林こう	小林修一	小林順子
小林敏勝	小林邦榮	小林静枝
近藤利一	逆井正夫	峪口浩孝
佐藤一也	静和之	篠崎里子
柴崎勝男	鈴木溶平	関口亮二
高橋徹男	高橋豊	土河隆
所正行	中澤正和	中嶋浩
西川喜一	野村明	平久保拓朗
平塚純	平塚千恵子	平塚ひとみ
平塚道男	平塚道治	平塚稔
平間正之	星野正男	細田敬吉
八雲井直樹	八雲井みつ子	谷中章
谷中保	谷中保男	山田文男
吉原栄	和田幸二郎	

※五十音順

(2) 根新田地区 (82名)

秋山信秋	有馬司	有馬伍郎
飯島すみ	池田武雄	犬塚世
猪瀬弘美	蛭原高司	遠藤宏行
小川寅三	大塚美佐子	大沼征男
加藤岩雄	片岡紀男	笠原洋子
川崎真吾	北原真正	木村剛
木村元子	菊田良美	菊池康之
草間武志	倉持輝雄	倉本良一
五木田良一	近藤三江	齋藤完
斉藤安久	斉藤洋治	坂和生
坂卷邦男	椎名保栄	須賀英雄
鈴木孝八郎	須藤茂	須藤章彦
高田智	高田正夫	高田義雄
高野章	高野好夫	玉置政嗣
津川章子	中村節子	中村敏明
中根正美	中村博美	西尾和子
西尾旦実	沼尻洋夫	沼尻ふみ
箱守正紹	長谷川哲夫	廣瀬一弘
廣瀬晴一	廣瀬光男	廣瀬了
辺見芳宏	深谷道夫	船本宏明
古谷清治	古矢芳雄	増田千恵
松崎國忠一	松丸憲	丸山航
宮國光枝	宮川誠	宮川寛剛
宮川信幸	宮川政男	村上浩
本橋保法	山口不二雄	山崎峰幸
山崎祐介	湯田かづゑ	吉川宏
淀名和博	淀名和享	淀名和清美
淀名和千恵子		

※五十音順

7.2 運営会議委員

自治区長

- ・若宮戸南部自治区長 青柳清
- ・若宮戸中部自治区長 小林健治
- ・若宮戸東部自治区長 門井富男
- ・若宮戸西部自治区長 猪瀬峰雄
- ・若宮戸若松会自治区長 芦ヶ谷城
- ・若宮戸曲松会自治区長 佐藤一也
- ・若宮戸中央自治区長 菊池進
- ・根新田自治区長 鈴木孝八郎
- ・根新田事務局 須賀英雄

学識者及び学生

- ・筑波大学 情報系社会工学域 教授 川島宏一
筑波大学 システム情報工学研究科 社会工学専攻 河田昂（学生）
筑波大学 社会工学類 都市計画主専攻 鈴木大志（学生）
- ・茨城大学 人文学部人文コミュニケーション学科 教授 伊藤哲司
茨城大学 人文学部人文コミュニケーション学科 菊地ほのか（学生）
茨城大学 人文学部人文コミュニケーション学科 山口紗奈子（学生）
茨城大学 人文学部人文コミュニケーション学科 アリマ（学生）
- ・筑波大学 システム情報系構造エネルギー工学域 准教授 白川直樹
筑波大学 社会・国際学群 国際総合学類 今泉光華（学生）
筑波大学 社会・国際学群 国際総合学類 肥田野美琴（学生）
筑波大学 社会・国際学群 国際総合学類 饒平名青空（学生）

常総市

- ・市長 神達岳志
- ・副市長 塩畑実
- ・市民生活部 部長 須藤一徳
- ・市民生活部安全安心課 課長 斎藤健司
- ・市民生活部安全安心課 防災・危機管理室長 溝上博
- ・市民生活部安全安心課 課長補佐 小林弘
- ・市民生活部安全安心課 主査兼係長 安田洋行
- ・市民生活部安全安心課 主事 石塚健一
- ・市民生活部安全安心課 主事 草間裕介
- ・都市建設部建設課 課長 石塚茂彦
- ・保健福祉部長 部長 石塚晴代

常総警察署

- ・警備課長 警部 清水健吾

茨城西南地方広域市町村圏事務組合消防本部

- ・下妻消防署 石下分署 分署長 栗原稔

常総地方広域市町村圏事務組合消防本部

- ・水海道消防署 副署長 山田修
- ・水海道消防署北出張所 所長 渡辺和彦
- ・水海道消防署絹西出張所 所長 五木田敬

茨城県

- ・生活環境部 防災・危機管理局 防災・危機管理課 副参事 飛田聡志
- ・生活環境部 防災・危機管理局 防災・危機管理課 係長 小林毅史
- ・土木部 河川課鬼怒川流域緊急対策推進室 室長代理 栗林俊一
- ・土木部 河川課鬼怒川流域緊急対策推進室 係長 皆藤開平

水戸地方気象台

- ・防災管理官 渡辺徹
- ・水害対策気象官 金内正文

国土交通省 関東地方整備局 下館河川事務所

- ・事務所長 里村真吾
- ・副所長 須藤純一
- ・調査課 課長 伊藤克雄
- ・調査課 専門員 平出亮輔

8. 参考情報 報道機関により取り上げられた情報等の紹介

(1) 新聞記事

日時	発行者	概要
2016年10月25日	茨城新聞(朝刊)	市民個別に防災行動計画 常総市作成へ逃げ遅れゼロ目指す
2016年10月25日	毎日新聞 (朝刊)	避難計画住民個々で 洪水時常総市2地区で作成へ
2016年10月29日	読売新聞 (朝刊)	自分の避難行動計画作成 常総2地区、来春までに 鬼怒川・小貝川減災協
2016年11月16日	東京新聞 (朝刊)	タイムラインで命守る 常総市民1人1人に避難手順
2016年11月21日	茨城新聞(朝刊)	住民個別の避難計画 常総 根新田町内会が検討会
2016年11月25日	毎日新聞 (朝刊)	「私の避難計画」作成 常総タイムライン検討会
2017年1月7日	朝日新聞(夕刊)	「マイ避難計画」住民が作成 水害経験した茨城・常総
2017年2月6日	毎日新聞 (朝刊)	常総検討会 マイ・タイムライン完成 地区単位で初 周辺自治体に拡大へ
2017年2月7日	朝日新聞 (朝刊)	「マイ避難計画」できた 被災体験踏まえ時系列で
2017年2月20日	毎日新聞 (朝刊)	タイムライン完成 常総・根新田住民避難行動まとめ
2017年2月20日	産経新聞 (朝刊)	水害の備え全国に発信 常総市「住民版タイムライン」が完成
2017年2月20日	東京新聞 (朝刊)	災害時どう行動するか「タイムライン」完成 常総市の根新田町内会
2017年3月19日	茨城新聞 (朝刊)	「逃げ遅れゼロ」注目

市民個別に防災行動計画

常総市逃げ遅れゼロ目指す 作成へ

昨年9月の関東・東北豪雨で水害に見舞われた常総市と国土交通省などは、住民一人一人に合った避難のタイミングや行動を定めた個別の防災行動計画(マイ・タイムライン)作りを始める。風水害に備えて自治体などが事前に取り組むべき対応を時系列で整理した防災行動計画(タイムライン)の個人版で、市民を交えた検討会を11月に立ち上げる。住民の防災意識を高めることで「逃げ遅れゼロ」を目指す。

新田地区の2地区をモデル地区に指定する。警察や消防、防災の専門家の協力を得て、2地区の住民に参加してもらう検討会を11月下旬ごろから開き、一人一人の環境に合ったマイ・タイムラインを本年度中にまとめる。

新田地区の2地区をモデル地区に指定する。警察や消防、防災の専門家の協力を得て、2地区の住民に参加してもらう検討会を11月下旬ごろから開き、一人一人の環境に合ったマイ・タイムラインを本年度中にまとめる。

新田地区の2地区をモデル地区に指定する。警察や消防、防災の専門家の協力を得て、2地区の住民に参加してもらう検討会を11月下旬ごろから開き、一人一人の環境に合ったマイ・タイムラインを本年度中にまとめる。

新田地区の2地区をモデル地区に指定する。警察や消防、防災の専門家の協力を得て、2地区の住民に参加してもらう検討会を11月下旬ごろから開き、一人一人の環境に合ったマイ・タイムラインを本年度中にまとめる。

その上で、先を見越した方を選び、家族構成なども行動が取れるよう気象情報や河川の水位情報などの見定する。自治体からの避難

情報に応じた逃げるタイミングや家族内での役割分担、避難所の位置や避難経路を検討し、一人一人の行動を具体的に記入していく。

同市安全安心課は「検討会での意見交換など、マイ・タイムライン作りをきっかけに地域ごとの『共助』の体制も強化していきたい」と説明している。同協議会は今後、モデル地区で蓄積したノウハウを

生かし、市全体や同市以外の自治体でも同様の取り組みを広げたい考え。

同市の水害では、市の面積の約3分の1が浸水。多くの住民が逃げ遅れて孤立し、ヘリコプターでの1339人を含む計4258人が救助された。同協議会は今年2月に発足し、同市など10市町のタイムラインは5月末までに作成を終え、公表された。(戸島大樹)

避難計画 住民個々で

洪水時 常総市2地区で作成へ

鬼怒川と小貝川の氾濫被害の軽減を目指す「減災対策協議会」（国土交通省関東地方整備局と県、流域10市町などで構成）は、避難時期など洪水時の行動をまとめた「タイムライン」を、住民一人一人に作ってもらう取り組みを始める。周辺環境や家庭などの事情に合わせて行動を考えてもらい、逃げ遅れをなくすのが狙い。モデル地区として、関東・東北豪雨で大きな被害を受け

た常総市で2地区を選び、来月から作成のため検討会を開く。先の豪雨では約4300人がヘリなどで救助されており、住民自らの確かな避難行動を取ることが重要課題。タイムラインは、行政や住民などが「いつ、何をやるのか」を時間軸に沿って整理したもので、参加10市町は作成済み。住民の行動は標準的な内容が記されているが、例えば、高齢者がいる家庭はより早

く避難した方がいいケースもある。このため、同協議会は「マイ・タイムライン」と名付けて、自分に合った行動計画を作成してもらうことにした。

国土交通省下館河川事務所によると、その内容は、現行の内容をベースにして「河川の情報は何によって入手するか」「高齢者がいる場合の避難のタイミングを書き込む」などの具体化や追加が考えられるという。同事務

所は「洪水時にチェックすれば、逃げ遅れを防ぐ効果がある」と説明する。

モテル地区の2地区は、他自治体への避難も想定される市北端の若宮戸地区と、災害時の情報共有で進んだ取り組みをする根新田地区。検討会は、住民と市、同事務所など関係機関、有識者で構成。市がサポートするなどして、過去の洪水や地形的特徴、洪水時に得られる情報の読み解き

方などを住民に知ってもらう上、今年度中に作成してもらう。市安全安心課の斎藤健司課長は「全地区に広げ、多くの市民に参加してもらえよう努めたい」と話す。同協議会では、今後参加する他市町にも作成を広げる予定だ。

【宮田哲】

自分の避難行動計画作成

常総2地区、来春までに

鬼怒川・小貝川 減災協

昨年9月の関東・東北豪雨被害を受けて、国や県、鬼怒川・小貝川の流域市町村で組織する減災対策協議会は、住民一人ひとりが自らの避難行動計画「マイ・タイムライン」を作るプロジェクトを始める。11月からモデル地区となる常総市内2地区で専門家らによる検討会を開き、来年3月までの作成を目指す。

達や社会学に詳しい筑波大と茨城大の教授なども専門家として加わる。

手順として、①過去の洪水や地形の特徴を学び、水

害の危険性を知る②避難情報などの読み解き方を学

び、自らの行動を考える③

個人の環境に合わせたタイ

ムラインを作成——を想

定。来年3月までに、家族

や個人の実情にあった避難

行動計画を作ってもらっ

定だ。

モデル地区となる若宮戸

地区と根新田地区では、11

月から2、3回の検討会を

予定しており、地域住民が

話し合いながら、災害時に

それぞれが取るべき行動を

考える。

下館河川事務所の須藤純

一副所長は「地域で情報を

共有できれば、近所のお年

寄りの避難を考えるきっかけ

④マイ・タイムラインを作るまでの手順

ステップ1 住んでいる地域の洪水リスクを知る
過去の洪水、地形の特徴など

ステップ2 洪水時に得られる情報と、
タイムラインの考え方を知る
情報の読み解き方、自らの逃げ方など

ステップ3 マイ・タイムラインを作成
それぞれの環境に合わせた行動計画を作る

災害時にとるべき行動を事前にまとめるタイムラインは、全国の自治体で導入が広がる。個人や家族単位で作成を目指す取り組みは珍しいという、国土交通省下館河川事務所は「全国にモデルケースとして広がってほしい」と期待している。マイ・タイムラインを作るための検討会には、地元

の警察、消防のほか、県、水戸地方気象台、下館河川事務所などが参加。情報伝

けにもなる」と話した。同協議会は今後、鬼怒川・小貝川の流域市町にも取り組みを広げていくという。

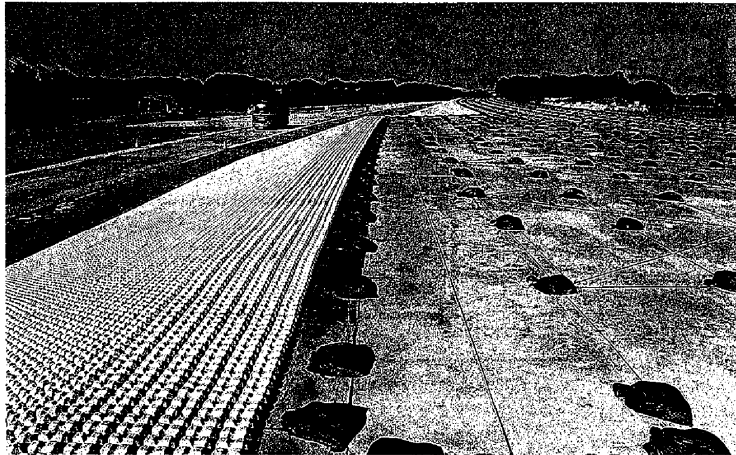
常総市安全安心課の斎藤健司課長は、「関東・東北豪雨の際には、家に残っている人もいた。全世帯でタイムラインを作ってもらい、日頃から危機意識を高めるきっかけにしたい」としている。

常総市と国土交通省下館河川事務所は今月から、昨年の鬼怒川決壊を受け、市民一人一人の時系列の防災行動計画「タイムライン」作りを始める。住民の避難の手順をあらかじめ決めておき、逃げ遅れを防ぐのが目的。タイムラインの作成は自治体の間で広がっているが、下館河川事務所は「市民や世帯単位は全国初ではないか」としている。(宮本隆康)

め決めておき、逃げ遅れを防ぐのが目的。タイムラインの作成は自治体の間で広がっているが、下館河川事務所は「市民や世帯単位は全国初ではないか」としている。(宮本隆康)

タイムラインで命を守る

常総市民1人1人に避難手順



市民のタイムラインが作られる若宮戸地区の鬼怒川河川敷。堤防の工事が行われている=常総市で

タイムライン 台風上陸などの数日前から避難して、時系列で「いつ」「誰が」「何を」するのかを文書や表で示し、「事前防災行動計画」とも呼ばれる。2012年にハリケーンが米国東海岸を襲った際に活用され、被害を減らしたことに日本の防災関係者が注目した。防災対応の不備が問われた常総市の水害を受け、約1年前から導入する自治体が大幅に増えている。

若宮戸・根新田両地区から拡大目指す

昨年水害では、常総市の避難指示の遅れや混乱が問題になり、全国の自治体でタイムライン導入が進んでいる。常総市をはじめ、鬼怒川と小貝川の下流域の十市町も今年五月、河川の水位などに応じ、職員らの対応を定めたタイムラインをまとめている。

市民個々のタイムライン作りは、昨年の常総水害で四千人以上が逃げ遅れたことから計画された。市の避難情報などに応じ、持ち出す荷物の準備、川の水位の確認、避難開始のタイミング、避難経路などの手順を時系列で決めておく。

お年寄りや早めの避難開始が求められるなど、同じ地区でも個人や世帯によって、タイムラインの内容は異なるという。

市と下館河川事務所は、モデル地区として、水害で大きな被害を受けた市内の若宮戸、根新田の二地区を指定。対象の約三百八十世帯、関係機関、有識者らによる検討会を二十日から設置し、本年度中にもタイムラインをまとめる。

来年度以降は、常総市内の他の地区や、鬼怒川、小貝川の下流域の他市町に広げることを目指す。

下館河川事務所の担当者は「タイムラインは一度作って終わりではなく、家族構成が変わった時など、随時更新が必要。常総市の取り組みが、全国にモデルケースとして広がってほしい」と話している。

住民個別の避難計画

常総 根新田町内会が検討会

昨年9月に鬼怒川決壊などの水害に襲われた常総市で、住民一人一人が洪水避難のタイミングについて検討する取り組みが始まった。モデル地区となった根新田町内会の第1回検討会が20日、同市中妻町の根新田会館で行われ、国土交通省や市の担当者が居住地域の水害リスクなどについて住民に説明した。検討会はあと2回行われ、住民は家族構成などに応じた個別の防災行動計画（マイ・タイムライン）を来年2月までに作り上げる。

タイムラインは災害発生から逆算して自治体や住民の取るべき行動を時系列でまとめた表。昨年の水害を

受け、県内の鬼怒川流域自治体では既に作成を終えているが、国交省では目標とする「逃げ遅れゼロ」を目指すため、個人や家族単位での作成にも着手。モデル地区には常総市若宮戸の町内会も選ばれた。



専用のノートに記入しながら水害リスクについて学ぶ根新田町内会の人たち。常総市中妻町

根新田町内会には現在約100世帯400人が加入している。昨年の水害では9割の世帯で床上浸水の被害に見舞われたが、住民への情報伝達用として2年前に導入した一斉ショートメッセージサービスが威力を発揮、住民避難などに役立った。

この日の検討会には73世帯86人が出席し、国交省や市の担当者らが過去の水害状況を説明。参加者は鬼怒川の浸水想定区域図を参考にしながら、自宅の立つ土地の水害リスクを改めて把握した。

昨年の水害時にどうやって逃げたかなども配られた専用のノートに記入。災害に対する備えの重要性を再認識した。

国交省下館河川事務所の里村真吾所長は「家族構成や避難場所までの距離などは各家庭で異なる。マイ・タイムラインの作成を通じて、全員が避難のプロになってほしい」と期待。同町内会の鈴木孝八町長（74）は「タイムラインを作っておけば早め早めに行動でき、家財も安全な場所に避難させられる。今回の検討会に合わせ、町内会版もぜひ作りたい」と抱負を述べた。

検討会には警察や消防、防災に詳しい大学教授などもメンバーとして参加している。次回の開催は来年1月を予定し、若宮戸の第1回検討会は今年27日に行われる。（今橋憲正）

「私の避難計画」作成

常総タイムライン検討会

避難時期など洪水時の行動をまとめた「タイムライン」(事前防災行動計画)を、住民一人一人が作るための第1回検討会が常総市根新田地区で開かれた。鬼怒川と小貝川の氾濫被害の軽減を目指す「減災対策協議会」(国土交通省関東地方整備局と流域10市町などで構成)が「マイ・タイムライン」を付け、スタートさせた取り組み。関東・東北豪雨の際、携帯電話のショートメールを使って情報共有した同地区がモデル地区に選ばれた。

先の豪雨では約4300人がヘリなどで救出されるなど、逃げ遅れも目立った。マイ・タイムラインを避難時に活用してもらい、逃げ遅れをなくすが狙い。市作成のタイムラインには標準的な内容が記されているが、生活環境に合った行動計画を作成してもらう。モデル地区には、根新田以外にも、他自治体

への避難も想定される市北端の若宮戸地区も選ばれた。集会所で開かれた20



地域の洪水リスクなどを学んだ第1回検討会
—常総市根新田地区で

日の第1回検討会には住民約90人が参加。過去の洪水や、地形の特徴などについて説明を

受け、配布された「マイ・タイムラインノート」に気づいたことをメモした。「避難のために地区に舟がほしい」と記した男性もいた。同地区では今年度中に検討会をさらに2回開いてマイ・タイムラインを完成させる。

【宮田哲】

「マイ避難計画」住民が作成

水害経験した茨城・常総

2015年9月の関東・東北豪雨による鬼怒川の堤防決壊を受け、国土交通省と茨城県常総市などは、住民一人ひとりに自分にあった避難行動計画「マイ・タイムライン」作りを促している。住民の家族構成や生活スタイルに合わせて避難行動を専用ノートに書き込んでもらい、避難が必要な時に冷静に行動してもらう狙いだ。全国初の試みで、国交省は将来、全国に普及させたい考えだ。

市内の3分の1が浸水、約4200人が救助された。国交省は堤防の補強工事を進める一方、避難手順を時系列でまとめたタイムラインを自治体と作り、住民の避難態勢の確立に取り組んできた。ただ、いかに計画を住民に伝え、行動を促すかが課題として残った。

そこで、国交省下館河川事務所などは、避難情報が出た時に何をするか、住民に書き加えてもらうことにした。「マイ・タイムライン・ノート」を用意し、常

鬼怒川の堤防決壊で常総



「マイ・タイムライン」のノート。左側にある国や市からの情報に応じて、右側の空欄に自分の避難行動を書き込んで完成させる＝茨城県常総市

総市内2地区で講習会を始めた。

その一つ、根新田地区の講習会には155世帯のうち73世帯が参加。備蓄食料は何人分必要か、隣町まで避難する必要があるかなど、家族構成や住所によって自分の避難計画が変わる

ことを学んだ。鈴木孝八郎区長(74)は「互いにノートを見せ合えば、助け合いも生まれるはず」と話す。

完成は数回の講習会を終えた今年2月の予定。国交省河川環境課の宮本健也企画専門官は「住民一人ひとりを対象にした初の取り組みだ。自治体とのタイムライン作りは進んだが、住民の意識を高めるのはまだこれから」と話す。(三嶋伸一)

常総・検討会

マイ・タイムライン完成

地区単位で初 周辺自治体に拡大へ

避難時期など洪水時の行動をまとめた「マイタイムライン」を、住民一人一人が作るための検討会が常総市若宮戸地区で5日あり、参加した住民ら約20人の今回でタイムラインを完成させた。地区単位で個々の生活環境に応じたタイムラインが作成されたのは初めて。鬼怒川と小貝川の氾濫被害の軽減を目指す「減災対策協議会」（国土交通省関東地方整備局と流域10市町などで構成）が「マイ・タイムライン」と名付けて進める取り組みで、同協議会は周辺の地区や自治体にも広げる考えだ。

【宮田匠】

2015年9月の関東地区に降り、昨年11月からは東北豪雨では4300人がヘリなどで救出されており、逃げて避難をしない人が多く、これをなくすのが狙い。

これまで行政作成のタイムラインには、行政情報などを中心に、住民の行動も含まれていたが、標準的な内容だった。同協議会は豪雨時に鬼怒川が氾濫した同地区など7地区をモデル地区として、

参加した会社員、小林健治さん（48）は豪雨までは「本当に水がくる」と思っており、実際に避難も考えていなかった。

検討会では住民それぞれが自らの「逃げ方」を考え、常総市若宮戸の市立玉小で



◇小林健治さん一家の鬼怒川マイ・タイムライン◇

氾濫までの時間	行政情報	行動
3日前	台風予報	
2日前	大雨注意報・洪水注意報	
1日前	大雨警報・洪水警報	
半日前		インターネットで鬼怒川・小貝川の水位情報を確認
		水位情報に応じて家族にLINEで連絡して情報を共有
	避難準備・高齢者等避難開始	避難場所を確認・決定し、家族と情報共有
		薬、避難用備品、携帯電話、充電器、財布現金を準備、家財を高い所に移動、電気ブレーカー切る
5時間前		石下総合体育館へ避難開始 ※すべての車で
	避難勧告	
		石下総合体育館への避難完了
3時間前	避難指示（緊急）	
氾濫危険水位到達		
0時間前	氾濫が発生	

「避難のタイミングが分かっていたら、避難するのには、避難指示（緊急）発令を待たず、前段階の避難勧告が出た時と決めた。避難先は豪雨の時に決めた。避難先は、りも、浸水の心配がない施設を選んだ。複数回車を水没したことを経験していた。

「避難のタイミングが分かっていたら、避難するのには、避難指示（緊急）発令を待たず、前段階の避難勧告が出た時と決めた。避難先は豪雨の時に決めた。避難先は、りも、浸水の心配がない施設を選んだ。複数回車を水没したことを経験していた。

を踏まえ、次は全ての車を使って避難する計画だ。また家族が外出している場合を考え、連絡方法も書き込んだ。

他の参加者も自らの家の事情に応じて作成。介護が必要な親の避難準備や、農機具の高台移動の時期を記した例もあった。

取り組みに加わる川島宏一 筑波大教授は会の最後に「リリックに必要なものを入れておくなど、避難への意識を日常に落とし込ませることが大切。準備はいい」とアドバイ

「マイ避難計画」できた

「関東・東北豪雨」で鬼怒川が溢水した常総市若宮戸地区で5日、市民一人ひとりが自分の避難計画「マイ・タイムライン」を作成した。昨年11月から国や市などが講習会を開いて準備してきた。41人の参加者は、再び水害に襲われたら家族はいつ、何をするかを、自らの被災体験を踏まえて時系列に書き出した。

タイムライン（事前防災行動計画）は、国や市などなどのタイミングで水位情報や「避難勧告」、「避難指示（緊急）」を出すかを時系列にまとめたもの。今回はこれの家庭版を作ってもらい、逃げ遅れを防ぐという全国初の試みだ。

常総 国など講習会 41人参加

被災体験踏まえ 時系列で

完了したか」「避難開始は何時前にするか」を決めた。また、家族との連絡方法など具体的な手順を書き込んでいった。

会社員の小林健治さん（48）は鬼怒川水害時、最初に避難した避難所に水が押し寄せ、つくば市の親戚宅まで避難した経験がある。マイ・タイムラインには高所にある「石下総合体育館」を新たな避難場所を選び、仕事や学校でバラバラの家族のために携帯電話のラインで連絡を取り合おうと

などを記入。また、会社員の石塚晴久さん（67）は体の不自由な父親を心配するあまり逃げ遅れた。そこで「数時間前には父親の避難準備開始」と書き込んだ。



スタッフに教わりながら、マイ・タイムラインを作る参加者たち。常総市若宮戸の玉小小学校体育館

（三福伸一）

タイムライン完成

常総・根新田住民 避難行動まとめ

災害時の避難行動などを時系列でまとめた「タイムライン」を、常総市根新田地区の住民一人一人が作る検討会が19日、市役所であり、3回目の今回で完成した。地区単位で住民がタイムラインを作ったのは、同市若宮戸地区に次いで2例目。鬼怒川などの氾濫被害の軽減を目指す「減災対策協議会（国土



各自の避難行動を記して、マイ・タイムラインを作成する常総市根新田地区の住民たち—常総市役所で

交通管関東地方整備局と流城市町などで構成）が進める「マイ・タイムライン」と名付けた取り組み。個々の生活環境に合わせた計画を作って逃げ遅れをなくするのが狙いだ。同地区では昨年11月から検討会が始まり、今回は59人が防災情報などに応じ「いつ避難するか」「何を持ち出すか」などを記して、タイムラインを完成させた。関東・東北豪雨で、地区の町内会はショートメールで情報を住民に送信し、逃げ遅れ防止に効果を上げた。住民間で助け合う精神が根づいているのか、マイ・タイムラインにも「近所の一人暮らし世帯に声をかける」「近所への声かけ」などと記した例があった。席上、町内会の行動をまとめたタイムラインも披露された。

【宮田哲】

平成27年9月の東日本豪雨で甚大な被害を受けた常総市の根新田地区の住民が19日、災害時の対応を時系列にまとめたタイムライン（事前防災行動計画）を完成させた。東日本豪雨を教訓に「自分の逃げ方」を身に付けるための試みだ。住民たちは避難に必要な情報をどう収集し、何を準備し、いつ、どのような行動を取るかを検討。主催側も「収穫は多かった」と手応えを感じており、水害への備えとして全国に発信する。

（海老原由紀、写真も）

水害の備え 全国に発信

タイムライン作成は、住民の逃げ遅れゼロを目指し、国や県、10市町による「鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会」が進める取り組みの一つ。常総市の根新田、若宮戸の両地区をモデル地区に選定し、国土交通省下館河川事務所（筑西市）の職員や有識者らを交えた検討会を昨年11月から開いてきた。

住民は居住域の地形や過去の洪水の事例、災害時に得られる情報などを踏まえ、それぞれの生活環境に合わせて避難する場所や移動時間を「マイ・タイムラインノート」に書き込んだり、グループに分かれて意見交換したりした。

根新田地区の住民は19日、常総市役所に集まり、タイムラインを完成させた。会社員の沼尻洋夫さん(52)は「家族が見ても分かりやすいように工夫した。いろいろな方法で何通りも考えた方がいい」と指摘した。

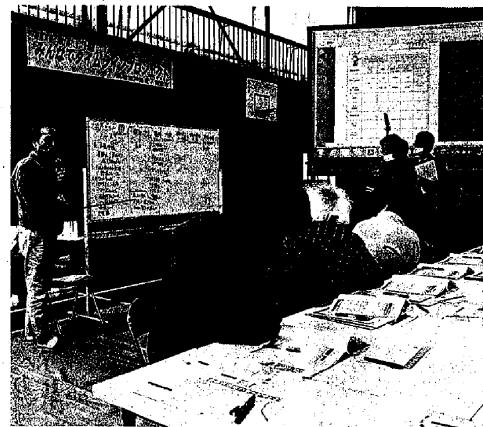
常総市「住民版タイムライン」が完成

若宮戸地区では今月5日に完成させ、主婦の平塚ひとみさん(47)は氾濫3日前の行動に「1週間分の薬の準備」「車にガソリンを入れる」と書き込んだ。「避難となると、頭が真っ白になるので、タイムラインがあれば

「何通りも」「薬の準備」自分の逃げ方確認



④大規模水害に備えた「タイムライン」の完成に向けて作業を進める常総市根新田地区の参加者たち
 ⑤水害時の必需品や避難の方法について意見交換し、結果を発表する常総市若宮戸の住民たち
 11月19日、同市役所
 11月5日、同市若宮戸



た。水害時に情報を共有するため、一斉送信システムと地区内の浸水を監視する目的で取り入れた防災カメラを併用し、住民の避難を支援するという。須賀英雄さん(66)は「住民の安全確認もしようと思っている」と話した。

下館河川事務所の里村真吾所長は「防災の知識を持つ人が周囲に伝えられる仕組みもできれば、もっと広がるのではないかと」期待を寄せる。同事務所によると、この取り組みを全国に広めるため6月ごろまでにマニュアルを完成させる。

*無断転載不可

関東・東北水害
浸水被害

常総市の根新田町内会

災害時 どう行動するか 「タイムライン」完成

二〇一五年九月の関東・東北水害で大規模な浸水被害が出た常総市の根新田町内会の住民が十九日、災害時に取るべき行動を時系列でまとめた「タイムライン」(事前防災行動計画)を



災害時のタイムラインを作成する常総市の根新田町内会の住民(同市役所で)

完成させた。

国土交通省は根新田と若宮戸の二地区をモデル地区に指定し、昨年十一月から講習会を開催。三回目となる今回は、根新田町内会約百世帯のうちの半数が参加した。

家財を二階に上げている間に車が水没し、ヘリコプターで救助されたという会社員有馬司さん(仮名)は、避難先をつくば市の親戚宅と決め、氾濫警戒情報発表のタイミングまでに、家族の居場所を把握したり道路の通行止め情報を収集したりするとノートに書き入れた。

有馬さんは「当時は床上まで浸水するとは思わず油断した。タイムラインを家族でも共有したい」と話した。

国交省は、二地区の住民の作ったタイムラインを基に、他の自治体が導入する際の参考となるマニュアルを梅雨ごろまでに作成する予定。

「逃げ遅れゼロ」注目

常総「マイ・タイムライン」



常総市若宮戸地区で開催されたマイ・タイムライン検討会=2月5日

タイムラインは、災害の発生から避難して自治体や関係機関の取るべき行動を時系列にまとめた表。マイ・タイムラインはその住民版で、避難するタイミングや避難場所について住民自ら検討。災害が起きてから慌てて逃げるのではなく、余裕を持って避難が完了できるように、自分の行動を表にまとめて上げる。

下館河川事務所は鬼怒川

2015年9月の鬼怒川の堤防決壊を受け、全国初の試みとして国土交通省下館河川事務所が常総市で実施した「マイ・タイムライン」の作成が全国的に注目を集めている。日本各地で異常気象が多発する中、住民一人一人に個別の避難計画を作ってもらい、災害時の「逃げ遅れゼロ」を目指す新たな取り組み。下館河川事務所は普及を図ろうと、来年度中にも手引き書を作成する方針だ。

水害想定 避難計画 来年度中に手引き

■早め早めの行動
2月5日にもあった若宮戸地区の最後の検討会には38世帯41人の住民が参加し

講師は下館河川事務所や常総市の職員が務め、住民にテキストを配布。テキストは河川事務所側が考案したもので、水害を想定したマイ・タイムラインの作成手順を分かりやすく記載。気象情報や河川の水位情報を調べ、早め早めの行動を促している。

決壊を受け、被害が大きかった常総市の若宮戸と根新田の2地区で、この取り組みを試行。昨年11月から2月までの間、それぞれ回数を重ねて回覧の検討会を開いた。

検討会にも参加した、筑波大の白川直樹准教授(河川工学)は「水害を経験した皆さんの作ったマイ・タイムラインは全国的にも高い価値がある」と指摘。完成後、会社員の男性(48)は「避難勧告、避難指示といふ言葉の意味すら分からなかったから勉強になった」と話した。

根新田地区の鈴木孝八郎自治会長(74)も「時系列でやるべき行動を書き示すことで、個人の防災意識が向上する」と期待。「早め早めの行動をするので、車や家財を安全な場所に移動させる余裕も生まれる」と、マイ・タイムラインを作っておくことの重要性を強調した。

「作成する中で住民同士の共助が芽生える」と別のメリットを話すのは、常総市防災・危機管理課の溝上博登(67)だ。

検討会の後半は、グループワーク形式で作業を進めるため、「その地区で暮らす独居老人や体が不自由なお年寄りをどのように避難させるかにも話が及ぶ」と溝上(67)は話す。

「共助」も意識
「作成する中で住民同士の共助が芽生える」と別のメリットを話すのは、常総市防災・危機管理課の溝上博登(67)だ。

検討会の後半は、グループワーク形式で作業を進めるため、「その地区で暮らす独居老人や体が不自由なお年寄りをどのように避難させるかにも話が及ぶ」と溝上(67)は話す。

「共助」も意識
「作成する中で住民同士の共助が芽生える」と別のメリットを話すのは、常総市防災・危機管理課の溝上博登(67)だ。

検討会の後半は、グループワーク形式で作業を進めるため、「その地区で暮らす独居老人や体が不自由なお年寄りをどのように避難させるかにも話が及ぶ」と溝上(67)は話す。

た。参加者は指定避難所、市外の親戚宅など、それぞれの避難先を決めた後、避難を完了したい時刻をテキストに記入。これに移動時間を足して、避難を開始する時刻を逆算して決めていった。

「共助」も意識
「作成する中で住民同士の共助が芽生える」と別のメリットを話すのは、常総市防災・危機管理課の溝上博登(67)だ。

検討会の後半は、グループワーク形式で作業を進めるため、「その地区で暮らす独居老人や体が不自由なお年寄りをどのように避難させるかにも話が及ぶ」と溝上(67)は話す。

「共助」も意識
「作成する中で住民同士の共助が芽生える」と別のメリットを話すのは、常総市防災・危機管理課の溝上博登(67)だ。

実際、根新田地区は今回の検討会を契機に、地区パトロールのタイムラインを製作。同自治体事務局の須賀英雄(66)は「これを使って地域の防災力も向上させた」と意欲を示す。

「共助」も意識
「作成する中で住民同士の共助が芽生える」と別のメリットを話すのは、常総市防災・危機管理課の溝上博登(67)だ。

検討会の後半は、グループワーク形式で作業を進めるため、「その地区で暮らす独居老人や体が不自由なお年寄りをどのように避難させるかにも話が及ぶ」と溝上(67)は話す。

「共助」も意識
「作成する中で住民同士の共助が芽生える」と別のメリットを話すのは、常総市防災・危機管理課の溝上博登(67)だ。

(2) テレビ

日時	発行者	概要
2016年10月24日	NHK 首都圏 「首都圏ニュース」	茨城常総 住民が災害時の“行動計画”策定へ
2016年10月24日	NHK 水戸放送局 「茨城県のニュース」	常総市 住民が水害時の行動計画作成へ
2016年11月20日	NHK 水戸放送局 「茨城県のニュース」	常総 水害に備え住民が行動計画作り
2017年1月30日	NHK 水戸放送局 「茨城県のニュース」	常総 水害に備えて行動計画づくり
2017年2月19日	NHK 水戸放送局 「茨城県のニュース」	常総根新田地区 住民それぞれの“タイムライン”完成
2017年2月19日	テレビ朝日 「ANN ニュース」	茨城・常総市で住民会議 水害時の避難行動計画作成
2017年2月22日	とちぎテレビ 「5じはん LIVE@home」	住民が「いつ」「何をするか」時系列で整理して考える防災行動計画
2017年3月9日	NHK 水戸放送局 「茨城県のニュース」	水害に備え1人1人が“タイムライン”
2017年3月22日	NHK 首都圏 「首都圏ニュース」	マイタイムラインで避難の備えを

(3) 根新田自治区の共助等の取り組み紹介

根新田自治区では、自治区のホームページ「わがまち ねしんでん」を立ち上げ、災害時には「ねしんでんほっとメール」を活用して、自治会内のつながりを大事にしています。なお、今回の検討会についてもホームページで紹介しています。

URL : <http://neshinden.com/>

・タイムライン事前説明会

地域コミュニティサイト 根新田町内会

わがまち ねしんでん

最近のトピックス

- 資源物回収(町内会)
- 町内会定例会
- 進化続く防災力
- 町内会に防災士誕生
- 豪雨災害からの教訓
- タイムライン検討会(3)
- 防災研修会(東海村)
- 防災研修会(東松山市)
- 防災研修会(みたちなが市)
- 佐野市防災講演会
- 防災組織LD研修会(県南)
- タイムライン検討会(2)
- 防災組織LD研修会(県北)
- 防災カメラ運用開始
- 河川監視カメラ設置
- 自主防災組織研修会
- 資源物回収(町内会)
- 防災研修会(取手市)
- クラウンドゴルフ12月
- いきいきサロン12月

トピックステーマ

- 関東・東北豪雨 (22)
- 出前講座(防災研修会) (11)
- マイ・タイムライン (5)
- 自主防災組織 (2)
- ちょっといい話 (12)
- 時の話題 (7)
- 町内行事 (10)
- 町内祭礼 (9)
- クラウンドゴルフ (22)
- いきいきサロン (17)
- シルバークラブ (4)
- 親睦会 (17)
- レインボー婦人会 (3)
- 子供会 (10)
- 地域交流 (1)
- 事務局 (16)

月別のトピックス

- 2017年3月 (4)
- 2017年2月 (7)
- 2017年1月 (3)
- 2016年12月 (6)
- 2016年11月 (9)
- 2016年10月 (7)
- 2016年9月 (11)
- 2016年8月 (6)
- 2016年7月 (1)
- 2016年6月 (6)

HOME > マイ・タイムライン > **タイムライン事前説明会**
 << 鹿島神社祭礼 >> みんなでタイムライン >>

タイムライン事前説明会

2016-11-3

2016.11.3(日)、「みんなでタイムラインプロジェクト」の役員事前説明会が開催されました。国土交通省、常総市安心安全課の皆さんにおいで頂き、全町民に周知する前に役員さんと予備を行いました。




栃本区長より詳細な説明がありました
 常総市防災・危機管理課長よりタイムラインの説明



皆さん真剣に関心入っていました

今日は町内の鹿島神社の例祭日でしたが、祭礼前の時間を利用しての間催です。関係機関、役員の皆様、お疲れ様でした。

サイト内検索

Access Counter

総訪問者数: 24119
 総閲覧件数: 57800
 現在の接続者数: 1
 今日の閲覧件数: 63
 今日の訪問者数: 25
 昨日の訪問者数: 45
 日平均訪問者数: 33

2016年11月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

<< 10月 >> 12月 >>

BookMark

- 常総市役所
- 常総市観光物産協会
- 常総市社会福祉協議会
- 常総市立三妻小学校
- 常総市立鬼怒中学校
- ケアホームなかお
- 株式会社 Post-On

交通情報

- 関東鉄道
- つくばエクスプレス

防災情報

- 防災情報提供センター
- 水位情報 小貝川 (常総市)
- 水位情報 鬼怒川 (常総市)
- 水位情報 鬼怒川 (筑西市)
- 水位情報 小貝川 (筑西市)
- 水位情報 八間堀川 (常総市)
- 根新田防災カメラ映像
- 河川水位状況ライブ映像
- 国土交通省 下郡河川事務所

NHKニュース

- スキー場付近で雪崩 高校生6人心臓停止 3人と連絡取れず
- 別の場所で殺害され遺棄か 千葉のベトナム国籍女児
- スキー場で雪崩 高校生数人と連絡取れず 栃木 那須町

・タイムライン検討会（1）

地域コミュニティサイト 根新田町内会

わがまちねしんでん

HOME > マイ・タイムライン > タイムライン検討会(1)
 * いきいきサロン12月 防災研修会(戸田市) >

タイムライン検討会(1)

2016-11-20

第1回 常総市マイ・タイムライン検討会(根新田地区)
 2016.11.20(日)、今日は「みんなでタイムラインプロジェクト」のキックオフ、第1回目の検討会です。専門の関係機関の皆様からアドバイスを受けながら計3回の検討会で「家族の避難行動計画 マイ・タイムライン」を作り上げて行きます。今回の課題は、

Step1 「自分たちの住んでいる地区の洪水リスクを知る」です



町長が参事に来て挨拶。「会場はこちらです」



全員出席し、開始の準備が整いました



NHK水戸放送局のカメラマンが撮影中

サイト内検索

Access Counter

総訪問者数:	24119
総閲覧件数:	57801
現在の接続者数:	1
今日の閲覧件数:	64
今日の訪問者数:	25
昨日の訪問者数:	45
日平均訪問者数:	33

2016年11月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

< 10月 12月 >

BookMark

- 常総市役所
- 常総市観光物産協会
- 常総市社会福祉協議会
- 常総市立三妻小学校
- 常総市立兜郷中学校
- ケアホームながか
- 株式会社 Post-On

交通情報

- 関東鉄道
- つくばエクスプレス

防災情報

- 防災情報提供センター
- 水位情報 小貝川 (常総市)
- 水位情報 鬼怒川 (常総市)
- 水位情報 鬼怒川 (筑西市)
- 水位情報 小貝川 (筑西市)
- 水位情報 八間堀川 (常総市)
- 根新田防災カメラ映像
- 河川水位状況ライブ映像
- 国土交通省 下都河川事務所

NHKニュース

スキー場付近で雪崩 高校生6人死傷 3人と連絡取れず

別の場所で録音され通報か

最近のトピックス

- 資源物回収(町内会)
- 町内会定期総会
- 進化続く防災力
- 町内会に防災士誕生
- 豪雨災害からの教訓
- タイムライン検討会(3)
- 防災研修会(東海村)
- 防災研修会(東松山市)
- 防災研修会(ひたちなか市)
- 佐野市防災講演会
- 防災総臨LD研修会(県南)
- タイムライン検討会(2)
- 防災総臨LD研修会(県北)
- 防災カメラ運用開始
- 河川監視カメラ設置
- 自主防災総臨研修会
- 資源物回収(町内会)
- 防災研修会(板手市)
- グラウンドゴルフ12月
- いきいきサロン12月

トピックステーマ

- 関東・東北豪雨 (22)
- 出前講座(防災研修会) (11)
- マイ・タイムライン (5)
- 自主防災総臨 (2)
- ちょっといい話 (12)
- 時の話題 (7)
- 町内行事 (10)
- 町内祭礼 (9)
- グラウンドゴルフ (22)
- いきいきサロン (17)
- シニアクラブ (4)
- 親睦会 (17)
- レインボー婦人会 (3)
- 子供会 (10)
- 地域交流 (1)
- 事務局 (18)

月別のトピックス

- 2017年3月 (4)
- 2017年2月 (7)
- 2017年1月 (3)
- 2016年12月 (6)
- 2016年11月 (9)
- 2016年10月 (7)
- 2016年9月 (11)



AM10:00. 予定通り始まりました



進行は、下郡河川事務所 里村所長が行いました



熊鷹市 神鹿市長のあいさつ



横須田町内会 徳木町会長のあいさつ



アドバイザーの筑波大学 川島新一教授



筑波大学 伊藤其功教授



筑波大学 山田尚徳准教授の各先生方のあいさつ



「タイムラインの説明をやる車庫」課長 危機管理部長



配布資料と大型テレビを使って説明しました



「うーん、なるほど」、真剣に勉強するみなさん



相模原市南区の地形を説明する下野河川事務所の伊藤課長



今回初めて知る情報し、みんな危機意識を新たにしたい様です



「それはですねー」、特報機関から、酒み取材を受ける区長



「今日のご感想を…」、インタビューを受ける高橋さん



「とても勉強になりました」、インタビューを受ける久保ちゃん



みんな大変お疲れさまでした

国士文通者、茨城県、常総市、筑波大学、茨城大学他、多くの関係機関の方が出席し「逃げ遅れゼロ」に向けた実効性のある取り組みのスタートです。次回の課題は、**Step2「洪水時に得られる情報を知り、タイムラインの考え方を知る」**です。

地域コミュニティサイト 根新田町内会

わがまちねしんでん



最近のトピックス

- 資源物回収(町内会)
- 町内会定期総会
- 進化続く防災力
- 町内会に防災士誕生
- 豪雨災害からの教訓
- タイムライン検討会(3)
- 防災研修会(東青村)
- 防災研修会(東松山市)
- 防災研修会(ひたちなか市)
- 佐野市防災講演会
- 防災組織LD研修会(県南)
- タイムライン検討会(2)
- 防災組織LD研修会(県北)
- 防災カメラ運用開始
- 河川監視カメラ設置
- 自主防災組織研修会
- 資源物回収(町内会)
- 防災研修会(取手市)
- グラウンドゴルフ12月
- いきいきサロン12月

トピックステーマ

- 関東・東北豪雨 (22)
- 出前講座(防災ライン) (11)
- マイ・タイムライン (5)
- 自主防災組織 (2)
- ちょっといい話 (12)
- 時の話題 (7)
- 町内行事 (10)
- 町内祭礼 (9)
- グラウンドゴルフ (22)
- いきいきサロン (17)
- シルバークラブ (4)
- 親睦会 (17)
- レインボー婦人会 (3)
- 子供会 (10)
- 地域交流 (1)
- 事務局 (18)

月別のトピックス

- 2017年3月 (4)
- 2017年2月 (7)
- 2017年1月 (3)
- 2016年12月 (6)
- 2016年11月 (9)
- 2016年10月 (7)
- 2016年9月 (11)
- 2016年8月 (6)
- 2016年7月 (4)

HOME > マイ・タイムライン > タイムライン検討会(2)

≪ 防災組織LD研修会(県南) 防災組織LD研修会(県北) ≫

タイムライン検討会(2)

2017-1-29

第2回 常総市マイ・タイムライン検討会(根新田地区)

2017.01.29(日)、今日は「みんなでタイムラインプロジェクト」、第2回目の検討会です。1回目に続いて、専門の関係機関の皆様からアドバイスを受けながら「家族の避難行動計画 マイ・タイムライン」を作り上げていきます。今回の課題は、

Step2「洪水時に得られる情報を知り、タイムラインの考え方を知る」です。



今回の会場は、常総市役所本庁舎



町民が集まって来ました。「会場はこちらです」



サイト内検索

Access Counter

- 総訪問者数: 24119
- 総閲覧件数: 57802
- 現在の接続者数: 1
- 今日の閲覧件数: 65
- 今日の訪問者数: 25
- 昨日の訪問者数: 45
- 日平均訪問者数: 33

2017年1月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

≪ 12月 2月 ≫

BookMark

- 常総市役所
- 常総市観光物産協会
- 常総市社会福祉協議会
- 常総市立三妻小学校
- 常総市立鬼怒中学校
- ケアホームなつかお
- 株式会社 Post-On

交通情報

- 関東鉄道
- つくばエクスプレス

防災情報

- 防災情報提供センター
- 水位情報 小貝川 (常総市)
- 水位情報 鬼怒川 (常総市)
- 水位情報 鬼怒川 (筑西市)
- 水位情報 小貝川 (筑西市)
- 水位情報 八間堀川 (常総市)
- 根新田防災カメラ映像
- 河川水位状況ライブ映像
- 国土交通省 下館河川事務所

NHKニュース

- スキー場付近で雪崩 高校生6人心肺停止 3人と連絡取れず
- 別の場所で殺害され遺棄が千葉のベトナム国籍女児
- スキー場で雪崩 高校生数人



下飯河川事務所 榊村所長の進行で始まりました



東海市神塚市長のおあいさつ



筑波大学 川島教授からSMSの留意点について話がありました



各自に渡されたタイムラインノートでお勉強開始です



「はい、今の紙はこちらのページでございます」



いよいよグループ討論に入りました



参加者の皆さんが6つのグループに分かれ



喋りすぎる人もなく、真剣で楽しい意見交換を行いました





各グループリーダーから、討議結果の発表があり、



皆さんとても楽しめた様子で、大変良く出来ました



これなら学校の先生にもなれそうです



みなさんお疲れ様でした。最終回もようしくお楽しみます

グループディスカッションは、専門の方々各グループに付いて、丁寧に分かりやすく教えてくれました。最初は戸惑っていた参加者も次第に理解が深まり、楽しい雰囲気での討議が進みました。来月の最終回では、いよいよ家族単位のマイ・タイムラインを作ります。

地域コミュニティサイト 根新田町内会

わがまちねしんでん

HOME > マイ・タイムライン > タイムライン検討会(3)

≪ 豪雨災害からの教訓 防災研修会(東海村) ≫

タイムライン検討会(3)

2017-2-19

第3回 常総市マイ・タイムライン検討会(根新田地区)

2017.02.19(日)、今日は「みんなでタイムラインプロジェクト」、第3回目(最終回)の検討会です。2回目に続いて、専門の関係機関の皆様からアドバイスを受けながら「家族の避難行動計画 マイ・タイムライン」を作り上げて行きます。今回の課題は、

Step2「自治会の共助が盛り込まれたタイムラインの完成」です。



会場は、常総市役所本庁舎



みなさん集まって来ました。「あっ、会場はどこかな?」



下館河川事務所 幸村所長の進行で始まりました

サイト内検索

Access Counter

総訪問者数:	24119
総閲覧件数:	57802
現在の接続者数:	1
今日の閲覧件数:	65
今日の訪問者数:	25
昨日の訪問者数:	45
日平均訪問者数:

2017年2月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28				
≪ 1月						3月 ≫

BookMark

- 常総市役所
- 常総市観光物産協会
- 常総市社会福祉協議会
- 常総市立三妻小学校
- 常総市立鬼怒中学校
- ケアホームなかお
- 株式会社 Post-On

交通情報

- 関東鉄道
- つくばエクスプレス

防災情報

- 防災情報提供センター
- 水位情報 小貝川 (常総市)
- 水位情報 鬼怒川 (常総市)
- 水位情報 鬼怒川 (筑西市)
- 水位情報 小貝川 (筑西市)
- 水位情報 八間堀川 (常総市)
- 根新田防災カメラ映像
- 河川水位状況ライブ映像
- 国土交通省 下館河川事務所

NHKニュース

- スキー場付近で雪崩 高校生6人心肺停止 3人と連絡取れず
- 別の場所で殺害され遺棄か 千葉のベトナム国籍女児
- スキー場で雪崩 高校生数人と連絡取れず 栃木 那須町
- 埼玉の愛犬家殺人 関根死刑

最近のトピックス

- 資源物回収(町内会)
- 町内会定期総会
- 進化続く防災力
- 町内会に防災士誕生
- 豪雨災害からの教訓
- タイムライン検討会(3)
- 防災研修会(東海村)
- 防災研修会(東松山市)
- 防災研修会(ひたちなか市)
- 佐野市防災講演会
- 防災組織LD研修会(県南)
- タイムライン検討会(2)
- 防災組織LD研修会(県北)
- 防災カメラ運用開始
- 河川監視カメラ設置
- 自主防災組織研修会
- 資源物回収(町内会)
- 防災研修会(取手市)
- グラウンドゴルフ12月
- いきいきサロン12月

トピックステーマ

- 関東・東北豪雨 (22)
- 出前講座(防災研修会) (11)
- マイ・タイムライン (5)
- 自主防災組織 (2)
- ちょっといい話 (12)
- 時の話題 (7)
- 町内行事 (10)
- 町内祭礼 (9)
- グラウンドゴルフ (22)
- いきいきサロン (17)
- シルバークラブ (4)
- 親睦会 (17)
- レインボー婦人会 (3)
- 子供会 (10)
- 地域交流 (1)
- 事務局 (18)

月別のトピックス

- 2017年3月 (4)
- 2017年2月 (7)
- 2017年1月 (3)
- 2016年12月 (6)
- 2016年11月 (9)
- 2016年10月 (7)
- 2016年9月 (11)
- 2016年8月 (6)
- 2016年7月 (1)
- 2016年6月 (6)
- 2016年5月 (4)



東証市神湊市長のおいさつ



「皆さん、良いタイムラインを作って下さい」。鈴木区長の挨拶



タイムラインの作成作業が始まりました



「よし、町内へのタイムラインを作ると、良いね鈴木区長



「そうですね、ここはとも良いと思います」



「何かご不明な点はございませんか？」



「これはいいですね、ここを強く描ってください」



「発表します。自宅から避難所までの道路は△印で…」



「バチリ」、最後に全員で記念写真を撮りました

前回までの各自の避難準備の計画やグループ内で討議した参考意見を基にタイムラインに転記や追記をしながら完成させていきます。余裕を持った避難行動計画により、自身(家族)の事だけでなく、近所の一人暮らしや高齢者の方への支援も考慮され、タイムラインの効果でより一層共助の大切さが共有出来ました。

おわりに

常総市若宮戸地区と根新田地区、この2つの地区をモデル地区として、半年間にわたって「みんなでタイムラインプロジェクト」を実施してまいりました。関係機関が手探りで始めた今回の取り組みですが、2地区の合計で165名もの方々に、「マイ・タイムライン ノート」を用いてマイ・タイムラインを検討していただきました。検討の一環として行ったグループワークでは、住民の中から進行役（グループリーダー）をお願いし、和やかな雰囲気の中で真剣な意見交換をしていただきました。そのおかげにより、今回の方法で住民の「水防災意識の高揚」と「水防災知識の向上」、さらには「地域の絆の強化」を図ることが可能であると確認できました。

自治区長の皆様をはじめ、若宮戸地区と根新田地区の住民の皆様には、ご多忙中にもかかわらず、プロジェクトにご参画いただき、誠にありがとうございました。皆様には、今回の検討を一過性のものにするのではなく、継続していただくことにより、さらに地域の自助・共助が強化されるようご期待申し上げます。

今後、この「みんなでタイムラインプロジェクト」を、常総市内全域はもとより、鬼怒川・小貝川の隅々まで広げるとともに、全国にも発信していくため、次に示すような事項を実施し、さらなる推進を図ってまいります。

- ・マイ・タイムライン検討の手引き（仮称）のとりまとめ
- ・マイ・タイムラインを用いた訓練の実施
- ・ファシリテーターによるマイ・タイムライン検討会の実施
- ・マイ・タイムライン検討会の運営を担う人材の育成
- ・検討の過程を説明する動画の作成
- ・電子版マイ・タイムライン ノートの作成
- ・低年齢向けマイ・タイムライン ノートの作成

これらは、一例ですが、このたびの検討で得られた貴重な経験・データをさらに発展させるため、引き続き、関係機関が連携して取り組みを進めてまいります。

最後になりますが、本検討の実施に当たり、ご指導・ご支援・ご協力をいただいたすべての方々に対し、心よりお礼を申し上げます。

○平成29年2月5日 若宮戸地区第2回マイ・タイムライン検討会を終えて



○平成29年2月19日 根新田地区第3回マイ・タイムライン検討会を終えて



みんなでタイムラインプロジェクト 常総市モデル地区における検討の記録

作成：平成29年3月28日

企画 常総市マイ・タイムライン検討会

編集 一般財団法人 河川情報センター

〒102-8474 東京都千代田区麹町一丁目3番地（ニッセイ半蔵門ビル）

流域情報事業部長 富岡秀顕，副参事 森野香織 鮎川一史 原田一平

TEL 03-3239-8447 FAX 03-3239-0929

<http://www.river.or.jp/>
